滿洲日報
十二月八日發行
昭和八年十月二十九日　夕刊　（日曜日）　第九千八百九十二號　（一）
發行所 株式會社滿洲日報社

滿鐵改造問題に關し政府側は靜觀的態度
關東軍、滿鐵の協調期待

【東京特電二十八日發】滿鐵改造を中心とする在滿各機關の改革問題につき政府關係方面はこの頃に至つて漸く關心を深めたが、この際政府としての案を作る方針もなく、一に滿鐵及び關東軍の協調に委せる外ないといふが如き態度をとつてゐる、たゞ所謂關東軍の滿鐵改革案なるものが折角中央に齎されながら政府の關係方面と何等の交渉が行はれなかつたことを遺憾とし、且つこれを不思議に思つてゐる向きが多い、改革案そのものについては關東軍の理想とする趣旨は必ずしも不可ではないが、產業經濟の實際から見て斯くの如き分解を一擧に決すれば、對滿資本誘導の上に障碍を來し、さらでだに萎縮がちな內地資本を一層萎縮せしめ各產業別經營はあるものは隆盛となり、あるものは衰微して重要產業の併行的發展が期せられない、從つて各會社の業績は跛行的で投資の確保の上に危險がある、また日滿產業統制上却て障碍が起り、殊に滿洲重要工業の特徵たる原料と副生物の網狀連絡供給による利益を少くすることなどにより、その實績が期待と反するものあるを恐れてゐる、またこの際滿鐵成立の根本精神を再檢討してかゝる急激な改革をとらずとも、滿洲產業統制の途はあるべく、殊にこの改革は日本の產業統制と全く不可分の關係にあるから寧ろ內地の產業統制を先決とする意見もあり、これに關聯して日滿經濟產業統制機關の設置が先決であるといふ論も少からず來るべき議會を中心に一大論爭が惹き起されやう

平和の戰士三萬社員
改造問題に意思表示
滿鐵社員會緊急委員會の結論
評議員會宣言文承認

二十七日夜深更まで緊急委員會にて熱烈な討議を行ひ朝刊所報のごとき決定を行つた滿鐵社員會第十回評議員會は二十八日は午前十時より開會、一般議事を行つた後、正午いよ〳〵緊急委員會の結果を緊急議題として上程した、この時渡邊常任幹事議長席に着けば、この日の立役者たる伊藤幹事長は決意の程を眉間に見せて悠々壇上に立ち、別項のごとき報告演說をなし社員の團結と、決意を披瀝し、特別委員會の設置の必要を叫べば滿場一致、起立と拍手を以てこれを可決、階上を占領した一般社員傍聽者もこれに和して盛んなる意氣を示した、伊藤幹事長の演說左のごとし

伊藤幹事長演說

昨夜の緊急委員會は七時間半に亘り、終始熱烈なる討議を行ひましたが、その緊張した空氣は私たちの曾て經驗せぬところで將來に對しても大に意を强うすることが出來ました、緊急委員會の席上ではまづ客觀的情勢の認識より出發し滿鐵改造の必要性如何、現に傳へられる滿鐵改造案の內容、現組織の得失、缺陷ありとすれば如何なる點に存するや、改造案の比較研究を行つた末、次のごとき三つの結論に到達しました

一、國家百年の經濟大策を誤らざらしめるために、最少限度において平和の戰士たる三萬社員の團體的存在並にその團體的行動が必要とせられると

二、改造問題の喧傳せられる今日之に對し社員會の名において、何らかの意思表示をなすこと

三、改造問題を繞る會社非常時に對し對應策を樹てるために特別常設委員會を設立する事

これを分說致しますと第一は團結の必要があることであります三萬社員が團結して正々堂々として動けば前途に何らの不安もありません、現代には正を正とし非を非とする勇氣のない者が多々ありますが幸ひ滿鐵社員にはこの團結があり我らにはその勇氣があります（拍手）、我らは我ら自身の力を信ぜればならぬこの自信のあるところに力が湧いて來ます、前途益々多難なる時、切に團結の必要なる事を主張したいと思ひます（拍手）第二は改造問題に對する社員の決意を披瀝せねばなりません、東亞の危機迫る今日、滿洲開發の根本機構たる滿鐵を改造することの得失如何、時宜を得たるや否や、又改造の際に生ずる損失が經濟開發の前途を阻害することなきや否や、十分愼重に考慮する必要があります、我々社員會幹事は曾て揃つて小磯參謀長と會見した事があるが、その際私は參謀長に日本人は外地經營においてあまりに統一主義で、且つ成功を急ぐ嫌ひありと述べたところ、參謀長は如何にも同感だが、日本人のやうな性急な國民にはあまりゆつくりやると熱が冷める虞れがあるから愚圖々々出來ぬ、要は緩急宜しきを得るにあるといはれたが、我々は更にしかし滿洲の經濟開發は愼重にやらればならぬと力說した、滿鐵は明治大帝の宏謨でこれを守り立てるのは吾人の責務であります、それを徒に早急に今日傳へられるがごとき方法で改造を行ふは吾人の斷じて承服し得ざるところであります（拍手）かゝる國家的大問題はよろしく八千萬同胞の面前において堂々審議決定されねばなりません（ヒヤ〳〵）といふものあり拍手）吾人は絕對に一身上の身分問題などを眼中に置くものでありません（拍手）吾人はこの固き決意を披瀝するために一つの宣言文を內外に發表したいと存じます

とて滿場の起立を求めて左のごとき宣言文を朗讀した

宣言文

一、滿鐵は明治大帝の御遺產にして國民血肉の結晶なり、國策遂行の使命を帶びて玆に二十七年今や東亞の危機に際しその責務愈重大を加へ、國民の期待更にこゝに繫る、我等挺身事に當らざるべからず

二、滿洲の建設は大業なり、滿鐵は滿洲開發の根幹なり、之が改廢は宜しく白日の下、國民と共に之を議すべし、濫に斧鉞を弄し大事を誤ることを我等斷じて之を採らず

右滿鐵三萬社員の名において宣言す

これに對し滿場拍手を以て承認すれば、伊藤幹事長は續いて左のごとく述べた

第三に特別委員會の設置を提議致します、今や內外の客觀的情勢は我々の理的な活動を要求してゐます、昨夜の緊急委員會では問題があまりに大きいので大綱すら決定し得ませんでしたから、この決定を特別委員會を設置してそれに一任することに致しました、この特別委員會は新情勢に順應して社員會綱領第二項にふさはしき對策の決定權を任して欲しいと思ひます、又その人的構成はエキスパートを集むる必要上幹事に一任を願ひます、終りに臨み滿鐵及び社員會の前途いよ〳〵多難なる際、滿鐵社員が私を捨て義勇公に奉ずる精神を以て一致團結、正々堂々事に當られんことを切望致します

これに對し渡邊議長より滿場の承認を求め一同熱狂してこれを迎へ直に承認、一般議事に移つた

別項二十八日の評議員會にて可決された宣言文は直に齋藤首相以下各省大臣、內田、山本前總裁、大藏前理事を始め岡前副總裁、大阪の商工會議所、內地東京、新聞その他各方面に打電して送り社員の意志を中央に傳達した

日、米、蘇三國間の新條約締結を提議か
渡米する蘇聯外相リ氏

【東京特電二十八日發】ニューヨーク二十七日來電によれば、渡米するソウエート外相リトヴイノフ氏はアメリカの對蘇承認に關聯して、日本を加へた米、蘇三國間の新條約締結の提議をなす用意ありと見られ、アメリカ外交界の注目を惹いてゐる、なほリトヴイノフ氏との交渉には大統領自らこれに當るといふ

滿鐵改組問題（二）
軍部案の再吟味
綜合制の理論的解消
日笠芳太郎

滿鐵の有する廣汎なる傳統的經濟力は、多年の歷史的發達によるもので、その利害の關係は內外に亘りて、重且つ大であるが、綜合的經營による機構を三十年續けたゝめに、一朝にして之を變革すると、各所に經濟的動亂を起すことゝいふ淺もない。勿論綜合經營の基調は、多分に軍部の意圖に出發するもので、創立當時、桂公、兒玉伯、寺內伯等陸軍の巨頭を中堅として訴議され、爻ゆるに故後藤伯の經濟開發を以てしたことは、經緯に其間の消息を語つてゐる、蓋し日露戰後の軍部の觀點は、故山縣元帥が爽安嶺第一線の國防上の繁明を重心として、平和主義ー貿易主義の南方政策（海軍は任務上共同した）と異にし、所謂生命線として特殊の意識が、北方政策として多分に盛られてゐた。隨つて滿鐵も滿洲經濟機關ではあるが、綜合的强力を擁すると共に國家的使命を有して、國策に當ることゝなつたので、以後軍部の方針は、傳統的に終始一貫して今日に至つた。

然るに柳條溝一發の銃聲に端を發して、滿洲の時局は急旋回し、凡ゆる集結的權力を獨占せし張閥は忽ち解消し、日滿合流の劃期的變革を見るに至つた。卽ち今日に當りて、最早滿鐵の綜合的强構を要せず、寧ろ既往の對立的機構を清算して、日滿結合の利便に應ずるを可とする段階に進んだのである。故にこの新情勢に順應すべき滿鐵の解體——改組は、理論的には實に明瞭であるが、しかし實際的には幾多の經濟問題が横はつてゐるので、綜論的にはその實行方法…

（以下略）

國策會議の結果は豫算には關聯せぬ
齋藤首相の時局談

【金澤二十八日發國通】齋藤首相は北陸地方における陸軍特別大演習陪觀を了つたので歸京の途、金澤、新潟兩市を視察のため二十七日午後福井發金澤に赴き永井拓相七尾港視察の三土鐵相等と同車、五時七分金澤着、直に二十八日は市內並びに工業試驗所等を巡覽の上午前十一時三分同地發、新潟へ向ひ二十九日夜或は三十日朝歸京する豫定であるが、金澤の宿舍に落着いた首相は「今度は幸ひ持病のリウマチスも出なかつた」と至極元氣で次の如く時局談を試みた

東京に歸ると間もなく豫算…

五相會議

農村問題

借金のみ

愼重を望む
餘り騷ぐと互に不利
けさ來連の沼田參謀語る

さきに關東軍特務部案を提げ上京中央部との折衝に當れた關東軍參謀沼田多稼藏中佐は二十八日午前七時四十分着列車にて來連直に遼東ホテルに向ひ四階三三二號室に入つたが中佐は

折角だが前以てお斷りして置くが、今度の問題に就ては餘りに社會への反響が大きいので實際騷がれることは折角出來かゝつゝある物をも壞してしまふ恐れがある、萬一そんなことがあつた場合はお互ひの損失だ、新聞などでも餘り書き立てることは困る、八田滿鐵副總裁ともこの點についてお約束してあるから

と堅く口を緘して語らず、同中佐は滿鐵側各關係者と會談すべく鐵差廻しの自動車大十二號にて記者の問ひを避けるが如く何處か向つた【寫眞は沼田參謀】

四川の共產軍萬縣に進出

【上海特電二十八日發】漢口來電によれば四川の共產軍は萬縣に進出し重慶と湖北間の水路を遮斷した

山海關特務機關長近く赴任

豫算閣議終了後政民總裁と會見
首相諒解を求めん

大使館警務課年內に實現

長官歡迎會

在旅部隊檢閱

人事

うらる丸の船客

あめりか丸

東天紅（235）
田中純 作　林一三 畫

奉天のラヂオ商殺し
廿三日出帆天津丸で天津へ犯人高飛
奉天署から丸茂追跡

去る七日以來謎の失踪を續けてゐた奉天浪速通七ラヂオ商門永洋行主門永三藏(四三)氏の行方は懸賞金一千圓の鳴物入りで捜査中俄然二十七日午後二時半ごろ淀町一番地奉天鐵路總局電信方丸茂保之(三〇)方の天井裏から無殘な死體となつて現はれ、秋の犯罪戰線に一大センセイションを捲き起した、奉天署では丸茂保之を指名犯人とし彼の足取りを洗つた結果去る二十三日朝大連へ高飛びしてゐる事實が判明、奉天署司法係松尾伍郎警部補、手島政重刑事は二十八日朝特急で來連大連署に捜査本部を置き種々捜査に關する打合せを行ひ同署司法係員應援の下に大捜査網を張つた

これより先二十七日夕刻奉天署より手配を受けた大連署では俄然緊張し國武司法主任以下徹宵で全市に亘り犯人丸茂に就き捜査したが遂に空しく發見するに至らず市内潜伏説は疑問視されてゐた矢先、二十八日午前十時に至り犯人は二十三日出帆の天津丸で天津へ高飛びしてゐる事實が突き止められ捜査本部は色めき立ち直に天津日本領事館警察宛に逮捕方を打電奉天署の松尾警部補、手島刑事兩氏は今明日中に天津へ急行することゝなり獵奇の舞臺は國際都市天津へ展開された【寫眞は大連署の捜査本部で協議する奉天署員】

"吉野道夫"と僞名 一等客で乘船
天津丸の調査で確定

指名犯人丸茂は何處に行つたか市内各署全能力をあげての捜査も空しく杳として手懸りなく焦燥のうちに刑事隊は目星しい友人宅、立寄先、ダンスホール等々血眼になつて捜し廻つてゐるが廿八日水上署刑事の頭に同人が曾て天津に居つたと云ふヒントを得たので俄然行先は天津と直に捜査圏内を狹めて早朝より大連汽船船客係、ジヤパンツーリストビウロー、永和公司等を調べた揚句去る廿三日午後三時出帆天津航路天津丸にて吉野道夫(三〇)と僞名一等船客として乘船した事が確認されたので雀躍した同署員は直に乘船切符を賣渡した伊勢町のツーリストビウローにつき調査したところ大體丸茂の外貌と酷似してゐるので、圖星とばかり同署谷本刑事は奉天手島刑事大連署庄司部長、吉岡刑事等と共に折柄二十七日入港第廿番バース繫留中の天津丸に急行、同船につき種々調査の結果いよ〳〵丸茂であると見極めがついたので一應捜査本部に當てた大連署に引揚げたが、直にその旨天津總領事館警察に手配するところあつた

金が無いと安い宿を教はる
偶然、岡選手と同船

天津丸で天津に向つたと確證を握つた刑事隊は同船につき石橋事務長、松島司厨長當時係ボーイとして天津上陸後のホテルを教へたと云はれる栗原給仕等につき手配寫眞を引合せ種々取調べを行つたところ、二十三日大連出帆の同船に一等船客として二號室に一人陣取つた吉野といふ青年が手配寫眞に酷似してゐる事を肯定したのでいよ〳〵犯人は天津と確定したものだが同船では偶然か百メートルのランニング選手岡健次君も三等船客として同船してゐる事を發見した、係りボーイの栗原君に當日の模樣を尋ねると

たしかにあの人です、背の高いスマートなところがありました、たつた一人旅でどちらかと云ふと默々としてゐました、灰色の長いロングコートを着て小さいスーツケースと手廻品を入れたハンドバツグの僅かな荷物で廿三日出帆まで豫約の無かつた二號室にフラリと入つたもので、その時の記憶ではたしか洋服はブレザーコートとか云ふオリンピツクの選手がアメリカへ着て行つた樣な緣取りの上衣を穿つてゐました、一度ケビンに尋ねると、所持金が少いので天津へ向つたら極く經濟的にやらうと思ふが何處か好い安直な旅館は無いかと云ふ事でしたので、自分は日本租界の旭街と宮島街の角の天津飯店が安いでせうと紙に書いて教へてあげました、しかし塘沽に着いた時はたしか英蘭館のポーターがあの人の荷物を持つて行くのをチラリと見掛けました、尙たしか一度丈サロンでお茶を注文してどなたか船客の人と色々話をして居られましたがたしかそのお客は三等の人だつたと記憶します

尙その時一緒に茶をのんだのは岡健次君ではないかと見られる、偶然船中で同船してゐる事が解つたらしく岡君はこの問題とは全然無關係と見られる

ピストルを所持して
手には繃帶

犯人丸茂は鐵路總局の用務を帶びて屢々奥地に出張してゐた關係で常に護身用拳銃を携帶してをり今回逃走に際しても拳銃を所持してゐることが判明したので、捜査當局ではピストル自殺を遂げる恐れありと憂慮してゐる、なほ犯人は兇行の際被害者と格鬪しその時右手を負傷し繃帶を卷いてゐるので唯一の目印として天津へ手配してゐる

死體を解剖

【奉天電話】二十七日淀町にて發見された門永三藏氏は二十八日朝醫大において奉天署員立會の下に死體解剖に附したなほ同氏の葬儀は二十九日午後三時執行の筈

債券の賣買から被害者と口論
一說では所持金を狙つた
解けぬ兇行の原因

【奉天電話】門永三藏氏を絞殺した指名犯人丸茂保之に關しては奉天署で全滿鮮支各地に手配し捜査中であるが門永氏と丸茂の關係その他につき門永氏夫人せい子さんは語る

丸茂と主人とは別に深くお交際したことはありません、七日總局に丸茂を訪れた時は多分二回目か三回目かと思ふが七日主人は丸茂に對して勸業債券を二枚か三枚か買つて吳れぬかと言つてお金まで支拂ひそこでその印しの判をさることを迫つたやうです、併し丸茂は一向これを聽き入れなかつたやうです

門永氏はこの判をもらうと七日總局の退けた後丸茂の宿舍たる淀町一番地皎寮の一階十三號室を訪れ捺印を迫つたが丸茂は頑として應ぜず口論となり遂にかうした結果となつたのではないかと言はれてゐる、また一說には丸茂は當時門永氏が所持してゐた鞄にはなほ多額の金が在中しゐるものと見て右兇行を演じたものではないかとも見られてゐる、なほせい子さんは

未だこれからの方針についてはまだ考へてゐませんいろ〳〵後を片付けて何とか考へようと思つてゐます

と語つてゐる

指紋により眞犯人と斷定
鞄と丸茂の所持品で

丸茂保之を眞犯人とするまでには奉天署の血の滲むが如き苦心が拂はれた、即ち被害者門永氏の死體は丸茂方天井裏から發見されたとはいへ、兇行當日の行動を調べたところ、門永氏と丸茂は同日午後二時ごろ丸茂方で同人と會見し債券賣買の書類に門永氏が丸茂より捺印を受けたといふ重大ヒントを二十七日午後奉天署刑事が突き止めその場で丸茂が門永氏を絞殺したものに違ひないといふ推定の下に俄然活動が開始された

然るに別の情報として兇行當日午後三時ごろ門永氏友人が會つてゐるといふ事實とそれから三十分後に門永氏が浪速通りを城内に向ふ人力車で疾走してゐたといふ事實が門永氏の友人奉天小學校教師某氏の證言によつて明かとなつた、これによつて午後二時ごろ兩名が會見した際、殺したといふ推定は根本的に覆されたので、別個の證據によつて犯人を突き止めるべく第二段の捜査に入つた結果

加茂川町明星ダンスホールのダンサー金子滿枝の許に二十六日發信で丸茂の自筆で認めた手紙が舞込んでゐた事實、この手紙の消印は大連局消印で二十二日となつてをり、二日間の日數を誤魔化さんとするトリックが潛んでゐるのを奉天署で觀破し、丸茂に對する疑惑はます〳〵深められてゐた矢先兇行現場に遺棄されてあつた被害者の新らしい鞄に殘されてゐた指紋と丸茂の所持品から點出した指紋とがピッタリと一致するに至り科學の力は遂に丸茂を眞犯人とする斷定を下したものである

最初から丸茂を怪しいと睨んだ
奉天署松尾警部補談

二十八日早朝大連署に詰めかけ國武大連署司法主任らと捜査上の重要打合せを遂げた奉天署松尾警部補は語る

犯人丸茂を奉天署が一度拘引し嫌疑薄で放還したといふ誤報が傳へられてゐるが全く事實無根で奉天署としては迷惑千萬である、事件が事件だけに社會的反響も大きいことであるから奉天署としては正式手續きを取つて記事取消を申込む考へである、今回の事件は被害者門永が行方不明となつた當日の七日午後二時ごろ丸茂保之と會見した事實があるといふので當署では兼ねてから丸茂が秘密の鍵を握つてゐるとの見當をつけ、被害者の家族に就いて調べたところ、被害者側では「丸茂さんに限つてそんな人ではありません、それは大丈夫です」といふことであつたので、無暗に拘引することも出來ず、依然謎の事件としてゐたところ、二十七日に至り丸茂の家の天井裏から門永の慘死體が現はれ、矢張り犯人は丸茂であつたと殘念に思つた事實があるが、死體發見前まで門永が殺されてゐるといふことは全然判らず、從つて丸茂を殺人嫌疑者として拘引しやうがないではないか、犯人は非常に不品行な男で、ダンサー、女給など數名の情婦があり、犯人の足取りを調査するには非常に苦心したが、二十二日夜奉天を單身出發してゐることは確實である、天津方面へ逃げたといふことも事實らしいので天津へ急行するか否かに就いて、目下旅順に來てゐる奉天署長の指示を仰いでゐるところだ

二邦人の釋放
孫が約束

【ハルビン二十七日發國通】匪首孫朝陽逮捕の報に去る八月十一日賓縣に於て孫朝陽匪に拉致された市原芳一氏(三〇)及び牧野正氏(四〇)の夫人市原エイさんと牧野ハル子さんの二人は夫の身の上を案じ杉浦賓縣參事官に伴はれて賓縣より來哈二十七日午後一時傅家甸日本憲兵隊に出頭して怨恨深き孫朝陽に面會を求めた、孫朝陽は今は前非を悔い

何とも申譯がありません、直に私から部下へ御主人達を釋放するやう、手紙を書きませう

と兩夫人の面前で市原、牧野兩氏の釋放を約した

また血まみれ男
自殺未遂の船員保護

二十八日午前九時二十分頃眞金町警官派出所前を血痕のついた帽子を冠つた男が悄然と歩いて來るので係官が不審がつて呼び止めて見ると何も喋らず咽喉を指すので見ると全身血にまみれてをり驚いて本署に通報、中澤司法主任現場に出張し取敢ず赤十字病院に入院加療したが、氣管を剃刀でたち切つてゐるので口答が出來ず鉛筆を與へた所

原籍鹿兒島縣鹿兒島市西田町四十五番地山下武彥(三三)大阪商船うすりい丸機關部油差しと判明したが原因に就いては鉛筆にて「酒を飲み、頭が興奮、金のため、借金」と書き、遺書等も全然ないが二十七日發うすりい丸に乘りおくれ飲酒して自殺せんとしたものでないかと見られてゐる

海軍側判決
來月九日言渡し

【東京二十八日發國通】五・一五事件海軍公判、判決言渡は十一月九日午前九時開廷と決し本日軍法會議より發表された

印刷業組合表彰式

大連印刷業組合では來る十一月三日(明治節)午前十一時より商工會議所講堂に於て第九回組合員從業者五年以上勤續者の表彰式を行ふと

伏水會追悼會

南滿洲工業專門學校同窓會の伏水會では、三十日午後四時半より市内天神町常安寺に於て、物故會員の追悼會を執行するが、在連會員及び遺族の參列を希望すると

天氣予報 (二十九日)

北西の風(晴)一時曇

滿潮(午前六時四五分 午後七時三〇分)

干潮(午前零時〇五分 午後一時〇〇分)

(廿八日午前十一時)

大連	一〇	奉天	六
旅順	一一	新京	四
營口	八	新義州	二

けふの小洋相場(十一時半)　金百圓に付一二五圓——錢

産金調査隊の第二三班歸る

【ハルビン特電二十七日發】北滿産金調査隊の第二班安部班、第三班岡本班は何れも多大の收穫を得て二十六日ハルビンに歸還した、先に歸還した第一班の調査と合せて北滿の産金狀態が判明するにいたつたが來年春から一部の採金事業が開始される模樣である

犯人丸茂を語る
金に詰つて持物もなかつた
勤め先電信科で語る

【奉天電話】丸茂保之が勤務してゐた鐵路總局電信科佐田主任は語る

丸茂君は大阪市南區八幡町出身で昭和二年滿鐵に入社し埠頭入船驛電信係に勤務し三年八月總局に轉勤して來たのですがつい最近電信係より無電の方に替り古い方です、現在は監督といふやうな形で私の方にも毎朝聯絡に來てをりましたが、二十二日までは何等變つたやうなこともなく平氣で電信科の方に聯絡に來てゐました、門永氏は電信科にも二三回來られたことはありますが當所とは何等取引上には關係なくどうして丸茂君と知り合になつたかは知りません、二十二日以來缺勤となつてをり不審に思つてゐる矢先、こんなことができて總局でも驚いてゐる次第です、仕事の方も相當できる方で一人で仕事を委して置けば責任をもつてやるが連れがあるとどうもサボつてゐたやうで事變當時は無電係として活躍したものです、最近はダンスに凝つてゐたやうで二十五日ダンサーから來た手紙で今度の事件が分つたといふことを初めて聽きましたが相當金には困つてゐたやうで持物等は殆どなくなつてゐたやうです

なほ鐵路總局では右事件發覺と同時に二十八日附で丸茂に對し懲戒免職とした

毎夜更けて歸る
宿舍生活から見た彼

【奉天電話】丸茂の宿舍皎寮の賄係本田仙次郎氏は語る

丸茂は確か本年の八月鐵路總局に轉勤となつてから來たやうで體格が良くて運動家を想はせましたが皎寮に來てから間もなく總局が濟むとすつと歸つて來て夕方まで暇潰し夜食を濟ませて一人で出て行きました、さうして夜半の一時二時頃歸つて來るのが毎夜のことでボーイも玄關を閉めるのに持て餘してゐたやうで十六日までは日常と變りなく總局へ勤めてゐたやうで前夜大連に行つて來るといつて出ました、それから四日後に歸つて來て二十二日となつて丸茂の手紙が來ましたから渡さうと思つて持つて行くともうその姿は見えませんでした、室はすつかり空いて無斷で行つて了つたので、斯樣に晝は勤務で家に居らず夜は深更まで外に出てゐたので丸茂と話をするやうなことはありませんでした

犯人丸茂保之の船中乘船簿

Form No. 480

S.S. "天津 MARU."

Name, in Full.	姓名	吉野道夫
Age.	年齡	
Nationality.	國籍	
Occupation.	職業	
Where now Resides.	現住所	
Final Destination after landing.	上陸後ノ行先地	

Please fill up each item of above and return to the Purser

上陸後ノ行先地 御記入ノ上事務長へ御返附下度候

金など借り放し
埠頭事務所庶務主任語る

犯人丸茂保之が永らく勤務してゐた埠頭事務所に同人の經歷その他素性を尋ねると、藤津庶務主任は經歷カードを見ながら語る

丸茂君は原籍愛媛縣新居郡西條町でたしか昭和二年十一月大連鐵道事務所から埠頭に轉じたもので電信方面の仕事をしてゐた男で昭和七年十月入船驛勤務となつてこの八月十五日附で鐵路總局に轉出したものである、この間兵隊に行つて工兵上等兵だと思ふ、その當時電信隊附として天津に駐屯したとか云ふ話で天津の方は明るいと思ふ、そんなわけで、事變後は出張又出張で大連に居つた期間は殆どなかつたと思ふ、同人の性質については面識が無いので判然とはしないが人の話では頗る器用な男であるが一面ルーズなところもあり、埠頭方面でも金など借りばなしにして總局に移つたと云ふ樣な事を聞いてゐる

踊子の見た犯人
ダンスは上手で優しい人

【奉天電話】丸茂が毎夜の如く訪れジヤズとともに亂舞してゐた加茂町明星ダンスホールを訪ふと同僚のダンサーは吃驚した面持ちで語る

あの丸茂さんが?あの方は本年二月頃から毎晩のやうにやつて來て踊つてゐました、丈は高く色黑く痩形でスラリとして無口のおとなしい一見朝鮮人みたいな人です、よく滿枝さんとも踊つてゐましたが私とも度々踊つたことがありよく知つてゐます、ダンスが好きなだけ餘程上手でした、私が冷かしてやつてもはにかむやうなやさしい方でありましたが、あの方がこんな大罪を犯すとは全く意外です二十四日丸茂さんから長い手紙が來て滿枝さんもこれを讀んで何か憂ひ顔をしてゐましたがその手紙には丸茂さんは最近何か非常な衝動を受けたものか急に世の中がいやになり死にたいといふやうな意味で滿枝さんもそれ以來陰鬱になつてゐたやうであります

なほ金子滿枝は二十七日午後二時頃奉天署に召喚され取調べを受け一旦歸宅したが同四時頃再び召喚されてゐる

選手は團結自省
滿洲陸聯關係で協議

丸茂保之選手の犯罪事件は俄然滿洲の陸上競技界にセンセーションをまき起したが滿洲陸聯關係者は何れも

いま神宮で滿洲を代表して働いてゐる選手達のことを思ふと氣の毒だ

と遠征選手が浴びるであらう非難を氣遣つてゐる、かくて二十八日の滿鐵地方部體育係の部屋には各方面から問合せの電話がかゝつて來るが陸聯關係者は何れもこの際登錄選手の團結をはかり共に自省してかくのごとき不祥事を絶すことのないやう相戒め健全なスポーツマンの向上を期する

ここに意見の一致を見、一兩日中に取敢ず大連アスレチッククラブの幹部は一堂に會合具體的方法を講ずることゝなつた

善鬼惡鬼 (242)

平山蘆江作
刈谷深隍繪

惡鬼自滅（二）

「おはまどの、これはどうした事ぢや」

五郎兵衞は　おはまにつめ寄つた。

生きてゐる間は、鬘の末かと思ふほど、惨の鬘かつた樂齋だが、今、むごたらしい死にざまを、目のあたりに見せられては、道兄弟の血である。

「まアお待ちなさい。私が手傳つて殺させた樂齋です。現在女房の手で、良人を殺させるには、殺させるわけがある」

おはまは涙一滴こぼさない。

「どんなわけがあるか知られえが……」

そばに來合せた長吉も、青くなつておはまに詰め寄つた。

おはまは少しも驚かない。

「まアお聞きいふに、今私が話してやる、わけさいふのをお聞きだつたら、お前たちは手を合せて私を拜むかも知れない」

長吉をはなれたおはまは、おこのをそばへ連れて行つて、どつしり坐つた。

「もし五郎さん、お前、この子の親をいふのを知つておいででせう」

「日幕里の八五郎だ」

「八五郎の親父の名を御存じですか」

「四方八右衞門といふ惡者ださうな」

「惡者でも何でも、つまりこの子のぢゞいに當る人でござんすね」

「拙者ども兄弟の父、鐵齋に殺された男だといふ事、今更、あらひ立てせずと判つてゐる」

「あらひ立てするわけではない。おこのが樂齋どのを殺したのが、ぢゞの讐討だと思はれるといけないから、わざ〳〵それを確めておいたのです」

「ぢゞの讐討でなくて何だと仰しやるのです」

「お前たち夫婦を、安心させる爲に、おこのは樂齋を殺しました。そして私はそれを助けたのです」

「ヘン、お爲めごかしも大槪になさいまし。そんな出たら目は、この長吉が邪魔しませんよだ」

長吉はムカツ腹を立てゝつつかかつた。

「おい長吉、お前などの知つた事ではない。すつこんでおいで。――もし五郎さん。私の云つてる事がお判りかえ」

「長吉、おはまどのの云ひ分、聞くだけ聞かう」

五郎兵衞はむづかしい顏をしてゐた。

「ほほほ、讐討さばかり、思ひ込んでゐるお前さんたちから見たら、私のいふ事が、出たら目にも聞こえるだらうが、讐討ではさら〳〵ありません、その證據には、兄弟のお前も一緒にねらふ筈だ。同じねえおぎんさん、お前などは胸におぼえがある筈。御自分で手引をして、五郎兵衞どのをおこのゝ手にかけさしてやるさ、お言ひなすつたことがあるさうだ。それはこの子のおもひちがひであつたか知ら」

おはまのいひ廻しは隨分皮肉だつた。

おぎんは苦しさうにうなだれて默つてばかりゐる。

「もし、おはまさん、それほど立派に仰しやるなら、こちらの御夫婦の爲めに、樂齋さんを殺したさ仰しやる、そのいはれをはつきりお云ひなせえ」

長吉が、つめよつた。

「云ひますさも、聞いてびつくりしないが好いよ」

「へん、だれが、そんな屁理窟におどかされるものか―」

「もし、おぎんさん」

「はい」

「お前さんの事だから、いづれ五郎兵衞さんには隱しておいでだらうが、この壁の切穴のいはれ、それをお前は知つておいでだらうねえ」

おぎんは怖ろしいものを見るやうに、壁の方をちらりと見た。

「これは樂齋どのが、お前さんのところへ通つて來る爲めに、自分で切つた膝のぬけ路だつたね。さうぢやないかえ」

座敷がしんとなつた。五郎兵衞の目がぎよろりと光る。

與太者ご海水浴　中央映書館

蒲田名物の與太者映畫、野村浩將監督與太者トリオ磯野、三井、阿部のコムビによる海水浴場を背景とした若者の感激を描いた佳作品

磯野が果物屋、三井が寫眞屋、阿部が魚店で三人が共同で海水浴場に賣店を開く、そこに登場して來るのが別莊のお孃さん澄子（井上雪子）三太夫の黒川（小林十九二）不良青年紳士村田（日守新一）それに磯野の妹君江（光川京子）

先づ何よりも與太者トリオ三人の持味をそれ〴〵生かした演出が面白い、場面では海底が思ひつきでよく笑はしてゐる、俳優さして小林十九二の三太夫が上手い、その他久し振りで井上雪子が活躍してゐる

全篇が如何にも與太者映畫らしく且つ若者の感激も巧みに扱はれてゐるし、與太者映畫のうちでも面白い作品である

パテー廿米コンテスト募集

全滿パテー材料店主催滿洲パテー聯盟滿洲寫壇後援で左の規定で第一回パテーベビー二十米コンテストを懸賞募集中で入賞發表は十一月末である

一、課題　自由
一、長サ　二十米（但し新作品の事）
一、タイトル　無し
一、締切　昭和八年十一月十日

うわさ話

大檢の大連舞踏場常任理事さして澤の井の宇都宮氏が就任▲今後舞踏場の營業方面を專任擔當して大いに飛躍するさ▲大連でお馴染の柳木龜二郎氏が十五年振りで歸朝さ稱し華々しく東京の舞踊界に乘出し去る二十六日夜青山會館で第一回公演▲正ちやんが久志眞沙子さ改名して歌手の平井美奈子、羽衣歌子、黒田謙氏らの贊助出演で紹介されてゐる▲新興キネマに入社した月形龍之介は溝口監督の「神風連」に出演、入江たか子さ顏を合せる▲また白井撮影所長はトーキー監督さして曾我廼家五郎に白羽の矢を立て近く交渉を開始する

豐作飢饉の一對策
日本輸入税の輕減急務
日滿經濟ブロックに逆行の現率

豐作飢饉に瀕せんとする滿洲特產物の對策としては國內的には低資融通による倉積奬勵、鐵道運賃並に輸出税の低減等を考慮されてゐるが一方販路の打開策としては歐洲の情勢がドイツの大豆對策如何に拘らず殆ど憂慮すべきものがなく從つて禁止的關税を固執する支那と更に隣邦日本への輸出を促進することが最も緊要とさるゝに至つた、然るに滿支兩國の關税關係による融和が急速に實現し難い現狀の下においては日本への輸出增加を圖ることが目前の急務であるに拘らず日本の滿洲特產物に對する輸入税は日滿ブロック經濟結成の急速に逆行し、內地農村の副業保護に藉口して昨年六月より高率に引上げられ事實上の輸入制限を行ひつゝ今日に至つてゐる、今日本輸入主要特產物の輸入關税を引上げ以前と比較して示せば左の如くである（百斤當り、單位錢）

品目	舊率	現行率
大豆	七〇	九四
高粱	無税	一〇〇
玉蜀黍	三〇	一〇〇
包米	三〇	一七〇
小豆	五五	七五
落花生(殼付)	一二五	一六八
同(殼なし)	一八〇	二四三
豌豆	六五	八七
胡麻	三〇	六七
蘇子	五〇	六七
蕎麥	五〇	六七

豆粕、大麻子は無税

右の如く各品一律に引上げをみたが殊に高粱、包米、玉蜀黍の引上率は最も甚だしく市價の暴落をみた現在においてはその負擔甚だしきものがある、從つて日滿兩國相互の好意的理解によつて日本の輸入税を合理的に引下げ以てブロック經濟の結成に一歩を進めることが、この際先決問題であらうと論議されてゐる

縺れの市場問題
團圓に近づく
御影池署長乘出す

大連市營中央卸賣市場收拾問題はその後民政署當局において極秘裡に瀬踏み中のところ、漸次解決の曙光見え今やさしもの縺れも解けんとする情勢を誘致するに至つた即ち二十四日開かれた市對市會代表の協議會は既報の如く表面物別れの如く見ゆるも、從來小川市長の市場問題處置には不充分の點少くなかつたのにつれ、市長自ら兩度遺憾の意を表したが、右は市會の市長に對する不滿を著るしく緩和する一方、市會自らも市場收拾の急務を感じ、これが實現を期するには行掛かり上民政署當局の斡旋に俟つを以て寧ろ機宜を得たるものとして

市場問題につれ民政署長の斡旋を見れば市會は考慮する用意ありと申合せて活路を殘した事實がある、茲において小川市長並に岡野助役は直に署長斡旋を懇請したところ御影池民政署長は

市會は市長の遺憾の意表明により著しく好轉したものと見るべく、一方署長の斡旋乘出しも仲買人側より先つ折れて協調すべしといふ市會の尤な見解を尊重して行へば斡旋成就せんとの見通しをつけたるものゝ如くである

日印會商の成行に
紡績聯合會强硬
割當量を先決條件にせよと

【大阪廿八日發國通】デリーに於ける澤田ボーア兩代表の私的會見の席上、印度側より提出された讓歩案に對して二十六日夜、外務省より我代表宛回訓が發せられたが紡聯としては政府側の對策方針と聊か異り、綿布の割當數量を棉花買付數量より協定成立の先決條件として左記の諸點の解決協定を最も重大視し三十日吉野次官、來栖通商局長來阪し日印通商に對する最後的對策を決定する官民協議會でも此點を極力說くると言つてゐる、即ち印度側は日本側の强要

輸入割當綿布は八種目に區分し各種目的別に三億八千萬平方碼を振當按配し而も一ケ年を四期に分け、許容數量を四分せんとするの提案は輸出最盛期におけける日本綿布の進出を品種と期日の制限で輸入防遏を企む印度側の狡猾な戰術である、假に斯の如き印度側の提案を承認する場合は、五億七千八百萬平方碼の

わが根本要求を完全に貫徹するも、恐らく實際的に輸出されろ數量は三億碼にも達せざるべく實質上日印會商の全成果は根本的に覆されるが如き結果を招來すべく、故に印度側が我方の全要求を受諾するも此點を解決せざる限り如何なる協定にも應ぜずと頗る强硬な態度を持して居る

日印專門委員會
雜貨問題一段落

【ニューデリー廿七日發國通】雜貨問題に關する日印專門委員交涉は二十七日の會議で著るしく進捗し、從量税制度を採用する大綱に就き意見一致を見、爲替變動に關する法律條項に就き日印間に妥協付けば雜貨問題はこれで一段落を告げるとこととなつた、雜貨類に就ても印度政廳は爲替變動に關する保留條項を挿入する事を主張し飽迄日本代表は留保條項追加に反對し居るので飽く迄双方ともこの點を明確に決定する意向である、但し雜貨類の各種品目に從量税は頗る困難である

大同林業問題で
谷參事官を訪問
反對運動の陳情委員が

【新京二十八日發國通】大同林業公司の成立反對陳情委員十名は二十七日午前谷參事官を訪問、生產統制緩和方に就き種々陳情更に各關係方面を歷訪し陳情するところあつたが、更に運動を効果的ならしむべく近く開催される商工會議所聯合會に諮り、聯合會の加勢方を協議する筈で、場合に依つては明年一月頃上京委員を出して關係各省に反對陳情を爲すべく特務部及び滿洲國實業部の出樣次第に依つて問題は益々紛糾するものと見らる

ホールディング・コムパニー制と
滿鐵組織改革問題（上）
岡本理治

關東軍參謀沼田中佐が新京への歸途、安東にて語りし滿鐵改組の梗概が滿日によりて報ぜられて以來、滿鐵並に滿洲及び內地に非常なる影響を及ぼした、沼田氏の發表の核心は滿鐵をホールディング・コンパニーに改組して、滿洲開發の中堅機關となすにある、この發表に對し、滿鐵は頗る强き衝動を受け、三萬の會員を擁する社員會は、本日（十月二十七日）評議員會に於て此問題を熱烈に論議した、私は偶然の機によりて之を傍聽し、しかく諸議員の所論を聞いた、しかし遺憾ながらこれに承服が出來なかつた、私の見る處では、滿鐵下級社員中には、改組問題で騷いでゐる上級者を眺めて痛快がる傾向にある一部も見受けらるゝが、總じて上下を通じて、ホールディング・コンパニーの本質機能を了解せず感情論に墮せる傾きが多い、これは滿鐵社員の禍め執らざる所である、今少し冷靜に慎慮して、これを理解認識することの切要なるを思ふ、而してこれをなすにはホールディング・コンパニーの觀念を明徵にすることが必要である、故に私は餘計な事かも知れざれ共、私の信ずるホールディング・コンパニーの本質機能に就き說述し、沼田氏等の意圖の可否に就き私の信念を論明し度いと思ふ。

◆

ホールディング・コンパニーは米國に盛行する制度であり、廿世紀の經濟界に各方面には其右傚左傚何れの思想を問はず重要意義を有するものである、之を歷史的に考ふれば企業合同の一形態なるトラストに胚胎せるものである、トラストの形態の最も典型的又精明なるものは一八八二年スタンダード・オイルによりてなされたるスタンダード・オイルトラスト・アグリーメント（信託契約）である、この契約の內容は委託者たる

一、アクメオイル會社（紐育）その他十三社（株主全體の贊同せる分）
二、W・Cアンドルユ外四十數名（個人の分）
三、アメリカン・ルブリケーチング會社外二十五社（株主の一部が贊同せる分）

が受託者としてJ・D・ロックフエラー、O・H・ペイン、W・ロックフエラーその他六名を選定して、各州にスタンダード・オイル會社を設立し委託者側はそれ〳〵の州におけるスタンダード・オイル會社に其保持せる權利を讓渡し之に對して各州會社の株式を發行し、此等株式は受託者の下に保管し受託者は保管せる株式に對してトラスト・サーティイフイケート（信託證券）を發行して委託者に交付し、取引所に上場して株式と同樣に自由に賣買をなすことを得る樣にした、受託者が保管せる株式は信託の原理によりて、受託者の名義になれる故、各州會社役員の選任其他管理運營は其議決權によりて實行されることになつてゐる、而して此契約面を離れてスタンダード・オイルはロックフエラーの財力により此トラストが財務的に金融的に擁護されしは勿論である、斯くしてロックフエラーはスタンダード・オイル會社により合衆國全體に亘りて石油事業の獨占的統制を敢行するを得た。

◆

これは二十世紀の劈頭に於ける大企業の風潮を現實にせるもので財界に大なる影響を及ぼせるものである。之によりて獨占形態がその强力を發揮し得るに至り故此に合衆國の傳統精神なる自由主義と衝突するに至り、一八九〇年のシャーマンのトラスト禁止法の制定となつた。然し合衆國に於て、既に大企業は不可避の實情に在り固陋なる自由主義は事實上通用せざるに至り居りしを以て、トラストの代りに、即ち信託行爲の代りに、一會社が自己の所有として他會社の株式を持つことによりてトラストの機能を全うする事となつた。之がホールディング・コンパニー即ち持株會社である。故にこの種の會社も亦證券統一會社或は支配會社とも稱するのである。

持株會社の機能を考察する際、考慮すべきは合衆國に於ける此種會社の四形態である。第一はペーレント・コンパニー（親會社）と稱せらるゝものにて自らの事業を運營せる會社が他會社の重役席を支配することによりて他會社を其麾下に置くものである。此種のものは工業會社方面も少〳〵ないが主として大鐵道會社によりて小鐵道會社を支配する場合に用ひられる、滿鐵の現在の形態は之に類似する所が多い（未完）

滿洲國商標法と國際條約（二）
滿洲國商標局 中根齋

明治三十六年締結されたる日支通商追加條約第五條は日支兩國の商標權相互保護に關し左の如く規定して居る

清國政府は、清國臣民が日本國臣民の有する登錄濟商標の侵害を禁遏する爲必要なる規則を設け、且誠實に之を執行することを約す清國政府は清國語を以て編製し、且特に清國人の使用に供するため作製せられたる書籍冊子、地圖及海圖に關し、日本國臣民の有する登錄濟版權を保護するため必要なる規則を制定することを約す、清國政府は登錄局を設置し、商標及版權保護の爲今後同國政府に於て制定すべき規則の定むる所に從ひ其の保護を求むる外國商標及版權の登錄を爲すべし

とありて之を同條約支那文と對照するに其の行文上多少意義を異にする所あるが、日文の「日本人の有する登錄濟商標」を支那文には「日本臣民所執掛號商牌」と記載し、一見して日本臣民が日本國における既登錄商標權なるが如く解釋さるゝを以て、或る論者の如き滿洲國商標法には日支條約に規定せる日本人民の日本國において登錄濟の商標を保護すべき規定を設くべし、この規定を缺ける滿洲國商標法の實施は條約の違反にして日本人民の既得權の蹂躪なりと論ずるあるに至つた、これ該條約文が簡に失しその意義明晰ならざるに起因する誤解と、これを解釋する用意を以て同條文を通讀せざる錯覺にして深く怪しむに足らぬが、此の機會を以て一般商工業者のため少しく釋明する處あるべし

◆

上記日支條約は明治三十六年の締結であつて、日本は明治三十二年にて既に萬國工業所有權保護同盟條約に加入して居る、同盟條約の起源は遠く一八七三年にして同盟條約最初の希望は、國際的方法を以て一の統一的特許規定を作ること、即ち同盟國の一國に登錄されたる工業所有權は、他の總ての同盟國に於て無條件保護を爲すと云ふにありたるが、此の如き目的は到底達成すべからざるを認め、結局各國法制の異別を認め、同盟國は各其の異別ある一國の法規を以て、相互國內に於ける特許權を保護し、各國に於ける權利は他の締盟國に於ける權利とは獨立にして無關係に存在するに改めたのである、而して外國人の工業所有權享有能力に關する規程は、同盟條約成立前にありては各通商條約に記載されしが、其後同盟國間に在りては之を同盟條約の規定に讓り通商條約にはこれを省略するの方針となりたるものである

◆

當時支那は未だ同盟條約國にあらざるを以て、日本が支那と通商條約を締結するに當り、商標權保護に關し追加通商條約中においてその規定を設けたるものにして、大正元年の日露通商條約の如きも露國が不加盟國なるため、特に締結されたのである、故に本日支條約の規定が、同盟條約の原則的規定に準據せることは言を俟たざる所にして、上記日支條約文中の「日本臣民の有する登錄濟商標」とは、日本臣民が支那の法規により、支那において登錄されたる日本臣民の有する商標權と解するが最も正當なる解釋であつて、これを以て日本國において登錄された日本臣民の有する商標權とは解釋すべからざるものである、若しこれを日本國において登錄されたる商標權なりとすれば、日本は支那と條約を締結するに當り、同盟條約の規約を無視し、違反行爲を敢て爲したるものと云ふべく、當時の日本當局者に此の如き錯誤無きは勿論、日本と同年に締結せる米支條約及其の前年に締結せる英支條約にも此規定なきを以て見るも亦知ることが出來るのである（未完）

對支債權整理
交涉方を要請
環境好轉で外相乘氣

【東京二十八日發國通】對支債權者組合代表正金副頭取大久保利賢、東亞興業專務內田勝司氏等は昨日午後二時半外務省に廣田外相を訪問、對支債權整理交涉再開促進方を要請した、廣田外相も支那側の親日還元の誠意を試驗するに好機會だから成るべく早く交涉再開の軌道に復するやう措置を講ずると約したので、近く有吉公使乃至は日高南京總領事を通じて國民政府に提議するものと見られてゐる

出廻り特產
人氣引立たず

【鞍山發】遼陽以南今秋の特產は降雨のため例年より稍遲れて十日頃から漸く出廻りを見たが、相場安のため人氣引立たず、買付資金等も遼陽の高木、林兩店を除けば未だこれと云ふ動きなく遼陽、鞍山、海城、蓋平、大石橋各地とも同樣比較的活氣がない、併し今秋は杜絕中の營口輸出支那向け燒酒が從前通り復活されたので燒酒相場の上騰により沿線各地燒鍋業者は一齊に昨秋に倍加の釀造を行ふこととし、目下高粱を始め原料買込旺盛を極めてゐるし、一方棉實も今秋は相當數量の收穫を見てゐる由であれば、海城粟等とともに近日中には俄然活況を呈するであらうと

年內物入荷薄
麻袋昂騰
安値より三四錢高

大連重要品市場の新麻袋は今夏來軟調を辿りつゝあつたが十月十六日の十一月限三十四錢五厘、十二月限三十四錢六厘を底値として好轉に轉じ爾來昂騰の一途を辿り、二十七日は十一月限三十八錢五厘、十二月限三十八錢と安値より三錢四五厘乃至四錢方の暴騰を演ずるに至つた、之れは今夏來輸入商大手筋の年內物賣繋ぎに對し、在庫薄と年內物入荷薄からマバラ筋は現品せめの戰法に出でたると一方產地市況も空賣り屋の買埋めから昂騰步調を示して來たので當市の期近高に更に拍車をかける形となつたのである、二十八日前場は產地休會にて閑氣配なるも高見越しで、期近物は買一服乍ら先限は依然買氣旺盛となり相場は現物當限三十八錢、十一月限三十八錢一厘、十二月限三十七錢九厘、一月限卅六錢八厘見當で商內活況を呈した

大連水曜會
電報料引下陳情

大連水曜會では今回の電報料金引上の金融業務に及ぼす惡影響を重大視し、舊料金以下引下方につき二十六日加盟各銀行會社連名で日滿各關係當局に陳情するところあつた

大連安東兩地
通關不均衡問題に運動
大連商議から關係要路へ陳情

安東、大連兩税關の小包郵便課税不均衡に對し大連綿絲布商組合より運動援助方を依賴された大連商工會議所では右の課税不均衡は單に綿絲布商のみならず一般綿絲布雜貨商にも多大の影響を有するに鑑み大至急安東側の施設を完備し、以て課税の公平を期せられたき旨二十八日關東長官並に滿洲國財政部總長宛要望書を提出すると共に稲本大連、中村安東各税關長にも寫文を提出することになつた、尚ほ長永書記長も近く赴京財政部當局に對し同樣陳情する筈である

廿八日發會式
大連駐在員協會

內地各府縣並に貿易團體の在連駐在員相互の親睦を圖り共同利益の增進を目的として去る十九日創立された大連駐在員協會では二十八日午後五時よりヤマトホテルに於て發會式を擧行すると

南滿瓦斯重役會

南滿瓦斯會社では二十八日午後三時より重役會開催八年上半期決算案を附議した

志村支配人出張

南滿瓦斯常務志村德造氏は上半期決算も一段落となつたので二十九日吉島丸で上海に赴き同地の瓦斯事業の現況を視察後內地に赴き東京、大阪その他重要都市の瓦斯事業、工場等を視察、十一月下旬ごろ歸連の豫定である

黄塵

◇…宋子文君が遂に辭表を出した、裏にどんなトリックが潛んで居ても一應は敗れたのだ、がこの男おさなしく引退などする筈もなし、何れは一策動することは請合ひ、親日方針に轉向しかけてる國民政府のこの頃、宋君悶々の情は察するに餘りある。

◇…揉みぬいた中央卸賣市場問題やつと大團圓に近づきかけた、トウ〳〵民政署長が乘り出す迄になつたなどはあまり賞めたはなしでなし、大抵な所で手を打つてしまへ。

市況（廿八日）

特產
油房筋賣り 大豆軟調

今朝の定期は大豆は油房筋の賣に軟調を呈し豆粕は邦商の轉賣續出して軟弱を辿り豆油は買氣薄に軟調を示し高粱は各品安に弱保合を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘 [illegible]

▲豆粕（軟調）單位厘 [illegible]

▲豆油（軟調）單位錢 [illegible]

▲高粱（弱保合）單位厘 出來高 三千百箱 [illegible]

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	四一七〇	四一四〇
出來高	百八十車	
普通（袋込）大豆（裸物）	四一〇〇	四〇八〇
出來高	五車	
豆粕	一三〇五	一三〇〇
出來高	七千枚	

品目	寄付	大引
豆油	一一四〇	一一四〇
出來高	六千六百箱	
高粱下物	一九八〇	一九八〇
出來高	二車	
包米	出來不申	
豆粕生產高		

定期喰合高（廿七日入）

			前日對比 △印減
二十八日	九、〇〇〇枚	四軒	
二十九日	九、〇〇〇枚	四軒	
大豆	四〇二〇車		△二二車
高粱	七三九車		△一六車
豆粕	一三一五千枚		五九千枚
豆油	一一〇〇百箱		

豆

けさ大豆は豆粕軟弱のため油房筋の賣物多く三井、三菱及南支筋の買も利かず軟調を辿つた▲豆粕は三井、三菱の轉賣續出して軟調を示し豆油は買氣なく軟弱、高粱は人氣なく他品安に弱保合を呈した▲現物大豆は寶隆九〇、三井一〇、三菱二五、豐年五、油房五〇と百八十車の大手合▲歐洲向船積手當の買物らしく、最近歐洲筋の買氣が果然擡頭してきた▲埠頭到着も大分活潑となつてきたが輸出の方も相當にあるので在庫高は格別增加しないであらう

銀

銀塊爲替共大した變化なく材料薄なるも灤水の瞬りを眺め受渡終了の安心もありて鈔票は三四十錢高と引締つた▲ハッキリした買材料はないが鈔票も高値から五圓方も落したアトであるから一般に反動高を期待してゐるやうである▲それに受渡後はいつも買付かれる傾向もあるから茲二三日は材料はなくとも多少强調を辿ることになるかも知れない▲但し目先根幹的な强材料もない折柄であれば大した期待も出來ないであらう

株

大阪前場は寄高の引安で結局變らず東新は六圓臺の保合を入れ▲當市も內地株は變らなかつたが定期の五品は二、三十錢安と引弛み他株も不引立の商狀を呈した▲東新高を眺めても滿洲株は五品を首め諸株共却つて軟調を呈するなど全く面白くない相場つきである▲人氣が地場株に斯くの如く離散しては一寸五品の立直りも困難であらう▲東新のみ雜株高に鞘寄せして强調を辿つてゐるが雜株に對する牽引力は乏しいやうだ▲從つて今次の東新高も永續性があるやうには考へられぬ

錢鈔
人氣稍硬化し 鈔票引締る

海外情報は倫敦銀塊現物先物共同事、紐育八分一安、孟買十六分一安、米英クロス一仙四分一安、米支爲替三十七仙高、米日六仙安、神戸日米八分一安、滙申九六元四七五、滙燈九六元、滙水百五圓臺なるも强含み商狀、上海標金三五元高を入れ當市は人氣稍硬化し三四十錢高と引締つた

◇定期前場（單位錢）寄付 高値 安値 大引 期近 [illegible] 出來高期近百九十四萬圓

◇現物前場（單位錢）銀對金 銀對洋 金對洋

時	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金六十九萬圓 銀對洋二萬五千圓）

株式
新東保合 五品弱含み

北濱定期の前場は大株、大共八十錢高、鐘新七十錢高に寄り付き、あと大株三十錢安、鐘新二十錢安に引け、東京短期〃新東は寄十錢安、鐘紡一圓十錢安、大新同事、鐘紡同事、引十錢高と保合を示し、當市五品は定期三十錢安と弱含みを辿り、延保合に引け、錢鈔弱保合、新東は寄十錢安、引五十錢高と强保合を呈した

◇定期・前場（單位十錢）

銘柄	當限	先限
東新 寄	二〇四八	二〇六五
東新 引	二〇四八	二〇六五
五品 寄	二六七	二七〇
五品 中	二六七	二七〇
五品 引	二六七	二七〇

◇延取引

銘柄	寄値	高值	安值	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇輸取引 五品代行二六五、商取信一六一、滿洲電話一四九、滿洲興業二五九

商品
麻袋近物反落 綿絲强保合

●麻袋 產地休會にて閑氣配は高見越で當市は期近物には買一服の態なるも先限は依然買氣盛にて相場近物低落、先限保合の商狀にて相唱へ値は現物、當限三十八錢、十一月限三十八錢一厘、十二月限三十七錢九厘、一月限三十六錢八厘見當

●綿絲 米棉五ポイント高、印棉保合、大阪三品は當限、先限共に小一圓高と好調に引けた、當市は依然薄商內にて閑散

銘柄	約定期	值段	枚數
麻袋	十一月限	三八一	一〇〇
同	十二月限	三八〇	六〇〇
同	一月限	三六九	一〇〇
出來高	十七萬枚		
綿絲 福助	二月限	二〇九八	一〇
同	三月限	二〇六〇	五〇
出來高	六十梱		

滿鐵株（保合）

銘柄	值段
東短前場 滿鐵新	六十六圓五十錢
大阪短期 滿鐵舊	六十六圓七十錢

○爲替及受渡日步（株式出來高（二十七日））

銘柄	爲替	受渡	代渡	代引	日步
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
永新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

定期	延羅	合計	早渡	金額
三、七三〇枚	九一〇枚	四、八四〇枚		三一、六六〇枚

上海爲替情報

【上海二十八日發】銀塊高クロス安にて標金氣迷ひアメリカは五億弗の紙幣を增發して金を買上げるとのルーター入電ありしため標金一時下押したるも銀行筋は弗爲替を買ふため下げ澁る、弗は獨逸商館筋の輸入ありて弱含み三十弗八分一近物賣手、圓は神戸安北方先物よく賣るため外貨逆行して百五、四分の三標金賣手と强くなる

上海標金

寄値	七八八兩〇〇
高值	七九一兩二〇
安值	七八六兩五〇
止值	七八八兩〇〇

手形交換高（廿八日）

金	一、三三〇枚	[illegible]
銀	六六六枚	[illegible]

爲替相場

鮮銀

倫敦向電賣（一圓）	一志三片四分一
紐育同電賣（金百圓）	[illegible]
同上海電賣（百弗）	[illegible]
同 賣（銀百圓）	[illegible]
日本向電賣（同）	[illegible]
同十五日拂買（同）	[illegible]

奧地相場

錢鈔

銘柄		
金票對奉大票（現物）（奉天）	[illegible]	
國幣對金票（現物）	[illegible]	
金票對國幣（先物）（奉天）	[illegible]	
開原國幣對金（現物）	[illegible]	
新京國幣對金（現物）	[illegible]	
安東鎭平銀（當限）（先限）	[illegible]	
哈國幣對金票（現物）	[illegible]	

特產

▲大豆 寄付 大引

銘柄	寄付	大引
哈爾濱 十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]

▲小麥

銘柄	寄付	大引
哈爾濱 十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]

大連埠頭到着高

大豆 三二九車 高粱 二一車 / 豆粕 五車 雜穀 二四車

市場電報（廿八日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一八片一六分一
同 先物	一八片一六分三
紐育銀塊	三八仙二分一
孟買銀塊	五六留比四分一
スチール	四〇弗八分五
アナコンダ	一四弗八分三
英米爲替	四弗七仙四分一
米日爲替	二六弗五〇仙
米支爲替	三〇弗六二仙

神戸日米

第一回	二六弗四分一
第二回	二六弗四分一
第三回	二六弗四分一

棉花

●米棉

限月	
現物	九仙八五
十月	九仙六四
十二月	九仙七七
一月	九仙八〇
三月	九仙九六
五月	一〇仙一一
七月	一〇仙一六

●印棉

ベンコール	一四一留比
ブローチ	一八六留比
オームラ	一六六留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一二七〇	一二四〇
鐘新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

（短期）

	大新	東新	鐘新	滿鐵
寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品 當	[illegible]	[illegible]
新豆 當	[illegible]	[illegible]

大阪期米

	前場寄	前場引
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

東京期米

	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪棉花

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]

印度麻袋

綿筋直積	[illegible]
青筋直積	[illegible]
爲替相場	[illegible]

御會葬御禮 男 八木茂成

會葬御禮 父 木虎松之助

御會葬御禮 伊東三吉

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部賣 金五錢　一ヶ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢
廣告料　普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社 滿洲日報社　振替口座大連六〇番

政府内部不統一から林主席も辭職説

國府内部動搖益々擴大

【上海特電二十八日發】宋子文氏の辭職は愈々確定的となつたが、一方國民政府主席林森氏の辭職説あり、動搖は益々擴大しつゝある、卽ち墓參のため歸鄕せる林主席は十九路軍の横暴のため福建人民から詰問請願攻めに遭ひ、政府内部不統一の結果、到底國内整理統一は不可能と見て辭意を固め、南京に歸任の上辭表を提出するものと見られてゐる

宋子文氏辭表提出

今後適當の時期に復活

【上海特電二十八日發】財政部長宋子文氏は二十七日辭表を提出したので政府及び財界方面より極力慰留につとめてゐる、右宋氏の辭職は共産軍討伐費たる鹽税庫券一億二千萬元を浙江財閥に無理押しに引受けさせんとする魂膽によるものらしく、一時孔祥熙氏が財政部長に就任し、今後適當の機會をみて再び宋氏が復職するものとみられてゐる(寫眞は宋氏)

辭職原因

【上海特電二十七日發】宋財政部長の辭職は確定的となつた、辭職の理由は對日政策といふも主として財政難で蔣介石氏よりの軍費追究と浙江財閥が最近の不況から金を出し惜むために板挾みとなり殊に北支那財政援助諒解に基く月額二百萬元も實行不能に陷りためにその立場に窮したものとみられる、政府及び財界は極力慰留し蔣介石氏夫人は蔣宋兩氏の間に調停に奔走してゐる

滿鐵改造問題

外部案を檢討の後獨自の案を作成

滿鐵社員會特別委員の任務

第十回評議員會の決議により社員會の滿鐵改造問題に關する活動は一切特別委員會に一任されたので自然内外の注目は右委員會に注がれるに至つた、しかして同委員會の人的構成も幹事一任となつたので常任幹事を中心として委員の選定に着手することになつたが、取敢ず本部役員をもつてこれに充てその他は臨時役員外の適任者を選んで依頼する方針である、又委員會の最大の任務は社員會獨自案の作成であるが、改造問題の眞相がなほ明瞭でないので、當分情報の蒐集につとめ、外部で作成される改造案が適當なりや否やの實質的檢討を行ひ、又適時滿鐵重役團や外部に對し意思表示をなす等活潑な活動をなす筈である

社員會評議員會

提出議案審議の成績

第十回滿鐵社員會評議員會第二日目は二十八日午前十時から協和會館で開かれたが、提出議題のうち議了されたもの〻結果は左の如くである

一、社員の人材登用に關し會社へ請願の件(可決)
一、職名變更方會社へ請願の件(撤回)
一、事務員、技術員なる資格を……員に還元方へ促進を會社……の件(口頭を以て會社當……事から請願する事となり撤回)
一、在新京婦人社員の優遇……せらる〻樣會社へ要望の……時議場混亂となつたが撤……
一、修繕方、煖房方にして……與せられざる者に對し……社に請願の件(否決)
一、大連の中等學校在學中……社員子弟の爲寄宿舍設置……に要望の件(目下請願中……
一、中間驛居住者生活施設……會社へ請願の件(可決)
一、社線外居住社員家族が……て他地方へ治療に赴く場……線「パス」を發行するか……濟會にて汽車賃を支給……やう會社へ要望の件(本……
一、家庭淨化運動の實現に……件(沿線側は贊成であつ……回)

鞍山製鐵所員に訣別の辭

滿鐵社員會評議員會第二日……日午後は、午前中の改造問……張の後を受けて和かな空氣……午後一時四十分再開議事に……
一、新京消費組合支部擴張……き件(新京聯合會)—本……
一、五龍背に社員簡易宿泊……置方考慮されたき件(安……會)—本部一任
一、殉職社員以外の一般死……に對する追悼法製執行の……山聯合會)—否決
一、整骨師の診療を受けた……共濟會の醫療給附に……(撫順聯合會)—可決
と波瀾なく全議題を議了……

畏し、聖上陛下 產業教育御視察

福井市と敦賀に行幸

【福井二十八日發國通】福井御駐輦の天皇陛下には天機麗しく二十八、二十九兩日は產業教育御視察のため福井市内及び敦賀に行幸遊ばされることゝなつた、第一日の二十八日は福井縣知事及び福井市長より縣及び市の行政情勢を御聽取遊ばされて後、午前十時通常御服裝を召され、自動車略式鹵簿にて福井縣廳御出門、南朝の忠臣を祀る藤島神社に行幸、それより正午福井輸出綿織物檢査所及び福井師範、福井商工會議所を御巡幸遊ばされ午後三時半還幸遊ばされた

訣別辭

……伊藤幹事長は別項のごとき鞍山製鐵所員に對する訣別の辭を朗讀すれば滿場拍手をもつて可決、滿鐵會社および社員會の……を三唱して午後二時五十分社員會創始以來の緊張ぶりを見せた……回評議員會の幕を閉ぢた

我等はさきに、昭和製鋼所の設立により、滿鐵社員會鞍山聯合會中、九百七十五の僚友を失ひしました
さきの評議員會に席を並べた同志を今日この席に見出し得ませぬ、ここはまことに愛惜の情に堪へませぬ
されど向後の滿洲經濟界の發展を思ひ、製鋼所洋々の前途に望み、偏へに諸兄姉の御健勝を祈りつゝ、吾等は敢て友愛の情を抑へねばなりませぬ
願くば製鋼所におかれても一日も早く友愛團體を結成されて我社員會と舊交に復するの機會を持たれん事を、其の曉には舊來の兄弟姉妹の情誼により、一層の親交提携を希望するものであります
茲に滿鐵社員會第十回評議員の決議により無辭以つて訣別の辭と致します

忠靈塔に宣言文奉告　滿鐵社員會評議員は二十八日忠靈塔に參拜宣言文を奉告した

忠靈塔等に宣言文奉告

同僚殉職の士を祀る殉職社員納骨堂に參拜報告し更に忠靈塔に詣でて奉告祈願しやうではないかと意見が現はれ、滿場異議なく賛成して、先づ午後四時五十分協和會館裏の納骨堂に參拜した、一行三十三名が靈前に整列するのを待つて伊藤幹事長は力強い口調で二十八日決議の宣言文を朗讀、參拜を終り、次いで一同は靜々と夕闇漸く迫る町を徒歩で中央公園忠靈塔へ向つた、社員會旗を先頭に「滿鐵の歌」を合唱して五時十五分忠靈塔に到着したが、一行の鍵は悲壯な決心に極度の緊張を見せてゐた、一同整列、默禱、宣言文朗讀、總てがさきと同じ順序で嚴肅に執り行はれたが最後に大日本帝國萬歲を三唱して散會した

拓務省の對策

堤次官、山崎理事と意見交換

拓相歸京を待ち省議

【東京二十八日發國通】拓務省では關東軍特務部の計畫なりとして傳へられてゐる滿鐵の組織改革案が同社還暦の增資に基く株式資金の募集に影響を及ぼす惧れあると同時に、滿鐵社員の動搖を誘致するに至りしため、三十日堤次官は上京中の山崎理事を拓務省に招きその眞相を聽取する一方、三十一日、永井拓相の歸京を待つて省議を開き拓務省としての改組案に對する態度を協議することになつた

滿鐵社員會代表 軍司令官と會見

滿鐵改造問題に關し

……滿鐵改造問題に關する滿鐵社員會の動向は各方面から注目されてゐる……

產業統制策協議

滿鐵改造問題には觸れず

八田副總裁談

……副總裁は沼田中佐と會見を行ひ、午前に引續き午後零時三十分旅順より歸連星ヶ浦の邸宅において午前の會見の内容に就いて語る
時間がなかつたので詳しい話を聽くひまはなかつた、沼田中佐と二人切りで會つたのだが、東京において協議された日滿產業統制問題についてその協議の内容を聽いたのだ、滿鐵改造問題なんかには觸れない、豫ていふ如く滿鐵改造問題はこの產業統制の根本問題が決した上で考へらるべき問題で、新聞紙上に傳……

軍事費のみを承認し他の新規要求は削除

大藏當局の査定方針

政、民連繫運動漸やく進展

來月早々代表會見

骨拔きとなつた日英會商聲明

日本側にとつて成功

日英會商の收穫

會商報告書の内容

佛新首相は親日

對日親善政策强調か

【東京特電二十八日發】パリ二十七日發電によれば、アルベール・サロー氏の新内閣は前閣僚多數を占めその政策は大體從來のものを踏襲するものとみられるが、殊に首相は極東通であつて對日親善政策が强められ、對滿投資問題の如きも一層力を入れるものとみられてゐる

我生命線南洋に外人、スパイ暗躍

林南洋長官語る

グアム排日に外務省抗議

鈴木總裁語る

【東京二十八日發國通】鈴木政友會總裁は二十九日福島における東北、北海道大會臨席のため二十八日午前九時二十五分上野驛を出發したが車中時局問題について左の如く語つた
我黨の態度は既に決してゐる、僕は齋藤首相に國策を提出した際にもいつてゐる通り荷くも志を同じくするものと共にこの時難打開に努力しやうといつてゐるから、今後もその心持で行きたいと思ふより外何等の考へも持つて居らぬ、大演習後の政局如何のことは自分としては何もいへぬ、ファッショとか色々いふが帝國憲法の下において容れられない政治形式が實現するが如き事は夢想だにもせざるところであり、又誰もがそう考へるところであると思ふから、それについて大旆を立てゝ押進む相手もないぢやないか

米露復交と日蘇關係

紐育紙の所載

日滿炭礦會社

來月十五日開業

【新京二十八日發國通】日滿經濟ブロックの代表的のものとして多大の期待を寄せられてゐる日滿合辦炭礦會社の創立は準備の都合上延引されてゐたが、愈々十一月十五日より開業の運びとなり新社長には現關東軍顧問吉田大將説が高い

沼田參謀北行

二十八日來連した關東軍參謀沼田中佐は八田副總裁と會見後、滿鐵東京支社において滿鐵經濟調査會宮崎第一部主査と會談して午前十一時自動車にて赴旅、菱刈軍司令官を訪問して東京において討議された日滿產業統制問題について要務を報告し午後三時歸連したが、同三時三十五分發瓦房店行列車にて北行した

軍縮會議再開

【ジュネーヴ二十七日發國通】ドイツ脱退によつて全く存在の意義を失つた軍縮會議總部會は二十六日の會合で十一月八日迄休會し九日再開に決定したが、二十七日午後に至り突如開期日を六日繰り上げて十一月三日招集あるべしと發表され、關係各代表を面喰はしたその理由は發表されなかつたがフランスのサロー内閣が成立した爲であらうと見られてゐる

社說

改造機運は內外に漲る
日本主義精神により善處

昨今の新聞を見て最も心を惹かれるのは改造問題の多いことだ。フランスに內閣更迭があつたが、これはドイツの國際聯盟脫退が動機となつたもの、ドイツの脫退は日本の脫退にも關聯はあるが、延いては國際問題のすべての機構に一大變革を來すべきものである。米國に農村體業の宣言あり、次で產金買上政策あるも効果薄く、更に貨幣の平價切下げまで行かねばならぬといふ。どこまでになるかは分らぬが、兎も角も米國內部に大變革が必要になつてゐるを示す。其外、國際問題にも諸外國の國內問題にも大變革の既成未成の事實數多きも、それはそれとして日本國內にも亦改造革正の聲は頗る高い。

◇

滿洲地元で最大問題となつてゐるのが滿鐵改造問題であるが滿鐵が新時代に應ず可く一變革を經なければならぬことは誰も早くから承認してゐる所、問題が大きいから表面には出なかつたゞけで、一度表面に出れば種々の問題が出るは當然だ。內閣方面では、先達て來、根本國策樹立が問題となりて慎重に討議されてゐるが、或は首相に重大な權限を賦與する必要ありとか議院法に重大な變革を加へる必要ありとか、租稅法、教育制度農村政策等に重大な變革を加へる必要ありとかの議がある。政黨間にも革新の氣動きつゝあるは爭ふべからず、資本家方面にも社會の變遷に適應せんと苦心されてゐることも見逃し得ない現象である。

◇

思想方面を見れば、左より右に轉向するもの多く、右の各派が又社會變遷に適應して動きつゝあることも看過し得ない。廣田外相が、內田外相時代から動きつゝあつた機運を受けて、世界の新情勢に應ずべく、政策と人事とに大變改を加へんとして考慮しつゝあるは明白に看取さる。文部省でもなまなかな改革では追つ着かずとして、小中學系統、師範教育の大變更はいふまでもなく、法文經の大三學をも官學より排除せんとの意見なども有りといふなど、如何に變革の機運が動きつゝあるかを見るに足る。軍部に至つては、世界の情勢に伴ひ、ロンドン條約消滅時期に備ふる爲め、質にも量にも一大變更を期しつゝあるはいふまでもない。

◇

これを要するに、日本內部の各方面各機構に漲り、且つ物質的にも精神的にも一大變革の氣分が橫溢しつゝあるは爭ふべからざる事實で、しかも表面的の糊塗彌縫では間に合はず、必ずや根本的に變更が加へられねばならぬと誰しも感じてゐる。蓋し世界全體が一大變革の必要を感じて各國がそれに應じて動きつゝあるのであるから、日本も是非ともこれに應じて變革されねばならぬ必要が焦眉の急に迫つてゐるからである。滿洲には幸にして、世界の變革的動搖が未だ甚だしく襲來せざる時に、既に大變革が行はれたので、目下はその善後策を必要とするのみ。随つて根本的變革の必要はない。

◇

支那も世界の大勢に制せられて一大變更の必要に迫られ、歐米依賴政策を捨て、日支提携に向ひつゝある。これは支那として一大變革に相違ない。而して日本から見るも、日支關係の大變革には相違ないが、これは反正的變更である。他の變革には破壞と建設とが同時に行はれなければならぬ爲めに多少の混亂を豫想さるゝのであるが日支關係は破壞既に終り、これからの變革は建設方面ばかりだから、滿洲國の建設と同様、心配のない方である。

◇

兎も角も世界各國に漲り、又國內各方面に漲り、物心共に大變革の機運が動いてゐるのであるから、その交錯競合によつて議論の沸騰や人心の動搖は多少これあるは免るべからざる數である。此際日本の如きは幸にして近時新時代に應ずべき日本精神の發揚ありて、國民自覺も相應に進んでゐるから、甚しき憂慮はない。併しながら尚一層國民的意識を明澄にして、世界的變局に處して誤まる所なきやうに、更に一段の緊張を加へ、考慮を密にし、各方面の改造變更を善成すべき覺悟を固むるを必要とする。

昭和製鋼所愈よ內地進出企圖
阪神に工場用地設定

【大阪特電二十八日發】阪神築港(資本金一千萬圓、四分の一拂込出資は山下汽船六、滿鐵四の割)は阪神鳴尾埋立事業に愈々着手することになつて、約六十二萬坪の大工場地帶が遠からず出現するわけだが、埋立地は運河で縱橫に區分し一萬噸級船舶を自由に航行繫留し得る設備の外、臨港鐵道で海陸の連絡を計り理想的な臨時工業地となるが、これに對し滿鐵では新工場用地として二十萬坪を豫定し、昭和製鋼所の內地進出を企圖してゐる、卽ち專ら滿洲で最も安く生產した粗鋼を精製加工し內地鐵工業界に乘出すと共に更に海外輸出の策源地とする計畫、それがため保稅倉庫も新設されることになつてゐる、またこの外各種の製鐵機械、鑄物工業、船舶建造乃至修繕、ドックなども目論で居り、八幡製鐵所に相拮抗すべき大工業區を形成せしめんとするものである

滿洲國釐金稅を沿線各驛で徵收
滿洲國、滿鐵に依賴

滿洲國政府では各省內の釐金稅のうち鐵道沿線に送り出される貨物に對するものはこれを各鐵道の驛に徵收せしめることが最も效果的であるためこの方針を立てたが、滿鐵線を始め總局管下の各驛にこれを施行するには必然的に滿鐵にも同樣の徵收事務を依賴し、滿鐵の代辨を必要があり、この點に關して本年一月國外交部から直接滿鐵に交涉があつた、而してその後本交涉も一段落の形であつたが、最近特產出廻期に入ると共に財政部では本問題の解決を急ぎ二十七日午後財政部國稅科長田村敏雄氏を滿鐵に派遣、同日午後鐵道部山口業務課長室に山口課長、小林貨物係主任と會見種々意見を交換した、然し今回の會見は滿洲國政府が關東廳の諒解を得てゐないため根本的に方針を決定するまでには至らないが、雙方の隔意ない交涉によつて問題は技術的に近く圓滿解決の見込であり、滿洲國財政部では近く奉天で徵稅實際事務の關係者會議を開いたうへ具體案を練り、關東廳の諒解を求め滿鐵と再度の交涉を開き本年中には本制度を施行の意向である、右につき滿鐵關係者は語る

これは滿洲國政府の申出によるが滿鐵は關東廳の諒解がないと困る、要するにこれまで滿鐵線へ出る貨物の釐金稅は附屬地境界線で徵收してゐたがそれでは脫稅が多いから滿鐵に代辨を依賴して來たもので、滿鐵がやれば當然滿洲國有鐵道である總局は命令一つでやることにならう

新京市公署で市場店舖計畫

【新京二十八日發國通】市公署では魚菜小賣市場の暴利防止、衞生上の見地より露店の取締をなすため市內主要地五、六ケ所に市場店舖を作り希望者に賃貸し小賣營業をなさしむべき計畫を有し近く具體案作成に着手の筈

新京→←清津 直通列車試乘記 (五)
羅津の土地思惑買の悲鳴
特派員 南里順生

▼…靜かな羅津の海は透徹した鏡のやうに綺麗で、恐ろしい大きな島が犇はつて自然の防波堤を作つてゐる。日露戰役當時上村艦隊が島を利用して灣內に姿を隱し浦鹽艦隊及びバルチック艦隊を奇襲殲滅の作戰に出たことによつて新に記憶を呼び起させる。灣內は廣く且つ飽まで深い、今後滿洲國がどれだけ發展しても輸出入貨物は遙に一手に引受けられるだけの築港は大丈夫だ、また港灣の發展による都市計畫も羅津連山に挾まれ廣濶たる盆地は充分にその力を持つてゐる、山岳重疊として、山に燃ゆる紅葉の美、綠に覆はれた半島に抱かれた海、北鮮の一漁村として捨られ、一顧だにされなかつたこれが輝かしい友邦滿洲國の獨立建國に惠まれて、近く勇ましい舟歌を聞かれることにならうといふから、運といふものは判らないものではある。

▼…羅津盆地は大部分が葭の茂る濕地で、假りに人馬の交通を必要とするならば、山裾傳ひの大迂廻する外なかつたらう、それ程の濕地である、從つて港灣施設に對する都市計畫は、先づこの盆地に二米五〇の埋立が必要だといふ、とすれば築港工事の大要なると共に、埋立工事も恐ろしい大事業で、こゝも失業者も大部救はれやうといふものである

▼…大連から朝鮮半島を迂廻して回航された問題のクレーン二隻は着々と築港工事に活躍を開始してゐる、バラック建の建設事務所前にも赤煉瓦の建築が進められてゐる、だが都市計畫は未だ發表されてゐないので、思惑買ひの連中も金利に追はれたり、或は資金が持ちこらへられなかつたりして、弱つてゐる一獲千金の夢成金者も少くなく、一時一坪三十圓なんて呼んでゐたベラ棒な高値も、今日では漸次凋落の色を見せて來た、斯うなると土地成金が解消して、資金を融通した所謂金貸し成金に變化しさうな形勢である、國家的事業の遂行に支障を來さんと押しかける利權屋の運命と結果とはとうぜ斯うなるものではあるが

▼…羅津から出た吾々一行の自動車は建設事務所の前から一直線に濕地を埋めた新設假道路のバラスの上を漸くにして通過し、總督府街道の山路にかゝるが、この山麓には極めてお粗末なバラックがギッシリと軒を並べてゐる、景氣を目指して一番乘りを爭つた連中ではあらうが、別に想像してゐた程の景氣の色も見えないのみか、この新興氣分であるべきバラック町に空家が多數見出せるには寧ろ期待を裏切られた形である、とオレは羅津の草分けだ、と將來繁榮になるまで殘り得るものが果してどれだけか

▼…長さにおいて鮮滿鐵一と稱せられる羅津の隧道は目下工事中であるが、これが完成は昭和十年八月の豫定だといふ【寫眞は雄羅トンネル工事】

滿蘇國境水路會議の目的
滿洲國交通部當局談

【新京電話】滿ソ國境をなすアムール河、ウスリー河における水路改修、河川設備等に關する滿ソ水路會議は近く開催されるが、右に關し滿洲國交通部當局では語る

滿ソ國境河川たるアムール、ムルクナー各河の水路改修、河港の設備及び航行船舶の設備の取締などは兩國共通の利害關係あり、舊政權時代においても民國十二年以後黑河道尹を交涉委員としてアムール水道局長などとソ聯委員との間に屢々地方的會議を開き必要なる協定をなし、これに基いて組織せられたる共同技術委員會をして水路維持に必要なる諸設備を實施せしめ、その費用に充當するため江捐を徵收し來れるものである、わが國としてもこれら河川に進出すべき自國船舶の利便をはかるため從前同樣ある種の協定を締結すべき必要あり、從來在ブラゴウエスチエンスク市當國領事をしてソ聯側と折衝せしめたるにソ聯側において本問題の商議開始に對し異議なく、これがためブ市に委員派遣に同意なることを明らかとなれるため今回在ブ市當國領事を委員長とし、吉津副領事及び堀內交通部事務官を委員とし別に軍政部より顧問一名を參加せしめ準備完了次第ブ市に赴きソ聯側委員アムール水道局長代理以下と商議せしめることになつた譯である

滿洲國事務所を華府に設置
滿洲國事情紹介の爲

【新京二十八日發國通】滿洲國の實情紹介のため派遣された外交部顧問ブロンソン・リー氏はワシントン・ショーラムホテルに在り、サー・エドワードはマンチエスター・スクエア・リユーク街に夫々臨時事務所を開設し、滿洲國に關する一般實情の紹介並に金融財政機關との聯絡情報の交換上の事務聯絡を圖つてゐる

佳木斯移民の成績
今後益々發展すべく期待さる
小河拓務省書記官談

【新京電話】拓務省出張所小河書記官は二十八日午前十一時より新京記者團に對し佳木斯移民團の近狀に關し大要左の如く語つた

移民團の現在數は第一次三百八十六人、第二次三百九十九人で第二次移民團は本年七月目的地に到着してからは本年度の耕作も出來ず來年度に對する諸準備宿舍建築などに餘念がないが、この第一次移民も二月十一日先發隊が入り準備の完了を俟つて四月一日より鍬下ろしを終へ本年度は四百五十町步を

植付面積 として開始したがこれも五月一杯に完了し好成績を示してゐる、植付段別をみるに大豆百四十三町步、粟百十三町步、玉蜀黍五十三町步、小麥五十一町步、大麥十七町步、小豆十四町步、馬鈴薯十一町步、その他等で作柄としては六月以降の馬賊討伐のために留守したなどが惡影響を齎らし草とりなどが充分に行かなかつた爲め千五百石程度の收穫しか得られなかつた狀態である、移民團は將來は農產加工班を設け農產物をそのまゝ賣却することなく例へば豆粕、豆油、チーズ、腸詰といつた加工品として賣り捌く豫定でそのために今から

特殊技能 の養成に一生懸命になつてゐる、世間からは兎や角いはれてゐる移民團も內部的には案外結束を堅くし將來移民地が墳墓の地として土着民との間に共助協力に努力してゐるやうで、吾々も全く賴もしく思つてゐる、不幸にして意思の薄弱なため脫退又は除名處分に附せられた者は第一次、二次を合せて百七十四名、病死、戰死十四名といつた數字を示してゐるが移民團全體としては何等內部的の動搖を來すところなく益々將來に對する輝かしい希望を繋いでゐるやうだ、この十五日には第一次移民地に設けられた

彌榮神社 の秋祭りも行はれたさうだし、これに先立ち山口縣移民の家族も入つたことだし質實に剛健に移民團も今後益々發展して行くことだらう、かうした地から生まれる日滿親善の效果はたゞ單に口頭禪的に叫ぶより、餘程有效なものと吾々はこの方面に對しても非常な期待をかけてゐる次第である

警察官補充

內地より警察官を募集する事になつた
▲十一月五日鹿兒島巡查教習所▲同月六日福島警察練習所▲同八日熊本警察練習所▲同九日仙臺巡查教習所▲同十一日門司警察署▲同七日旅順警察官練習所
尚右試驗官は近日中に內地に向ふが、今回は內地において約三百名を募集する豫定で、教習も僅か一二ケ月の短期間において行ふ筈

奉天通化間の自動車營業

瀋海鐵路局では特產出廻期を前にして奉天、通化間に自動車營業を行ふことになり十一月一日から營業開始の豫定であつたが、車體が揃はないため十一月末に延期されることゝなつた

フォード氏挑戰的聲明
復興局長官に

【デトロイド二十七日發國通】アメリカ產業復興局長官ジョンソン氏がル大統領の旨を受け產業復興法の徹底に努力してゐる一方、何處吹く風かとばかり一向これに取合はず、產業復興法典にも署名參加せず、自分勝手に賃銀の引上げを行ふだけで濟ましてゐる自動車王フォード氏は復興局長官ジョンソン氏の遣口に飽くまで楯つき二十七日フォード會社で次の如き挑戰的聲明を發表した

復興局長官ジョンソン氏は忠實に法律を遵守しつゝあるアメリカの一工業(フォードを指す)に對し重大なる不公正をなさんとし、且つフォード會社が復興法を遵守しないとし、獨裁權を獨りで背負つたやうな口吻で我々に非難を加へた、產業復興法典には署名してゐないが法律は一から十迄忠實に守つてゐるのだ

大統領と正面衝突

【ワシントン二十七日發國通】フォード氏の挑戰的聲明に對しル大統領は

產業復興はフォード自動車の如く產業復興法典に參加せざる會社によつて作られた製產品を政府が買上げる事を禁止するものと見做す

との裁定を下した、卽ちアメリカ政府關係の各官廳では爾今一切フォード自動車を買入れないこととなるもので、こゝに愈々ル大統領とフォード自動車會社との仇討ちが始まつた譯だ

滿鐵經調會の委員會

滿鐵經濟調查會では二十八日午前十時より社員俱樂部樓上において小委員會を開催、十河理事以下各委員總裁、職員、商事部關係者等出席し滿洲特產振興策について協議した卽ちドイツ大豆製品關稅引上による市場封鎖、大豆値下りの對應策について協議したが今後滿洲特產の重要性に鑑み大豆工業の勃興、大豆製品の商品化、販路開拓に就いて今後具體的研究を進めることゝし午後五時散會した

學童と辨當　一保護者

(投書歡迎　五十行以內　十中は書さらず)

◇各小學校には兒童用品の販賣部を設けられ學用品の安價購入が出來、家庭經濟上と便宜上非常にいゝ計畫と存じ保護者として感謝する次第です。

◇然し此所に教育上甚だ害のあると思ふのは食料品の販賣です、或る學校では辨當用としてパン(ジャムパン、アンパン、クリームパン、サンドウヰッチ等)餅、カステーラ、罐入辨當(米飯)等販賣してあるのは適當でないと存じます。

◇これ等は兒童をして贅澤心を起し且つ自由に勝手に選定し「買喰ひ」の惡習を養成するものと認められます。

◇元來辨當は各家庭から持參すべきものであつて偶々家庭の都合上出來ないとか忘れた場合のためには只一種の榮養的パン(餡のあるものは不可)のみを準備しておけばいゝと存じます、何も種々雜多の菓子類似のパンや辨當をおく必要はないと思はれる。

◇而して兒童の購買慾をそゝる必要はない、又職員用の特別辨當の如きも販賣部にならべてあるが之等も兒童に見せる必要はない、小使室か職員室の一隅に格納せしめておくべきである。

◇兒童はかはつたもの、珍しいもの、人の食べるものを見ればつい〳〵欲しくなる、大人も同樣である、だから販賣しない方がいゝのである、兒童一人について辨當を忘れ、若くは家庭の都合で辨當が出來なかつたと云ふ樣な事は年中多くて四、五回のものであらうから、其準備として僅か一種のパンがあれば十分である、それで滿足させるべきである。

◇保養週間等には梅干入り又は鹽付握り飯のみにするのも一方法である、以上特に一考され度いものです。

◇また序に記しておきたい事は學校で賣つてゐる牛乳は多數購入の爲め安價に飲用できますが、噂によれば學校に對する牛乳は安價なると兒童に良否判別の知識なき爲め水分多きもの、豆乳の混入したものであると云ふ、學校で牛乳を飲ましてゐるからと安心してゐても却て高いものとなるから警察で牛乳檢查をやつてゐる樣に月何回か臨時に試驗して完全牛乳たる事を期せられん事を希望し且御願ひする。

地方法院異動

先般の發令によつて大連地方法院刑事部々長島判官は旅順高等法院へ轉ずることゝなつたが、これに伴ひ法院近來の稀な大異動を見た卽ち刑事部々長の後任には川畑豫審判官、豫審判官後任には小田民事部判官が轉務することとなり、缺員補充のため東京地方裁判所より平井孝雄氏が來任することゝなつた、平井氏は三十日入港あめりか丸で來連の豫定である、尚平井氏は高井檢察官と同期生であると

商標法講演

大連商工會議所では二十八日午後三時半より同所樓上にて滿洲國商標法に關する講演會を開催、櫻內五品理事長、長谷川三越支店長ほか多數商工業者の集會あり、定刻石田相談部長の開會の挨拶に次いで同所書記中村英氏は「滿洲國商標法に就て」の題下に商標法の一般的解說より登錄手續、商標法と關東州との關係、會議所の改正要望意見等につき詳細說明、高田會頭よりも補足的說明あり、來會者の質疑に對し懇切な說明を行ひ同五時半盛會裡に閉會した

羽田鐵道部長

上京中の滿鐵羽田鐵道部長は廿九日大阪發一日入港のはるびん丸で歸連の筈

人事

▲沼田多稼藏氏(關東軍參謀)廿八日午後三時半發列車にて北行▲張燕卿氏(滿洲國實業部總長)同日午後四時二十分發列車にて北行▲白錫澤氏(奉天電政管理局副長)二十八日午後七時三十分着列車で來連ヤマトホテル投宿

大觀小觀

滿鐵改造問題も、沼田參謀が投げた一彈によつて、各方面から一應の意見が出た▲何れは改造を要し、しかも重大問題であるから、各方面の意向をお互に一應承知するも必要、世間が知つてゐるも必要▲それから各方面の人達が更に深く考慮することになる▲關東軍參謀副長黑龍江省縣參事官會議から歸つて各參事官の眞劍な努力振りに感激す▲直接に民衆政治に接觸する參事官の動き如何は滿洲國政道の實際的價値を決定するものである▲眞劍な縣參事官の多くを見るは意を強くするに足る▲御統監を終らせられた、聖上陛下には、二十八日南朝の忠臣新田公を祀つた藤島神社に行幸あらせられた▲本年は義貞公義兵を擧げてより正に六百年、十一月三日から三日間六百年祭がある▲神社はもと福井市外牧の島村燈明寺畷にあつたのを、市內に移されたもの▲公は泥田の中で優勢の賊軍に遭遇し自ら刎れて首を抱いて戰死したと太平記にある▲德川時代になつてその兜が泥田中から農夫によりて發見され、此處に戰死の所として記念碑がある▲遺骸は足利高經が坂井郡長崎村の稱念寺といふ寺に葬り、此處に墓があり遺物もあつて、今は立派な石碑が立つてゐる▲傳說には首のない義貞公が馬に乘つて此處まで二里半駈けて來たのださうである▲日野川に架したあさうづ橋といふのは勾當內侍が思慕に堪へずして京より越前に赴いたが、丁度公の臣下が遺物を持つて內侍の所に行くのに出逢つたといふ所▲その時觀の六つ時であつたので觀六つ橋といふのだとの傳說がある

市況(廿八日)

株式

內地市場休會で保合閑散

內地後場休會にて當市も氣乘らず諸株共閑散裡の保合であつた

◇後場 ◇定期(單位十錢)
東新　寄 二六七　引 二〇六七
五品　寄 二六七　引 二七〇

◇延取引
銘柄　寄値　高値　安値　大引
五品　三六九　三六九　三六九　三六九
東新　一〇三一　一〇三四　一〇三一　一〇三一
滿鐵新　六六二　六六二　六六二　六六二

特產

邦商の賣りに大豆低落

後場の定期は大豆は買氣薄く邦商の賣りに低落を辿り豆粕、豆油も相伴つて軟調を呈し高梁は邦商及奧地筋賣りに軟調を辿つた

◇定期後場(銀建)
▲大豆(低落)單位厘　▲豆粕(軟調)單位厘　▲豆油(軟調)單位錢　▲高粱(軟調)單位厘

◇現物後場(銀建)
▲包米(出來不申)　混保大豆(裸物)　普通大豆(袋込)　豆粕　豆油　高粱

錢鈔

材料薄乍ら鈔票強含み

爲替半休にて情報なく材料薄なるも當市は強含み商狀を呈した

◇定期後場(單位錢)　◇現物後場

商品

綿糸軟り麻袋保合

綿糸・大阪三品後場二圓方揃み高を入れ當市もマバラ筋の御手合せをみた

市場電報

神戸特產　大豆現物　五九〇

奧地市況

▲奉票對金票　現物 五、七五〇
▲奉天國幣對金票　現物 一〇四二五　一〇四三〇
▲開原國幣對金票　現物 一〇四二〇　一〇四二〇
▲哈爾濱國幣對金票　現物 一〇四三〇　一〇四五〇
▲新京國幣對金票　現物 一〇四三〇　一〇四三〇
▲安東鈔平銀　當限 一四六二　先限 一四六四
▲哈爾濱大豆　十一月 六一七五　六一七五
▲同小麥　十二月 六〇五〇　六〇五〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	二五〇〇	二五〇四
十一月	二四二八	二四三三
十二月	二四三二	二四三〇

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十月	二四二六	二四〇五
十一月	二四一七	二四〇三
十二月	二四二三	二四一二

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	二四四九	二四四八
十一月	二四一九	二四一七
十二月	二四二六	不申

大阪綿糸

家庭

メーキアップの焦點

イットは時代と共に推移します、恰度婦人服のポイントが轉々してとゞまらないやうに――そして今日の

銀 座ガールは、マダムは（モチ東京の銀座です）彼女のイットを何處に強調しやうとするのか？つい二、三日前東京からかへつたすゞらん美容院主内田秀子さんに最近のメーキアップの焦點についてうかゞひませう。「ながい間目が魅力の中心となつてゐたのですけれど最近全く唇にお株をうばはれた形です、「目は

口 ほどに……」といつたのは既に一昔、二昔、およそ今日のパリジヤンやギンザマンなら「情熱に濡れた彼女の唇」に物いふ瞳以上のイットを見るでせう。こゝに女がお人形であつた遠い／＼昔そのまゝのあの櫻の花片のやうな小さなオチヨボ口は全く何等の魅力もないものになつて數百年來の傳統的な

唇 のメーキアップに斷然新しい手法が生れたわけです。」

情熱に濡れた彼女の唇へ

おちよぼ口は廢れ "新しい唇"出現

銀座人の求める近代的魅力

斷然・ルージユ禮讃

寫眞をごらん下さい。（上）は從來のオチヨボ口です唇の兩端を極端に細く眞中を急角度に太くしてオチヨボ（上唇の中央のトガリ）を誇張したメーキアップでつゝましいとへばつゝましいが、何等の個性も溌剌さをも見出すことが出來ません。（下）はこのごろ銀座あたりでちよい／＼見かける唇――下唇は蛤形に兩端までなだらかに描き、上唇はほとんどオチヨボを作らず、わづかのカーブで直線に近く作るのです。唇が焦點になれば勢ひ唇のメーキアップが入念になつてかくし化粧程度の中年のマダムでもルージユだけはクッキリと紅く、若し濃化粧や夜のダンスやパーティの場合はルージユを塗る前にコールドクリームを充分擦り込んで、その上から思ひ切り濃く描きますと新鮮な苺のやうに艶々しい魅力的な唇になります。

卓上日誌

▲大連語學校　十一月六日から第四回滿洲語短期講習會を開催

▲唐津會　廿九日午後六時から大連市浪速町はてい[illegible]で開く

▲活花、お茶の會　大連醫院看護婦宿舍で十一月三日活花、お茶の會を催す、一般の觀覽を歡迎すると

人體の健康は「快い眠りから」

右を下にして寢め

人體の健康は快よい運動と眠りを一とする事によつて一層增進させる事が出來ます、一日の疲れは一時の快よい眠りによつて醫されるのでありまして眠る時に眠られぬなやみ程大きいものはないでせう。

快眠 をとりますには空腹でも滿腹でも適しません、少なくも食後二、三時間たつた時がよろしいのです、寢室の空氣の流通に注意する事は四季を通じて必要であります、高い枕がよい、低い枕がよいと色々にいはれますが高過ぎる枕は生理上血行の自由性を奪ひ易くよくありません、枕は首を曲げず眞直な姿勢をとり得る程度が宜しいのです、寢方としましては上を向いて足をのばして手を眞直下に降して少し大の字形に寢るのが脊髓や首の骨を眞直にする上に

有效 でありますが上向きにねつかれぬ人は出來るだけ右を下にした位置をとりたいものですそれは左を下にしますと心臟に重壓を與へ勝ちだからです、床の上では身體を自由に解放的にし十分ゆるやかな寢衣をまとひ細や帶で胴を強くしめつけないパヂヤマ等よろしいでせうし工風されゝば氣持よいものが得られると思ひますかうして全身の

血行 を完全にするためには何よりも體のこの解放にあるので醫つて快よい眠りをとる事が出來ます。

支那料理献立（一）

玉雞（ギヨクケイ）

酒の肴にもなるどちらかといへばさつぱりしたお料理です、材料は松茸と雞のさゝみ、玉子一個、青のり

松茸は鹽水で洗ひバラリと鹽をふりかけて炭火で燒きます、そして指先で細くちぎつておきます、雞は一口に食べられる大きさにそぎ笊に入れ熱湯をかけて霜ふりとして引上げ、さましておきます、卵は固ゆでにして黃味は裏ごしにかけ白味は小さい賽の目にしておきます、青のりは火にあぶり粉々にもんでおきます、以上の材料をきれいに丼にもり合せ上から次の辛子酢をかけて出します、辛子小匙一杯、酢大匙二杯、砂糖小匙一杯醬油大匙一杯半全部をまぜ合せる

家庭顧問

一つの貸金に二つの證書

【問】私は大正十四年に渡滿した者ですが其前内地である人から信用貸で借金をしました。ところが四年前その債權者は私の長男（本年二十五歲）の名義で更にその借金の借用證書を息子に作らせたさうです。その長男は本年大學を卒へ就職してゐますが私は自分で借りた金ですから責任を負はねばならぬと思つてゐます。現在私の入れた證書も先方の手許にある筈ですが一つの貸金に對し債權者では二本の證書を持つてゐる筈ですから長男の入れた證書を取消させたいと思ひます。適當な方法を御教示願ひます（不明生）

證書取消しには期限があります

【答】貴方の長男が未成年時代に借用證書を作つたとすれば取消すことが出來ますが成年後に作つた證文だとすれば取消すわけにはまゐりません、但し未成年時代に作つた證文であつても成年後五年以内に取消さないと

家庭重寶帖

卵の保存法

適當な木の箱を作り、それに少しの隙間も無いやうに嚴重に目張りを致しますそしてよく乾いた川砂を底に厚く敷き、その中へ卵の尖つた方を下にして立て、埋めまた砂を入れて卵を埋めるといふ風に卵と卵と絕對にふれ合はぬやうにし、すぐに蓋をぴんとして目張りをし、風通しのよい處に置きますと二ケ月位までは決して變質する事なしに保存する事が出來ます。

商店界ニユース

△大連和服裁縫組合では仕立代二割方値上げしました

支那の有閑マダムとモガ

在北平・風間阜生

錢湯に飛込んで 敢然!!"羞恥打破"

陳學昭女史の"多情佛心"

（一）大連の有閑マダム問題が各方面に異常なセンセーションを起してゐる折から筆者は柄にもない山氣を出して支那の有閑マダムとモダンガールの一端を紹介して見る

國民革命軍の發生は當時一切の人生觀に動搖を來した。こゝに極端に壓迫されたゐた女性は男女同權てふ性の解放によつて躍進した。一時武漢方面では「羞恥打破」からの裸體行列運動さへ企てられたが、さすがの當時の國民黨左派政府もこれだけはと政府の方から頭を下げて中止してもらつた。しかし武漢方面だと記憶するが、勇敢な一女性はそれまで男のみの占有であつた風呂屋へ飛込み、三助も男客もあられもない姙婦前の肉體露出に仰天したといふ話も起つた

數千年來、男の玩弄物として遇いおきての下に束縛された女性である、その反動として一旦、束縛が解除さるゝや手綱を切つた奔馬のやうなものであつて、戀愛の自由は高調され、自由結婚は普通事として扱はれ、日々の新聞は性的冒險を報ずる。上海とか、廣州、北平等では有閑マダムの性的冒險も時に報ぜられる――この點では性の冒險で一躍世界的になつた一部有閑マダムも意を強ふして可なりではあるが、由來日本婦人の操守は寒梅のそれの如く稱されてゐるのに鑑み婦道の失墜は嘆くべきことではある。

◇

有閑マダム乃至モガの多角關係――「多角關係」の文字は日本の創造であるが、近頃この文字は支那新文藝界の人々に使用されてゐるその女流作家等は自ら多角關係のヒロインを氣取つて得々たるものがある「倦步」「寸草芳心」の作者陳學昭女史もこの一人である。彼女は數年以前、海門の某女學校教師となつてゐた、その時同地にゐた作家李士任と意氣投合してゐたが、陳女史は間もなくフランスに美術修業に出かけ、パリーで留學中の美術家孫春苔と邂逅し孫とも特別の交はりを結びながら一方何稷といふ一留學生と通じ孫、陳に失戀の痛苦を與へたが結局何稷とフランスで正式に結婚して多角關係を淸算した（寫眞は支那のモガ）

ラヂオ

大連 JQAK

十月二十九日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時三十分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード
▲午前十一時五十分（新京より）講演「特別移民の現狀に就て」拓務省出張所小川正儀
▲午後零時十分　ニユース
▲午後三時三十分　ニユース
▲午後六時　ニユース
▲午後六時三十分（東京より）ピアノと管絃樂、ピアノ協奏曲、第三番、ハ短調ベートーヴエン作曲、第一樂章アレグロ・コン・ブリオ、第二樂章、ラルゴー、第三樂章、ロンド、ピアノ獨奏宮內鎭代子、日本放送交響樂團指揮クラウス・プリングスハイム
▲午後七時十分（東京より）浪花節「北海奇聞若松小僧」浪花亭愛造
▲午後七時四十分（東京より）ラヂオ・ドラマ「我が家の平和」シヨルジユ・クウルトリイヌ作岸田國士譯（配役）トリエル（夫）伊志井寬、ヴアランチイヌ（妻）

東京 JQAK

十月二十九日

▲午後五時二十五分　講演「今日の土耳其」（土耳其國代表大使ネビル・ベイ・通譯ラーイフ・ベイ「新興土耳其の躍進」大久保幸次）以下大連放送局に同じ

▲午後八時三十一分　ニユース
▲氣象通報
滿蓮子

本社特選 新棋戰（其九）

平手　先六段△飯塚勘一郎　六段▲山北孫三郎

【圖は五四銀迄の局面】
△飯塚氏持駒銀桂歩四つ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
			飛	王		桂	香		一
			金		金				二
			歩	歩	歩		歩		三
	馬		歩	歩		銀	歩	歩	四
			香	桂	歩				五
				飛					六
	歩			歩					七
歩		歩	歩	金			歩		八
香	桂	玉	金					香	九

山北氏持駒▼

△三三桂打　▲同　桂
△同　歩成　▲同　銀
△同　桂成　▲同　金
△七三銀　▲六一金
△六二銀打　▲三四桂
△五一銀成　▲同　金
△四四飛　▲同　歩
△八一飛　▲四二銀
累計百二十六手

土居八段講評 山北君、敵に三三桂と打込まれ愈々術策盡きた感あり、此の時、飯塚君は挾擊の意味に七三銀と打ち込み、馬の利用を圖つたのは巧妙。

萩原七段解說 飯塚氏の三三桂は敵陣を薄くする意味で、山北氏同桂も三一玉では、二一桂成、同玉、三三銀と打たれて惡いので止むを得ない、山北氏の六一金は、七三同金では六二銀と打たれて惡く、又五三金では六二銀で矢張り惡いので六一金と引いたのである、飯塚氏の六二銀は七三銀の活用を圖る意味で、次の四四飛は一旦先に八一飛と打つて、然る後に五六飛と逃げて指す方が安全であるが、飛車を持たしても十分と見て四四飛と切つて極力攻勢に出たのである。

日本棋院秋季大手合戰譜 第二回

先相先先番　三段　中村勇太郎
四段　中川新

—【4】—

●九一リの十三　○九二ニの十
●九三ロの十五　○九四ロの十六
●九五レの十六　○九六ホの十四
●九七ホの十五　○九八ホの十三
●九九ホの十六　○一〇〇ニ十五
●一〇一ル八　○一〇二チ二
●一〇三ト二　○一〇四チ四
●一〇五リ四　○一〇六リ三
●一〇七ト三　○一〇八ホ六
●一〇九ホ五　○一一〇ヘ六
●一一一カ八　○一一二チ七
●一一三チ八　○一一四ワ七
●一一五ワ八　○一一六カ七
●一一七ハ十一　○一一八ニ十一
●一一九ロ十　○一二〇ロ十二
●一二一ル四　○一二二ヌ四
●一二三ヌ五　○一二四チ五
●一二五ワ十五　○一二六ヨ十五
●一二七ワ十八　○一二八ワ十六
●一二九カ十六　○一三〇ワ十四

所要時間累計（白五時五十八分 黒五時〇二分）（制限時間各八時間）

對局者のことば

黑　九十一を（ヌ十三）にアテるところでは白（ル十四）とツイで呉れず（チ十四）とアテ返して（ト十四）からの切斷を生じます、また黑（ヌ十三）白（ト十四）と直接キラれる筋もあるので要するに黑としてはもつと早く、八十一の手あたりで（ヌ十三）にアテ白（ル十四）と交換しておかねばなりませんでした

黑　白九十六とハネコマれる手段に想到しなかつたのは慚愧の至りです、白百まで、八十一以下の三子の徒死は大きすぎる、九十五の手で（ヘ十三）にノゾキ白（ヘ十二）との交換を先にしておけばこゝに問題はなかつたものを――

黑　百一など、白（ヌ七）からの切斷の可能性がある限りやゝ冒險ですがこの時代から踏張つてみなければ拱手敗をまつものでせう、但し白（ヌ七）よりの切斷に關しては黑（ヌ十三）と白（ル十四）との交換の打つてない點、卽ち八十一以降の怠慢はその罪小さくありません

白　百二以下、百八、百十と關聯する手段とは言へ、あまりにも俗筋でした、黑百二十一の方をツケコシを生じたり、その方をウスくさへしてゐます、せめて百四では單に（リ二）とヒク位のものだつたでせう

黑　百十一もこゝまで踏みこまないことには成算がもてなかつたのです

白　百二十四を喰つて（ル六）にツナグと黑（ヲ三）とコスマれる手がある

白　百二十六は百二十八にハネコミ黑百二十九白（カ十五）黑（チ十六）白百三十黑百二十六白（カ十四）とツイで八十以下の三子は捨て、中央の黑を、白（ト五）に依り極力攻立てる機會だつたと考へます、成否は自ら別です

（小野田雄）

戰の跡

◇黑九十一と單にヒイたのでは白（リ十二）とトビツケる餘地があるから黑百一を打つに際し白（ヌ七）よりの切斷などを懸念しなければならないといふことになる

◇白九十六の筋をうつかりするといふやうな誤りが專門家にも絕無とは言へないのである、白百までとなつては大勢はむしろ黑に不利であらう

◇白百二、百四は如何にも俗筋であつた今かりに百四にて百六にツツバリ黑百七とツイだとして次に白百四と黑百五との不合理にして不利なる交換を敢てしたにひとしい點から考へても明白である

◇白百二十四にて（ル六）にツグことのできない不利については後に指摘する

◇黑百二十五もきびしい態度であつた、白が百二、百四のやうな不合理を犯して後にも黑は百一百十一またこの百二十五等、斷う頑張らなければならなかつた所に見ても白九十六を看過した黑九十五の罪が如何に大きいかを思はなければならない、換言せば黑はさういふ危險を冒さなければならない程にまで白九十六の手筋によつて打擊を被つたのである

◇白百二十六についての對局者のことばは百二十四を餘儀なくされた不利と共に明日批判する

滿日各地版

滿鐵土地貸付料 一齊に引上げ
十月から全般に亘り一級づゝ 鞍山の躍進を裏書

【鞍山】當地の滿鐵土地貸付料も他地同樣本月から一齊に引き上げられた、卽ち從來三厘の土地は四厘に四厘の所は五厘さ大體において一級づゝ引上げ從つて最低料金も鐵西工業地帶の三厘を除き他は四厘となり、最高の赤城町北三條通の繁華通りは六級一錢に改正されたのであるが、北三條連鎖商店街を中心に一級を減じ住宅地は概ね最低料金たる四厘である、なほ當地は昭和製鋼所景氣に打ちあて右の如く一律に土地料が上つたが地方事務所當局の話では鞍山は今まで不振時代で他地方は上つてもこゝだけは据置くさいふ工合であつたので舊料金は同格の他都市より安かつたし今回漸く他都市のレベルに達した程度であるさ

捨鉢的な匪賊 沿岸都市を窺ふ
安東附近の氷結狀況

【安東】日滿軍警の威壓さ迫追する飢寒の二大脅威に挾まれて三角地帶の大小匪團は生きる惱みにもがいてゐるが近來捨鉢的になつたものか鴨綠江下流の沿岸都市を襲はんさする傾向があり旣に九月以來數回安東近郊を窺ひその都度コツ酷い目に逢つて擊退されてゐるが匪團は今なほ安東及び三道浪頭を襲擊して死中活を求むる最後的戰法を計畫してゐる模樣で最近安東に近い各匪團の集結狀況は次の如くである

海蛟匪團約二百五十は甫板石、大孤頂子に集結敖錫山匪百二十は夏深附近にあり重機關銃二、輕機關銃八挺を所持してゐる、閻匪首の率ゐる七八十名は渾水泡西北約二邦里の煙土坑方面に

鳳城縣下の匪團

【安東】鳳城縣第六區東大溝、西大溝、何家崗一帶に匪首老來好、紅、闖家稀等の合流匪約五百在中で輕機關銃四挺迫擊砲一有して相當優勢なるものゝやうである、また岫巖縣大洋河西方に匪首任團長の率ゆる一千名が蟠居し鳳城縣滿洲國軍一ケ營が討伐に向つた

青龍好を討伐

【四平街】二十六日發……三江口驛を距る北方三馬架子さ呼ぶ村落に馬賊頭目青龍好が部下百五十名を從へ襲來掠奪を恣にする急報至りたるより當地區警備隊小林曹長は部下三十五名を率ゐ同夜半三時裝甲車にて現場に出動せるが賊は多勢を恃みて頑強に抵抗を續けたるもわが精銳に及ぶべくもなく遂に遠く遼源縣指して潰走した此の戰ひにおいてわが討伐隊に些の損害なきに反し賊は死屍二、捕虜五を遺棄して逃走した

春日校廿五周年記念式

【奉天】春日尋常高等小學校二十五周年記念式は廿七日午前十時から同校講堂にて舉行されたが前田校長の式辭につぎ粟野地方事務所長の告辭來賓者、保護者代表の祝辭、卒業生、在校生總代の祝辭があり續いて十年以上の在勤職員の表彰式が行はれたが二十八日は午後一時から音樂會が盛大に開催された、尚表彰された職員は氏家、垣本、竹下、松下、濱田、齋藤、廣澤、成田の八氏である(寫眞は記念式)

歸順處理辦法を作成
吉林省治安維持會

【吉林】吉林省治安維持會では我が日滿兩軍の大討匪工作に準據して投降歸順の匪賊に對する暫行處理辦法を作成したが大略其の內容は過去の非を悔み投降歸順せんさするものは村長又は近隣の者二名以上連署の保證を提出し地方官署は直に戶口簿に登錄して投誠確實なるものには安業證書を交附し新生活の指導激勵に努むる樣萬一反旗を飜へして土匪に還らんさする者は最大重罰に處し前非を加重して處罰するものである、依つて地方官署は直に之が布告して其の徹底を期し銃器取締其の他之に類するもの取扱ひは一切官署に保管の上每月投誠者處理の數、原籍、年齡、姓名、職業編入部の詳細表を作製して省公署に提出すべし等のもので之に同じうして第二教導隊でも民衆の土匪清除勸告及び投降勸告單文を作製して一日も早く匪賊の根絕を計り住民の安居樂業に貢献以て滿洲國王道樂土の現出を計る事さなつた

益森部隊凱旋

【安東】三角地帶殘匪掃蕩のため出動中であつた安東守備隊益森大尉以下〇〇名は廿七日午後三時十分着列車で一先づ凱旋したが驛頭には岡本領事、金谷憲兵分隊長、鎌田安東縣參事官等官民多數、高等女學校普通學校生徒等賑かに出迎へ岡本領事の感謝さ慰勞の挨拶を受けた後元氣よく六道溝兵舍に歸つた

列車に投石
乘客大騷ぎ

【四平街】二十六日午前九時三十分上り第三十四列車が桓勾子驛を距る北方二粁附近進行中突如拳大の石塊を列車目がけて投じたる者あり石塊は連結列車四輛目三等客車西側の窓硝子二枚を破壞した、突然の出來事に乘客は匪賊の來襲さ心得大騷ぎを演じたが列車が桓勾子驛到着さ同時に車掌は同地派出所に斯くさ急訴したので同所員は時を移さず現狀に急行附近村落一帶隈なく搜査したが遂に犯人を發見するに至らず、時節柄重大視して目下引續き犯人嚴探中であるさ

山海關電燈 公司創立

【營口】營口水電株式會社長今井榮量氏は今春より山海關に電燈會社設立に付き爾三回往復して創立に力を致せしが愈々機熟し山海關有力者張濟灝氏外多數氏さ結合し日滿合辦の山海關電燈股份有限公司さ稱して資本金十萬元にて會社の創立を其筋へ願出たる所認可を得たるを以て二十日午後二時山海關東洋分館において創立會を開き役員の決定を見たなほ營業は明年解氷さ同時に工事に着手し五月中旬頃より營業開始の豫定でその重役は總理張濟灝、經理離波宗治、取締役長野董、同久保小一、同片寄閑、監察人松本員男、同南家成治、同周炳文等で斯くして水電は着々さ發展して行く

惱みの交換手
自働電話の完成近く 吉林にも失職の心配

【吉林】過般着手された吉林電話局の建築物及び地下線自働電話の諸工事は當局の積極局活動により益々進捗を見て十一月末頃には完成の見込みが立つたが此の曉における交換手の問題は憂慮重なるもので現在の交換諸君は何れも早晩馘首の大斧が揮はれる事は火を睹るより瞭かで四十餘名の現交換手は如何にして行くか日に加へて馘首が接近して來るので仕事も手が付かず殊に長距離電話の方も若い交換孃を採用して朗かな黃色い聲で氣持のいゝサーヴイスをするさいふから如何に善意に解釋しても浮ぶ瀨のない惱ましさが增して來るばかりである

新市場を目指して 北鮮の魚類殺到す
先づ鹽魚三千箱

【淸津】北鮮の鮮魚も國際列車で華々しく滿洲國へ進出したがその品質は素晴らしく評判よくもうないかさの聲を聞くが新京市場の値段が思はしくなく仲買一同は一寸考へさせられてゐるが宣傳のためには有効であつた南滿洲物が根を張つた土地への割込だから當方は少々の犧牲を忍んでも積極的に進み他產品を驅逐するだけの決心を持つて進まればなるまいさ云はれて居る、この時輸出鹽魚組合が府內明治町に設立され組合長に河本氏自から出馬し此のシーズンに鹽製に多忙をきはめて居る、製品は極めて良好で五千箱を目標に製作中であるが來月初め大連汽船の遼河丸で直接大連に送る筈で三菱が一手販賣を引受けた最初のものさして三千箱を送る事さして居る、大連揚げのものは旅順、營口、撫順、奉天方面の市場へ進出するものさ見られて居る、間島、敦化、吉林、新京方面は今回開通の京圖線に依り販路を開拓するつもりで目下その方面に交渉中であるから決定も近い事であらう、無盡藏の

鷄と豚との 優良種畜を輸入
二十九日大連に到着

【旅順】金州農事試驗場技手浦江氏は種畜購入の爲め上京中の處今回農林省青森種鷄場より黑色オーピントン三羽番、青森縣種鷄場から白色レグホーン種六羽番、東京尾崎家畜場からロードアイランドレツト種三羽番、愛知縣滿洲種鷄場より名古屋種六羽番、又東京立川養豚場からは種豚牡二頭、牝三頭を購入、二十九日大連入港のアメリカ丸にて歸滿することゝなつたが右はいづれも優秀なるものである之れに關し關東廳岩崎技師は語る

從來は主さして暖國鷄を使つてゐたが今回は農林省直輸入の寒國鷄さして加奈陀產及滿洲產を購入する爲め特に青森迄派遣されたのであつて縣さ其他の方面から特に分讓して貰つたものであるから將來大に期待すべきものがあるさ信じてゐる

北票線に油動車
來月中旬頃から實施 時間も約一時間短縮

【錦州】奉山鐵路局では錦州北票間、卽ち北票支線の乘客が最近著しく激增し各發着列車さも超滿員の狀態にあるため之れを緩和すると共に旅客の便を圖る爲め來月中旬ごろから現在の發着列車以外に百人乘ぐらゐの輕油動車を運轉すべく計畫中である、右は每日午前七時錦州を發し同九時四十分北票に到着、正午北票を發し二時四十分錦州に到着する筈畢竟一日一往復で普通列車ならば錦州北票間三時間五十分かゝる處を二時間四十分で突破し時間の上に於ても大いに短縮しようさ云ふのである

商品を窃取

【奉天】二十七日午前十時半頃市內藤浪町五番地先を徘徊中の舉動

口論の果に滿人を刺す

大字若林、須野正夫(二一)が硝子はめ込み作業中足場のことから山東省生れ于永鬪(三七)さ口論を始めた……結果于永鬪は左腋下に風穴をあけられその場に昏倒したので直ちに滿鐵病院に擔ぎ込んだが午後八時絕命した、急報に接し須野は直に京署に引致せられ目下司法係りで嚴重取調べを受けてゐる

實直で質素 廿五年來の校風
二十五周年記念を迎へて 奉天春日校懷舊錄(下)

【奉天】實直で眞面目で質素そのまゝの校風を開校當初の河村校長から引ついだ春日小學校では時勢の進步さ共にその間幾多の改善補足を加へて來たがその精神には毫末の變化はなく職員から幼い兒童に至るまで極めて地味で外觀は平凡である、學科も內地さ地理的に歷史的に周圍の境遇から異つてゐるため內地小學校そのまゝの教育だけでは卒業後頗る不自由で充分な働きが出來ないので之を補充するために正科さして滿洲語を授けてゐる外地理、歷史、讀本に關聯する滿洲補充讀本を教材さし又理科、家事は滿洲で編纂の教科書を使用してゐる滿鐵學校教育の特色はそこにあり沿線三十二校さも優劣なく一樣に進展してゐる、そして又滿鐵では「健康第一」に兒童の體育に重きを置き常に各種運動を行はしめてゐる、之がため文部省の規定による一週一時間の體操の時間は滿鐵では一週五時間乃至六時間である、春日小學校の卒業まで最も古い瀋陽館主人田賀久次郞氏を訪へば二十幾年の昔を追憶しながら語る

……◇……

私が春日小學校高等二年に入學したのは明治四十三年で先生は八人、高等二年生は僅か七人、兒童總數は三百人でありました校長は河村彥吉氏でこの指導を受け島田、三島、青木、安在、野本、滿川の諸先生が教鞭をさつてゐました、殊に三島先生は美術學校、安在先生は音樂學校など、高等專門の學校卒業生で小學校には珍らしい專門的教育をなされてゐたゞけにこの授業をうける方でも追ついて行かれぬ程進んでゐました、最初の假校舍は今の春日公園の一隅にあつて一時消防隊のポンプが置いてあつた處です、その後滿鐵で最初の校舍を設立し之に移り間もなく兒童の增加さ共に今日の大きな小學校さなつた事を考へるさ全く夢のやうです

……◇……

明治四十四年には騎兵銃の新品を貰ひ受け高等科生は之をさつて軍事教練もするし英語も習ふし當時には珍らしい新しい教育を受けてゐました、春日校が奉天に設立されてから暫く附近に小學校がなかつたものですから沿線北は新臺子、南は沙河、安奉線は本溪湖より通學してその他通學出來ないものは全部寄宿舍に入るさ云つた狀態で尋常一年生から寄宿舍生活をしてゐました、そこで沿線から通學又は寄宿するもの多く奉天で通學してゐるものさ半數の割合でありました、服裝は洋服が多く和服のものもありましたが和服のものは必ず袴をつけるとにされてゐました、ぼう／＼たる曠野に立つてゐる當時の春日校へ十間房又は城內から通つてゐるものが大部分を占め私も城內から通學し天氣の惡い時には以前の馬車鐵道で通つてゐました、そして零下廿度乃至三十度の寒でも小學校に行くものがあるか……

十八娘自殺
嫁入りを嫌ひ

【新京電話】嫁入りを嫌つて十八娘の自殺——新京富士町二丁目……

鮮人の自殺

【新京電話】二十六日午後六時新京滿人旅館福壽館三十二號室に宿泊中の金靜波(二)が毒藥自殺を……

鳳凰城の業態調査準備

大滿採金公司

各地片々

旅順放送

熱河關門の移轉で寂れる錦州の旅館

結氷期を控へて落莫の感深く

當業者對策に乘出す

【錦州】關東軍兵站監部錦州支部が新京へ引揚げ熱河入省の手續が朝陽出張所に移つて以來錦州の各旅館は何れも大打撃を受け俄に減少した宿泊客の數に今更ながら悲鳴を擧げ結氷期を目睫に控へて落莫の感を一層深刻にした、曾て兵站監部錦州支部ありし頃は熱河入省希望者の必ず滯らねばならぬ關門となつてゐた關係上入省手續その他で一兩日は如何にしても錦州に滯在しなければならなかつた、ソレが必然的に旅館への潤ひとなり營業者達は勞せずして儲け鼻息頗る荒かつたが一度入省手續が朝陽出張所に移管されて以來はその繁昌を根こそぎ朝陽の旅館營業者に浚はれ一面嚴冬に向つて旅行者の激減した事も影響し毎夜一人の宿泊者もない旅館もあり觀面な寂れ方に何れも狼狽し出し善後策を講究中である

鮮人密輸業者農業移民へ

國境案のなやみ

【安東】國境の闇に蠢く鮮人密輸團はその數三千といはれ安東側の取締嚴化に併行し密輸團も著るしく尖鋭化し兩者の爭鬪によつて失はれた人名は今夏來數十名の多きに達し社會問題として重大視されるに至つたので屢報の如く清水安東署長は部下を督勵して附屬地江面密輸の防禦線を嚴重警戒し密輸ギヤングを恐怖せしめてゐるが一方岡本安東領事を中心として安東密輸鮮人一掃の根本策が研究されてゐるそのうちの最も重要な解決法はこれ等不正業者に生きる途を與へて正業化せしむるため農業移民とする計畫であるがその適地は安奉沿線と三角地帶の沿岸各地に求める方針であるこれについて岡本領事は語る

最近安東署と安東税關はよく協調して密輸防止に努力してゐて効果を擧げてゐるやうだ、たゞ彈壓してゐるばかりでなく彼等を救濟してやることも考へればならず寧ろその方が根本的解決策なのであるから彼等を就農させるやうに計畫してゐる、彼等を收容する農耕地としては安奉沿線にある舊軍閥の逆産土地や三角地帶の大東溝、大孤山地方にある東亞勸業公司が投資してゐる土地などが適當であると考へてゐる、また上流帽兒山の近くに水田ではないが畑地に適する廣大な可耕地もあり幾らでも收容出來ると思ふ、いよく密輸業者を農業移民として送る時には强制的にやらねばならぬかも知れない

明治節遙拜式

【旅順】旅順市に於ては來る十一月三日明治節當日午前十一時から昭和園前大廣場に於て遙拜式を行ひ終つて祝賀宴を催す會費は五十錢である

商埠地問題

漸く曙光へ

【吉林】去る五月二十日市政籌備處より民政廳を經て廳長會議に附されて以來五ケ月間の長期間を要した商埠地問題は二十四日午前十時より公署會議室で開催された採務會議により漸く一段落を告げたが約半年に亘る空地の調査道路の計畫買收出租の價格その他一般の必要事項はこれを取纏め中央民政部に指令を仰いで回答の到着を待つて日滿の申込者に對する細部決定を行ひ明春解氷までには全部の貸下げを完了する迄に進展討議を經た商埠地問題も斯くして半年を經た商埠地問題も斯くして光明の一點を見出した譯である、右により國道との連絡及びこれに通ずる幹線枝線の諸計畫も着々として進行し都市計畫の大要を形取つて大吉林市の現出第一歩のプランも遂に樹立され之に準じて省立公園又は邦人民會の運動場、神社敷地等も滿洲側の理解ある處置に依つて意外に早く落着し明春解氷を期して一齊に着手する道路及び商埠地の諸工事、北山公園等の設立工事は現在の吉林を如何なる程度迄躍進さすか又吉林の生活に如何なる大變革を來すか山紫水明の境吉林にふさはしい一大都市の實景が見られるもので大いに期待をかけられて居る

秋に咲く

旅順後樂園にて

瓦房店婦人會の軍隊慰問

【瓦房店】瓦房店婦人會では十日軍の運轉技術の實習指導ゝある○○○隊は十日業式終了後午後一時三十五列車にて○○に出發つたので瓦房店聯合婦人別れの慰問せめて御馳倶樂部日本間に招待しり○○隊高橋軍曹以下一一に酌いんさ二十七日温かいぜんざい、汁粉應、越智婦人會長の挨拶曹の謝辭、餘興として羅列の映畫を映寫心ゆく後五時解散した

錦州居留民會葫蘆島視察

【錦州】錦州居留民會で

日本人を娶つて大喜びの洋車夫

白痴の美人奉天署へ

【奉天】「わたい何さか……」と保安係に願出た白痴の福島縣安達郡生れ高野某日本人の同情により同親兄弟なく原籍は勿論も出來ない白痴であるが單獨朝鮮經由で來滿し各して佳木斯に赴き約一ケ荒れた男を相手に○○再び奉天に舞戻り市内のも碌々知らない有樣で樣なく其處を出て各所さして働いて居たが御うち鐵西撫軍屯居住洋車（こ）この同情により郭方「日本人の妻を貰つた」喜び郭はふでた大事にさ融和の實をあげ郭が働きる時は隣家にふでを預け

女に使つて遂に自殺

南部安奉線射撃大會

盛況を極む

自治日語義塾

石光侍從武官

奉天兩バス附屬地乘入車輛

東北難民を送還

北平の當局對策に腐心

鐵嶺菊花展

清津羅南間直通線問題

北安鎭に新設

齊市署分署

【チチハル】チチハル領事館警察にては管下主要地に分署を新設すべく計畫中のところ、先づ江省原の樞要地たる北安鎭に新設することゝなり、山路分署長以下十名は北滿最前線在留邦人の生命財産保護の重任を帶び、二十三日前七時半發列車で勇躍赴任の途についた

田庄臺の水田開墾進捗

調査員視察

柞蠶糸檢査所問題で

開原に於ける明治節祝賀會

創立記念式

明治節當日に鞍山郷軍分會

小切手盗まる

關東州果實品評會褒賞授與

度量衡會社分擔株振當

昭和製鋼所職工を募集

不用品交換と菊花即賣

遼陽片々

良書普及運動

全國圖書祭近づく

福引付均一特賣の催

東京書籍商組合及び全國書籍商組合聯合會並びに東京出版協會の聯合主催にかゝはる第一回全國圖書祭は來る十一月一日から七日間全國一齊に開催されることになつたがこれが協賛の賣出しが早くも有名出版社の手に於いて賑々しく擧行され、就中誠文堂新光社の如きは、出版界始つて以來の福引付均一提供の壯擧を發表した。

圓本洪水以來久しく沈滯し切つてゐた出版界の景氣を挽回しやうと云ふので、東京を中心として全國

東京堂、丸善書店、研究社、目黒書店、博文館、誠文堂、新光社、平凡社、非凡閣、雄山閣、三省堂、富

擴保流れの見切本を賣る店が扱つて來たやうな品の出品を拒否して來たので、何れも昨日までは立派に定價で販賣せられて來た賣行旺盛な好評書のみであるから、今や書籍の絶好のお買ひ時であると云へやう。この一般の特賣は前記のやうに十一月一日からであるが、誠文堂新光社の福引付の特賣に限り現に全國各書店に於いて、目下開催中であつて豫定の福引き五萬本は早くも賣切れ、次いで又五萬

此圖書祭に

福引大景品

主なる參加店

利益增進は
先づ經濟的なトラックより

シボレー御愛用者御尊名

滿洲國鐵路總局殿
滿洲國郵務局殿
關東軍經理部殿
內務省殿
陸軍省殿
海軍省殿
鐵道省殿
遞信省殿
各府縣廳殿
朝鮮總督府殿
關東廳殿
南滿洲鐵道會社殿
南滿洲電氣會社殿
東京市營バス殿
大阪市營バス殿
全國各百貨店殿

世界一の賣行を示し、斷然他車を壓しつゝあるシボレー・トラックの威力を御覽下さい。一九三三年新シボレー・トラックは强大な五十六馬力の頭上弁式六氣筩エンヂンを具へ、ガソリン、オイルの消費量は少く、革新的改良が施された頑丈な後車軸とフレームは益々シボレーの信頼性を一段と增加し、如何なる重量貨物を積載するとも、如何なる險難惡路を運轉するとも、常に綽々たる餘裕と圓滑なる作動を示して居ります。斯の如く優秀なるシボレー・トラックは幾多の新特徵を有し、强力、作動、經濟の三拍子を揃へて我が運輸界を風靡して居るのであります

日本ゼネラル・モータース株式會社

日本ゼネラル・モータース株式會社特約販賣店

LIAOTUNG MOTOR COMPANY

遼東モーター商會

大連市山縣通三三……電話（長）3377番

滿蒙新天地に活躍せよ

運轉手養成 奥地軍部・滿洲國政府へ派遣確實

入學期日 十一月一日
募集人員 五十名
學則送呈 要二錢郵券

滿蒙唯一 公認

滿洲自動車學校

大連市北大山通十四番地　電話 二三〇四六一 二五一一

鑛業に關する總ての御相談に應じます

八丁鑛業所

大連市兒玉町三　電話六五四四番

アカシヤ

關東洲酒造組合 秋期清酒品評會ニ於テ

壽賞入選

釀造元 旅順市明治町 北川酒造合名會社　電話四四七番

洋服

御先方地も弊店は喜んでサービスいたします

大連市愛宕町二一番地（電21323番）

赤津洋服店

前丁子屋洋服店裁斷師 赤津秀雄

フレーク石鹸

毛糸、毛織物、絹物の洗濯に缺くべからざる必需品なり

マルセル石鹸同質の優良品にして使用至つて輕便效果極めて絶大なり

FLAKE

For All Fine Laundering

MANCHURIA SOAP MFG. Co. LTD.

滿洲石鹸株式會社

各地有名なる洋品店、化粧品店、毛糸店、藥店にあり

性病 梅毒 淋病 軟性下疳 皮膚病

野中醫院

大連吉野町二五・電六四四一

內科專門

大連市駿河町滿銀横

志摩醫院

電話七八六九番

性病 梅毒 淋疾 軟性下疳 皮膚病 泌尿器病 生殖器障碍

井上醫院

大連市浪速町一丁目　電話五二六〇番

門專科眼

王仁医院

大連市西通（常盤橋西廣場中向）

電話二五七六〇番

ナニワホテルの特色

一、室料の低廉なこと
一、位置は第一等御便利な所にあること
一、サービスが行届て一割チップなきこと

室料
二、三圓　三、四圓
バス付……三圓五十錢　四圓、四圓五十錢
バス付……五圓

大連市浪速町

ナニワホテル

電話代表七一一六四番

內科 小兒科 花柳病科（入院應需）

光畑醫院

大連市紀伊町一二三電車通　電話ナレロヨ 七〇六四番

阿片 嗎啡 海路因 癮者

治療開始

御可愛い御兒樣の爲に

山葉ピアノ

パパ樣の御英斷で

御家が明るく……いつも朗かな御喜びの内に情操の御教養にもなり藝術の御素養にもなり御家寶も一つふえ……

定價金五百円より

話の ノアピ 着長社
錄型 ノアピ
呈進代無第次越申御

山葉ピアノ發賣元

山葉洋行

大連市信濃町　電話（代表）四一一/四九
大連市浪速町　電話四三一〇
奉天市浪速通　電話二六九八
新京市大和通　電話二五七一

効能的確の賣藥製造發賣

蒸餾水は每日採餾して居ます

秋より冬にかけての御家庭に感冒には弊局製風の藥 特製風藥 小兒風藥 大人小兒用喉藥の御用意を

沿線其他の御方は通信販賣部へ御利用願ひます 直に御用達します

伊勢町藥局

局主 藥劑師 林房吉

大連市伊勢町二十二番地　電話六八二二四番　振替口座大連三〇一三

多少に拘らず御用命願上ます

藥は信用ある藥局が安全です

客室ベランダ附完備

東鄉旅館

館主 菅爲藏

大連市信濃町　電話八一六七

客室完備場所一等地 凡べてに便利好し

東鄉ホテル 齊々哈爾支店

齊々哈爾新馬路　電話七六七番

陸軍軍需品 酒保用品 卸商

大連市三河町二十九號地

高木滿書堂

高木馬吉

軍需品部

電話四三〇六　振替大連六三

秋の行樂

あすは上天氣

▼……暖かい、暖かいと思つてゐる間に忍び寄る冬の姿は十一月も間近に迫り朝夕底冷えを感じる折柄、昨日來の陰鬱な雲行も廿八日朝來からすつかり澄み渡り絶好の小春日和——とは云へ風向は急に南から北西に變り溫度もぐつと下つて寒さは愈々本格的に向つたらしい、さてけふは晩秋最後の行樂日お天氣具合はどうだらう？

▼……若草山からはと嬉しい便りを前觸れに次の如く放送してゐた

こゝ四、五日來黃河下流に滯留して居た高氣壓が、一昨日あたりから東方に移動し初め漸次朝鮮を經て南日本海方面に去りつゝあり、このために一方內蒙古方面に低氣壓が發生し、この末尾が黃河下流一帶にまで延びて天氣も不安定勝ちとなり、渤海附近より山東南滿北部一帶に亘りどんより曇り驟雨模樣となつたが▽……昨夜來から蒙古方面に高氣壓が發生し豫想された天候もすつかり變り、溫度は多少下つたが天氣は上々吉、風も北から西に變り大したことはないでせうがこれと共に寒さは愈々本格的となるでせうざつとこんな御託宣でしたからどうか皆樣、思ふ存分晩秋の靈氣に浴して紫外線をウンと吸收して、間もなく訪れる嚴冬の冬籠もりに備へて下さい

▼……さて樂しい一日の行樂をどちらへおいでになります？手頃な所で凌水寺……少し遠くて熊岳城、大和尙山……グッと手近だとしますと星ケ浦、老虎灘……堅なる旅順の和やいだ空氣に浸つて戰蹟巡りも惡くはありませんね、それとも秋花の王座菊の展覽會でも御覽になりますか、スポーツも大分ありますれ競馬……拳鬪、ラグビー等々

▼……おつとこんなこと皆樣の方がよく御存じの筈、どうかラツキーデーを思ふ儘享樂して下さい。

お天氣は上々吉

書展

笠原氏　フォビズム畫家笠原吉太郎氏の半歲にわたる滿洲スケッチ展はさきに滿鐵協和會館にて開催し多大の好評を以てアンコールされ十月二十九日、三十日、三十一日の三日間浪速町幾久屋三階ホールにて作品五十點を以て開催する事になつた、同氏は野獸主義的感覺畫家として東都に知られ舊來の凡庸なる表現を捨て內容の第一義たる感動を强烈な色彩に又深刻なる線描に解決を求めてゐる、好んで驅使する靑の色調は動に靜に又はオリエンタリズムの表明によくコントロールされてゐる

高田氏　洋畫家高田弘四郎氏は熱河戰蹟を油繪に纏め十月三十日、三十一日滿鐵協和會館別室に於て個人展を開催する事となつた、寫眞に終始した同氏の作品は萬里長城に古北口南天門に遺憾なく秘庫熱河風景を說明した戰跡展である、作品三十點の由

ラヂオ商殺し事件
犯人北平へ逃亡か
ボーイに洩した言葉

奉天のラヂオ商殺しの犯人として確證あがつた丸茂保之は既に風を喰つて天津方面に高飛びした事が確實となり、犯人は巧に官憲の手を逃れ平津の地に潛伏してゐる迄の足取りが判然としたが、大連署に搜査本部を置いた刑事隊では一應天津總領事館警察に手配電を發すると共に熟議の結果、奉天より來連中の奉天署松尾警部補、手島刑事、大連署庄司部長の三名を現地に派遣する事となり、一行は打ちつれて二十八日午後三時出帆の天津丸で犯人を追つて、平津に向け出發した、因に天津丸船員の語るところによると、犯人丸茂は天津落ちの際は全く貴公子然と常に同船サロンにおいて雜誌、グラフイツクの類を閱讀し、當時ひそかに北平方面に支那語を勉强に行く旨を洩らしたが、事實とすれば丸茂は既に天津を離れ北平に落ちつくか、または更に南下して上海方面に出たか、一方身邊の危險を感じ足を轉じて內地に高飛びしたか目下のところ全く不明である、三刑事は出發に際し交々語る

五日位の豫定で行つて來ます、必らず捕へて歸るつもりですがまだ平津方面から何等手配電に關して返電がないので、實は居つてくれゝば好いと少し心配です

と言葉少く緊張した面持で語つた

丸茂の情婦滿枝
兇行を知つてたか
奉天署で嚴重取調中

【奉天電話】門永三藏殺し丸茂保之の情婦として、二十七日來奉天署に留置されてゐる明星ダンスホールダンサー吉野こと金子滿枝（二一）については、同署司法係では二十八日朝來極秘裡に嚴重取調べ中であるが、丸茂が門永氏を慘殺後去る十四日大連に赴く際滿枝に大連行きを勸め、滿枝は更に同僚の伊藤みち子（二一）を誘つて「私は伊藤さんと一緒に大連に行つて遊んで來ます、大連ではヤマトホテルに泊りますから」と良人に願出で、兩名が丸茂と共に三人打揃つて同夜十一時四十五分發列車に乘り大連に赴き伊藤は着連と同時に丸茂、滿枝とは別行動をとり丸茂と滿枝兩名は夫婦氣取りで星ケ浦ヤマトホテルに泊り、同ホテルに二晩宿泊して諸所を見物し十七日夜丸茂と滿枝は歸奉し伊藤は一日遲れて十八日歸奉したが、滿枝はヤマトホテルで丸茂と同宿、なごやかな一夜を送るうちに丸茂よりこの大罪を犯した樣子を聞き込んでゐるものとみられ、奉天署では滿枝に對しその間の事情につき引續き取調べ中である（寫眞は滿枝）

丸茂逮捕は時間の問題
立川奉天署長談

奉天市浪速通り七番地門永洋行主門永三藏（四五）氏が二十七日午後二時半慘殺死體となつて淀町一番地より發見された報を聽し來旅中の立川奉天署長を訪ふと

昨夜宿舍旅順ホテルに電報で報告があつただけで、その後何の通知もないので二十八日問合せの電報を打つた、搜査のため大連へは指名手配をすると共に刑事も來連してゐる、二十八日になつて打合電報を二三通受けたが未だ犯人檢擧があつた譯でないから話をするだけになつてゐない、この事件は御紙に報道された通り去る七日同人行方不明以來活動中のもので、犯人丸茂の逃走徑路も大體調査濟だから逮捕はもはや時間の問題だけだと餘り多くを語らなかつた

金に窮して
一息に絞殺

【奉天電話】犯人丸茂が鐵路總局の社員であり、彼が國際都市の大奉天の中心で背後にはダンサーをおいてかやうな大罪を犯すに至つた動機は、門永氏の財布に入れてあつた大金を見て若しかしたら門永氏が所持してゐる手提鞄の中にはどれだけ大金が入つてゐるか判らぬとこれに目をつけ、夜每のダンス遊びをなして金に窮してゐた丸茂は良心の制止を超越して發作的にそこにあり合せの細紐で門永氏を絞殺したもので、二十八日死體解剖の結果、頭部その他に傷害を受けてゐないことが判明した

丸茂懲戒免職

門永氏殺人事件の指名犯人丸茂保之の處分については鐵路總局で協議の結果彼が永い期間に亘つて無斷缺勤をした事實は社員服務規定に反するものとして社員懲戒規定により二十八日附を以て懲戒免職に附した、なほさきに夫人の慘死事件を起して問題を起した滿鐵建設局チチハル建設事務所工手木村吾一氏は身の責任を感じ滿鐵に辭表を提出したので二十六日附社報で依願免となつた

朝香宮妃殿下
御不例

【東京二十八日發國通至急報】午後九時三十分宮內省發表＝今日折田朝香宮附事務官より左の如く報告ありたり

同宮妃殿下には先頃來お氣先勝れさせられず、本月二十一日より御假床に入らせらる、御倦怠の感、御食事御不進、御貧血、蛋白尿等の御症狀を拜し御病症は慢性腎臟炎と伺ひ奉る、なほ妃殿下御病氣は御輕症とは申上兼ねるも、目下のところ甚だしく御憂慮申上げる程にはあらざるやう拜察せらる、拜診は佐藤侍醫頭と高木侍醫、稻田承はる

殉職警官招魂祭
旅順招魂碑前で執行

殉職警察官招魂祭は二十八日午前十時から旅順新市街警察官招魂碑前に於て執行、碑前には駐滿大使館その他の花環菱刈長官外各方面からの供物山の如く供へられ大場祭典委員長以下各委員沿線各警察署長及び來賓には菱刈長官、八田滿鐵副總裁、安藤要塞司令官、日下內務局長始め在旅文武官、婦人團體、學生生徒參列し河野神官によつて型の如く嚴かな式典が擧げられ遺族總代として故藤井巡査部長[illegible]又滿洲國[illegible]遺族曲克義氏の玉串奉奠に次で菱刈長官、八田副總裁、安藤要塞司令官、要港部司令官代理安藤先任參謀、川人憲兵司令官代理、日下內務局長、野田工大學長、杉浦高等法院長、下田檢察官長、駐滿大使館職員を代表し御厨外事課長、青木在鄉軍人分會代表、旅順看護婦婦人會代表安藤民政署長、米岡市長、伴中將夫人、愛國婦人會代表日下局長夫人等の玉串奉奠あり同十一時過ぎ式を終り午後一時から境內に於て子供角力、又振武館に於ては管下各警察署對抗柔劍道試合が行はれた（寫眞右端は菱刈長官）

ダン・スチユワード
前川との龍虎戰

大滿洲拳鬪協會主催、鮮滿拳鬪會、本社後援の大滿洲拳鬪協會發會式記念試合は愈々二十九日午後一時より電園下廣場において開催されるが、これより先正午より同リングにおいて華々しく發會式を擧行することになり、同會長薄益三氏は市內各方面に招待狀を發したが、發會式終つてファン待望の記念大試合に移ることになる、今まで拳鬪協會創立を企てゝ成らなかつた滿洲の拳鬪熱に對し、將來は道場を造つて選手まで養成せんとする大理想に向つて進む大滿洲拳鬪會が「滿洲の拳鬪如何」と乾坤一擲を賭た記念すべき大試合、選ばれて當日のメインエベントを承る

前川　スチユワード兩選手は必勝を期して虎視眈々たるものがある、前川選手はウエルター級の體量一四二パウンド、左ストレートを前哨戰にして機を見てカウンター氣味に放つ右フック、アッパカットは强力なパンチを秘めその技術は日本新進選手中の拔群を謳はれてゐるに對しダン・スチユワードもスマートな技術は來朝以來定評のあるところ、左ストレートに敵のラッシュを防ぎつゝ右フック、アッパカットを送る時兩選手は恰も機械の如く正確に然もスピードはファンの舌を捲くところである、同型の兩選手の血戰、そのリングにおいて優劣なき時當然猛烈なラッシュを企て、斃すか斃されるか果敢な戰法によらればならない、恰も日米對抗戰の如きこの一戰、ファンの聲援を受けて兩選手リングに相見える時、戰はざるべからず、勝たざるべからず、鐵腕うなつて血の旋風を呼び秋冷のリングに一場の殺氣を與へずには置かないだらう

發會記念日米	拳鬪大試合
日時	十一月二十九日午後一時より（連鎖街前廣場）
會費	リングサイド一・五〇　普通席一・〇〇　學生〇・五〇　附記＝婦人に限り無料公開
主催	大滿洲拳鬪協會
後援	鮮滿拳鬪會
後援	滿洲日報社

第四回大連市民
體育ボール大會

日時　廿九日午前九時
場所　大連運動場
主催　大連市役所
後援　滿洲日報社

旅順競馬
五日目成績

△一回（八百、七頭）1箱根（青木）2吹雪3中村一圓三（一分四九、二）
△二回（八百、七頭）1鳴海（青木）2新花月3千草一圓九（一分一二、二）
△三回（千、七頭）1明月（保利）2江戸3初山四圓（一分三五、三）
△四回（千、七頭）1勝代（岬田）2宮衞3利根十圓（一分二八、三）
△五回（千二、七頭）1安宅（青木）2清山3電四圓六（一分四九、二）
△六回（千、八頭）1瓢（岡野）2鷹島3飛龍四圓十（一分三四三）
△七回（千四、六頭）1金峰（青木）2雪仙3正次五圓六（二分八、三）
△八回（千四、七頭）1勇仁悲（岬）2秋津洲3玉錦一圓五（二分六、三）
△九回（千四、六頭）1香潢（保利）2春3南洲七圓七（一分五五、三）
△十回（千二、八頭）1明石（青木）2芳光3始四圓三（一分一三、三）
△十一回（千六、六頭）1大星（所）2初音3千島二圓（二分一八、三）
△十二回（千二、七頭）1南山（岡野）2驟雨3木村五圓七（一分五二、一）
△十三回（千二、七頭）1瑞風（青木）2桃山3拉法二圓十（一分五〇）
△十四回（千二、七頭）1若柳（岬）2雷電3大連三圓三（一分五三）
當日賣上高　二萬四千三百六十一圓

第三回健康週間
今年は血液檢査を行ひ
健康診斷、戶外デーを盛大に

滿洲年中行事として民衆保健に重大な意義を有する第三回健康週間は、本年も亦各衞生公共機關及び本社主催の下に十一月十五日より二十一日までの間開催されることに決したが、其の第一回相談會は二十八日午後六時からヤマトホテルに於いて行はれた、本年の健康週間も例年の如く全滿市民の無料健康診斷及び奉仕投藥、講演、映畫、戶外デーを行ふが本年は始めての試みとして全市民要望者の血液檢査をも行ふこととなつた、この試みは滿洲に於ては最初のもので花柳病有無反應を行ふ試驗で、今回の試驗の結果統計に就いては民衆保健上貴重な資料を提供するものとして醫學專門家より重要注目されることゝなつた、協議は約三時間に亘り午後十時終つたが當日の出席者次の如し

大連醫院村上副院長、大連市社會課長代理甲能寬一氏、社會事業協會主事松澤光一氏、大連赤十字醫院朝倉醫長、大連聖愛醫院土井院長、關東廳科醫師會長關利重氏、體育研究所長代理上倉熊一氏、大連實業藥劑師會長代理松井正治氏、關東州藥劑師會長柳沼輝治氏、旅順醫院豐田院長赤十字社滿洲本部中地大連主任、滿鐵多田地方課長、同千種衞生課長、中根社會係主任、本社側本村營業局長、高橋同次長、中村外交部長、高橋事業部長等

慶應勝つ
7A—3 對法政二回戰

【東京二十八日發國通】慶法二回戰は午後一時三十三分伊丹、横澤、小林、齋藤四氏審判の下に法政先攻にて開始結局七A對三にて慶應勝つ閉戰三時四十八分

バッテリー慶應塚越、小川▲法政若林、倉

警察署對抗
柔劍道大會

第二回全滿警察署對抗武道大會は二十八日招魂祭終了後午後一時より振武館にて華々しく開催された先づ森本警務課長の開會の辭、劍道部及び柔道部の優勝旗返還式あり大平支部長の訓示に次いで柔劍道共各選手の爭覇戰に入つた、劍道部は個人試合において旅順署の有友君優勝、對署試合は終始接戰に終始し四署が殘り結局旅順署の優勝となつた、柔道にては一回戰より物凄い肉彈戰を演じ撫順、旅順、營口大石橋聯合軍、四平街公主嶺范家屯聯合軍が準決勝に殘り、遂に營口大石橋聯合軍の優勝となり個人では撫順石崎五段の優勝となつた、かくて優勝旗優勝刀の授與式あり、最後に優勝署劍道旅順、柔道大石橋兩署長の答辭あり五時四十五分盛況裡に終つた

安樂椅子

滿洲の陸上競技界はダンス排擊論者が優勢であるが、このうちでも滿洲體協主事林田學君のダンス嫌ひは餘りにも有名である

……◇……

「ダンスにおぼれたといふ事實だけでも丸茂を陸職で除名しろ」といふのが學君の言分であるが、滿鐵體育係の空氣もダンス反對論が有力であるのに元氣づいた彼氏、今度の大連アスレチッククラブの本問題評議會では眞向から會員のダンス全廢を提唱することになつた

……◇……

「自分が離れぬものだから」と平素學君をからかつてゐた友達連も、今度の學君の提案だけは相當眞面目に討議しやうと申合せてゐる。このところダンスは御難つづき……

訂正

夕刊既報の明治神宮馬術選手林義郎氏を大連一中と記せるは大連二中生の誤りにつき訂正す

けふのスポーツ

▲ラグビー　工大對滿電戰二十九日午後一時半から工專グラウンドで
▲體育ボール大會　午前九時大連運動場
▲大滿洲拳鬪協會發會式記念大試合午後一時電園下廣場

仁丹景品付特賣

本紙十月十八日掲載仁丹廣告中の景品は內地の分で滿洲には適應しない當地方には今春より滿洲向の景品を付して賣出中である

滿博福券未受取

滿博事務局では福券附入場券の當籤景品の支拂が今月三十日限りで失效するのに今なほ五千餘圓受取りに來ないので有效期間中に至急受取方を希望してゐる

アスレチック
クラブ競技會

大連アスレチッククラブ納會競技會は來る三十、三十一の兩日大連運動場で行はれるが競技規定は左の如くである、なほ最初の豫定三十一日、一日はグラウンドの都合上前記の如く變更になつたものである

一、種別
▲一部、一般十種及四〇〇米走
▲二部（老童競技）一〇〇、四〇〇、一五〇〇、砲丸、圓盤、走巾跳、走高跳、四〇〇米走（A組三〇歲以上三五歲迄B組三六歲以上、但し米走はAB合同）

二、順序
▲一日（十月三十日）一〇〇、走巾、砲丸、高跳、四〇〇、一般四〇〇米走▲二日（十月三十一日）高障碍、圓盤投、棒高、槍投、一五〇〇、老童四〇〇米走

三、資格　DACメンバー

四、申込　三十日午前中に滿鐵體育係秋月宛

青空ホテル （25）

近江帆三
吉郡二郎畫

辛い園遊會（三）

池の向ふから、チンタの音がチャカ〳〵と聞えて來た。先頭は五六尺もある絹帽をかぶつて、クラリネットで「若葉しげれる櫻井の」をやつてゐる。次ぎがピエロで、これが時々さんぽ返りをうつたり大きな聲で唄をうたつたりする。太鼓の男は袴を着て、頭に丁髷をいたゞいてゐる。その後ろから桃太郎がお婆さんにおんぶしてもらつて、國旗を振つてゐるぞ。――これは販賣課の餘興で、池の周圍をぐるりと一周すると、こんどはそのまゝの恰好でボートに乗り移つて囃したてた。

「まあ、ずゐぶん亂痴氣騷ぎね」

と逸見夫人は池のほとりに立つて、この度はづれた騷ぎを見てゐた。ボートの舳には「販賣戰線異狀あり」と書いた幟が立つてゐる。

すると、その時、傍の信子孃が袖を引いて

「さつきいつてた人、あすこにいらつしやるわ」と囁いた。

「なあに?」

「みすゞで一しよになつた人―」

「どこ?」

と、夫人は美粧院でおめかしをしてゐたといふその强敵を早く知りたいのである。

「そら、あすこに赤い服を着た小さなお孃さんがゐるでせう?その少し右の方――」

「赤い服――?」

と夫人は、池の向ふを見やつてそこに並んでゐる觀衆を一人々々虱つぶしに見ていつた。

「あゝ、あの洋裝のひと?」

「えゝ。それから、その右にゐる人ね、あの方もやつぱりさうよ」

「似てるわね」

「さうよ。ご姉妹かも知れないわ」

さういつてゐるところへ

「おい〳〵、何をしてゐる」

といひながら、逸見さんが姿を現はした。さつきから夫人たちを探してゐたらしく、ふう〳〵いつてゐる。

「もう五人男が出ますの?」

「あゝ、もうすぐだよ」

「だつて私たちもずゐぶんあなたをお探ししましたのよ」

「おれも探した」

「怪しいものだわ。いゝ香がしてゐますもの」

と夫人は、逸見さんの口から虹のやうに出て來る酒氣を避けた。

「はゝゝ。惡いことは出來ん」

「それごらんなさい」

「樂屋で若い者に景氣をつけてやつた。おれが呑まんと、若い者も呑まん」

と逸見さんにも理由がある。

「どうですかね」

と夫人は信子孃を顧みて笑つた。

逸見さんが

「あゝ、信子さん」

「はあ?」

「素敵ですぜ、南海力丸は――」

「まあ。いやだわ」

と信子孃は、旗島たちの今日の演物を知つてゐるので顔を赧らめた。

「顔といひ體格といひ、正に三國一だ」

と、逸見さんは、會社の若いものに信子孃を賣りにかゝつたのと同じ戰法で、旗島を褒め立てた。

「まあ、舞臺姿を見て下さい。男の私でさへ、もう三四十年も若かつたらなあと思ひますよ。顔といひ體格といひ、先づどう見たつて菊五郎か吉右衛門だ。さつき私がおい見に來てゐるぜといつてやつたら、大將びつくりして、ほんとですかとぬかした。あつはつは」

花火が威勢よくポン〳〵あがる柝の音が響いて來る。

信子孃は胸をはためかせた。

にちようふろく

童話 親子のうづら

政本いさむ

お母さんのうづらが、子どものうづらを連れて、南の國へ渡つてゐました。

「どう、まだ疲れないの」

と、お母さんのうづらがいひました。

「とても疲れたのよ」

と子供のうづらがいひました。

「休まうかれ」

お母さんのうづらは、さういつて、あちらこちら見下しましたら、すぐ山の向ふに高粱がところどころ刈り殘されてゐてちやう度うづらのやうな色の畠が見えました。

「あそこにいゝところがあるよ。おいしい高粱の實が澤山こぼれてゐるだらう。もう少しだからかれ」

と、お母さんのうづらがいひました。

「さう、うれしいな」

子供のうづらはこをどりして喜びました。

「でもれ」

と、お母さんのうづらが心配さうにいひました。

「ほら、聞いてごらん」

子供のうづらはお母さんにすりよつてじつと耳をすまして見ると微に不思議な聲が聞えて來ました。

「あれ、何なの?」

と、子供のうづらは眼を丸くして、お母さんを見上げました。

「あれはれ、人間が私達をつかまへてる聲なんです」

子供のうづらはびつくりしました。

「え、私達をつかまへてるの、怖いからもう下りるのよさうよ」

と、子供のうづらはふるへながらいひました。

「なあに、いゝのよ。お母さんとさへ一緒にゐりや」

お母さんは又もとのやうなほがらかな顔でいひました。

二人は高粱畠へ下りました。

そこにはおいしい高粱の實が澤山こぼれてゐましたので、お腹のすいた二人は夢中でそれを拾つて食べました。

ホー　ホー

やがて人間が五、六人近づいて來ました。お母さんのうづらは、あたりに氣を配つてゐましたが

「さあ飛びますよ。かうしてれ」

二人は手をつないで飛上りました。二人のすぐ眼の前に白い大きな網が張られてありました。

「怖かつたれ」

と、子供のうづらがいひました。

二人はしばらく飛んで、今度は誰もゐない見はらしのいい畠に下りました。お母さんのうづらは、遙かの高粱畠を見下しながらいひました。

「あんな時、靜なんか走つてると屹度網にかゝつてしまふのですよ。あゝして眞直に飛上りさへすりや大丈夫なんだから。お前が大きくなつて一人でこゝへ來るやうなことがあつても、今お母さんのいつたことを忘れないでゐたら決して危いことはありません」

○

秋になると何百何千といふうづらの群が北の方から、この畠を越えて南の國へ渡つて行きます。

そのうづら達は子供の時、必ず一度はかうして、お母さんに連れられて、よくよく言つて聞かされながら、この畠を越えたものです。だのに、どうしたことか。毎日毎日何十羽といふうづらが、きまつたやうに人間の聲に誘はれて網にかゝるのであります。

考へもの 第七十回

見た事がある お顔ですね だれでせうか

やあこの顔は見たことがあるゾ、さて誰でせうか。日本人ではありません。近ごろヨーロッパのお話にちよいちよい出て來る名高い人です。わかつた方は來る十一月五日までに大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてハガキでお答へください。正解者が多いときにはいつものやうな方法で二十名に限りご褒美を差しあげます

第六十八回の答 人力車の影

第六十八回の考へものは人力車のかげでした。正解者が多いので籤をひいて、今度は次の方々に、御褒美をあげることにしました。當籤者で大連市内の方には新聞社から當籤通知のハガキをあげますからそれと引きかへに本社で御褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りしますから、どうかたのしみにまつてゐてください

當籤者

▲旅順水野弘子▲新臺子安部功▲大石橋渡邊次郎▲四平街工藤好子▲奉天松田勝美▲開原俵坂啟▲新京松永博一▲大連山根トキ▲同山內照子▲同西山孝雄▲同藤林茂▲同間瀬德藏▲同松村普美男▲同安澤龍興▲同上田はり子▲同肥後フサ子▲同松尾賀久雄▲同木村太郎、[illegible]マリ下▲同中島巖

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

一、次の候文を口語文になほしなさい

(1)御手紙拜見致候、二人共よく勉强し居らるゝ由、安心致候、勉强も大切なれど體にも精々御注意なさるべく候

(2)イグアッスーの大瀑布の壯觀、實に筆舌に盡し難く候

(3)森林地開墾の樣子を視察致居候ため、しばらく無沙汰に打過ぎ候

二、次の詩を讀んで問に答へなさい

天下を定むる三分の計
たなそこの上に指さすがごと
いしずゑ固めし蜀漢の國
漢中王はおごそかに
帝の位をふませ給ひぬ

【問】(1)全體の意義をわかり易く書きなさい

(2)次の言葉のわけを言へ

(イ)天下を定むる三分の計

(ロ)たなそこの上に指さすがごと

三、(1)我が國の地方自治團體にはどんな種類があるか

(2)地方團體での自治の精神とはどんな精神か

(3)それはどんなに大切か

四、次の文中片假名のところを漢字になほしなさい

(1)セイドをウンヨウするのは人である。ジチセイもコレをウンヨウするジンミンにジチのセイシンがトボしければよいケックワをうることはトウテイノゾまれない。

(2)コウキヨウのジムにアタるモノはイカにソのシヨクムにチユウジツであつてもイッパンのジンミンのコウエンがなければダンタイのエンマンなるハッタツはノゾまれない。

(3)このエハガキはダイゲンヤのシヤシンだ。ミただけでもユクワイではないか。

五、(1)次の言葉の反對語を下に書きなさい

劣る(　)　浮ぶ(　)
下流(　)　輸出(　)
大部分(　)　繁雜(　)
幸福(　)　直接(　)
私利(　)

(2)次の言葉をつかつて短文を作りなさい

(イ)すさまじい
(ロ)はかない
(ハ)辨へ
(ニ)おごそか
(ホ)たまもの

前週の答 算術

(1)長子3400圓　次子2720圓　末子2380圓

(2)損益ナシ

(3)350錢÷(1+0.4)=250錢……原價
250錢×(1+0.2)=300錢
答 3圓ニ賣ルト2割利ガアル

(4)258圓

(5)2ト1圓25錢

どんな寒さも平氣だゾ! 滿洲にゐる兵隊さん スッカリ冬じたく

滿洲もちかごろめつきりさむくなつてきました。これからは寒暖計もさがるばかりです。しかし兵隊さんたちはもうすつかり冬の用意ができました。どんな寒さでもやつてこいとばかりまちかまへてをります。陸軍でもことしはひとりも凍傷にかかるもののないやうにといろいろこころづかひをしてゐます。防寒具もふるくなつたものはきれいに洗濯し、やぶれたのはよく修理したものをわたしました。又たべものもみんなあたらしいものをたべさせるやうにと、スープやみそやあまざけのかためたものや、おさけ、コーヒーもたくさんくばりました。それからアルコールのかためたものをまきのかはりにみんなもらひました。これはどんなところでもあつい食事がたべられるやうにするといふのですからさぞ便利なことでせう。ことしの冬はどんなに寒くともみんな元氣でお國のためにはたらいてくださることでせう。

新京に童子團

「童子は國のたから」「國民の養成はまづ童子から」といふことはこのごろ滿洲國のどこでもさけばれてゐることです。こんなわけで新京の特別市でもまづ四十人の子どもをあつめてよくをしへこんでりつぱなスカウトをつくることになりました。このやうに滿洲國の童子團がだんだんさかんになつていくことはほんとうによろこばしいことです

満洲の乗り物

どんなものがある？

皆さんは満洲國のお友達と手を握り早く交通をひらけ

電車や自動車のやうな便利な乗物のあるところに住んでゐる人々は、すつかりそれになれつこになつてしまつて、あまりありがたいとも思はなくなつてきてゐるのではないでせうか日本でも汽車や汽船のなかつた昔は、東海道の五十三次を何日も何日もかかつて歩いた時代があつたやうに、廣い廣い満洲には、今でも汽車や電車などの便利な乗物を見たこともなければ、また一度も乗つたことも無いといふやうな人がたくさんゐるから驚くではありませんか。そのしやうこに、このまへに日本軍が熱河の匪賊を征伐に出かけたとき、タンクやサイドカーを初めて見たゐなかの人々が「鐵の豚」が來たといつてビックリしたといふお話があります。

満洲に住むこれからのみなさんはだんだん大きくなつて、満洲國のお友だちと手をにぎりあひ、そして電車や自動車なんかをまだ見たことのない人々が、早くなくなるやう――文明の世界に住む私達の幸福を分けてやらうではありませんか。それには何よりも先に、交通の便利といふことが必要であるといふことも申すまでもありません、今日はみなさんに交通の不便な満洲のゐなかの有様を知つていたゞいて、一日も早く私達の満洲をアメリカやイギリスなどに劣らない立派な國にしたいものだと思ひます。

交通の便利は匪賊に大敵

西洋のことわざに「時は金なり」といふことがありますね。それを考へると交通機關のとぼしいゐなかの人たちはしらずしらずのあひだに大へんな損をしてゐるのではありませんか第一あたらしい出来事をしることもできないし、又あたらしい科學のおかげもうけることができないのです。それればかりでなく、あのにくいにくい匪賊もこの交通機關の不便なすきにつけこんで、ますますわるいことを働く様になるのです。これからの満洲がどこへでも、すぐに、汽車や自動車でいけるやうになつたら、わるものはひとりでにほろびてしまひます。私たちにとつて便利な交通機關は匪賊にとつては一番の敵であるといふことは、ほんとうに痛快なことではありませんか。

なぜ發達しなかったか

満洲の交通

▼▼…わるい支那の役人たちが　自分が儲ける事に一生懸命

支那には昔から南船北馬といふ言葉があつて、南の方へ行くと海や川が大へん多く、船の便が發達してゐますからチョットおつかひに行くのでも、町から町へ、家から家へも、ちやうご私たちが道路を歩いていけるやうに、船で行くことが出來ますが、それとは反對に北方の満洲ではあの名高い鴨綠江と松花江、遼河の三つの大きな河をのぞくほかほんとうに河が少く、それに山や沙漠が多くて満洲や蒙古の旅ではどこへ行くにも馬やらくだに乘るより外に方法がないのです。それで此の「南船北馬」といふ言葉が起つたのです。それにもかゝはらず汽車や自動車といふやうな便利なものがある今日の世の中に、昔のままの南船北馬といふ言葉が、そつくりそのままあてはまるとは何と不思議なことではありませんか。これはなぜかと申しますと、これまでのわるい支那の役人たちがめいめい自分の勝手なことばかり考へてゐて、澤山の人の利益になることをしやうとしなかつたからです。

日本のやうなあの小さい島國でさへも全部の鐵道を長く一本にのばすと約三萬キロメートルもあるといふのにその數倍もある廣い満洲には約六千二百キロメートルの鐵道しかないといふから、今の満洲はどんなに交通が不便で、たくさんの人々が困つてゐるかゞ考へられるでせう。それで汽車や自動車なら僅か一日か二日くらゐでいけるところでもゐなかの人は何日も何日もかゝつて馬やらくだの旅をつゞけなければならないのです。

寫眞説明

1　ひろびろとした草原をすぎゆけば、こんごはてしなくつゞく沙漠です。この沙漠の旅は馬や牛ではトテもたへきれないのです。それにはぜひともらくだでなければなりません。らくだはかつかうがわるくて、なんだかノロマなやうですがごうしてあれですばらしく丈夫なのですまづ沙漠の旅にはらくだにかぎることになつてゐます。みなさんよくごらんなさい、みただけでもほんとうに大陸的な氣分がするではありませんか。

2　北満洲などいふと流れていくあの大松花江も冬ともなればあつい氷がかたくかたくはりつめてしまひます。いまゝで舟でなくてはむかひ岸にいくことができなかつた河もうまにひかせたサーニ（そり）にのつて白いガラスの上でも走るやうにすべつていけるのです。うまの首にさげた鈴がチリンチリンとなります。空はうすずみ色に澄んだやうになまり色にひくくたれさがつてゐますが、仲よしのお友だちとサーニにのつてお話をしながらむかひ岸へあそびにいくなごといふことは満洲でなければあぢはふことができません。

3　水といふ水はなにもかも氷にかはる満洲です大満洲をたてにつきぬけて流れる遼河もすつかり氷です。あの遼河がもはや海に注ぐといふ營口にいつてみますと、氷上ヨットのすがたがまづ私たちの目にとまります風をはらんだほかけぞりは目にもとまらぬスピードではやぶさのやうに氷の上をとんでいきます。まほかたほ、春の日を一ぱいにうけてゆるやかに流れてゆくのごかなありさまとはまるで反對です。

4　一歩蒙古の地に足をふみ入れたらすぐ馬とらくだと牛のお世話にならなければなりません。何しろこれらのものから汽車や自動車のやくめを全部ひきうけてくれるのです。牛がうけもつものは牛車です。ところがこの牛車がチヨットかはつてゐます。かまぼこ牛車なのです。みなさん、満洲のお百姓の家をごぞんじでせう。ごろで塗りつめたかまぼこがたの屋根の家を、それをそつくり牛車の上にうつしたものがこのかまぼこ牛車です。あのお百姓の家はこの牛車の屋根をまねてつくつたものだといはれてゐますから、このかまぼこ牛車の方があの家の本家本元なわけでせう。

5　昔から支那人はいろいろな乘物をつくりだしてゐます。そしてなかなか頭のいいところをみせてゐます。まづ一番先に目をつけたのは車でせうが山の多いところへいつては車もそのやくめをはたしません。それで思ひついたのはこの駄轎といふものです。うしろまへの馬のせなかに日本のむかしのかごをのせたはせて、どんな山地でもらくらくと旅をしやうといふのです。

6　日本には獵車といふものがありますが、あれよりももつと氣のきいたのがこの一輪車です。一たい車といふものは二つ以上の輪がついてゐるものと大てい相場がきまつてゐますのに、なに一つの輪だつてこのとほりりつぱにやくめをはたすことができることしやうこだててくれてゐます。これも支那人おとくいのものの一つです。

7　これはまた何といふ小さな汽車でせう、今年の夏大連で開かれた博覽會で皆さんおなじみの満日こどもの國の汽車とそつくりではありませんか。これは満鐵沿線の開原から西豐といふところへゆく汽車です。汽車のなかつた昔は奧地でとれる大豆や高粱は毎日何十臺もの馬車を使つてやうやく運び出してゐたのですが、今ではこの小さな汽車がひとりでその仕事をしてゐるのですから體は小さくてもなかなか馬鹿に出來ません。

8　ここにも支那人の頭のいいところをみせてゐます。舟といかだのつかひわけでらくに河をのぼりくだりするといふ考へ方には「まゐつた」といはなければなりません。つまり、河をくだるときはいくそうかのいかだを一つにまとめて、いろいろの荷物を一ぱいつんでいきますが、その荷物をおろしてかへりには一そう一そうばらばらになつてのぼつていくのです。荷物をおろしてもうけさへもらへばあとはごうでもよいといふやり方のやうです。すべてもうけづくでごうにでもなるといふ支那人らしい氣持が、こんな河舟にまであらはれてゐるやうにも思はれておもしろいではありませんか。

9　**10**　**11**　今の世の中では交通機關としては乘合自動車や電車や飛行機はもうなくてはならないものです。満洲でも満洲國が出來てからは、皆さん既にごぞんじのやうに、だんだんかうした便利な乘物がたくさん使はれるやうになつて來ました。満洲に住んでゐる人たちにとつてはほんとうにありがたいことです。

光の都　中央にそびえてゐるのは皆さんごぞんじの米國ニューヨークのエムパイヤー・ビルデイングです

これからの燈火

ネオン球時代も近い

トテも安い電球を盛に賣り込むので外國の電燈屋さんが苦情をいひます

▼…め　つきり日暮れが早くなりました、六月末の夏至前後には、七時頃でもまだ夕方明るかつたのに、此頃は六時にはもう暗くなります。この先十二月末の冬至迄は夜が長くなる一方で昔の人が「燈下親むべき候」といつた通り夜あかりの下で本を讀むにいゝ時になります。第一夏より夜が長いし、うるさい蚊は出ず、さう寒くもなく、たしかに讀書には好都合です。それに昔よりも夜の燈火はスバらしく明るくなりました。日本は國が狹く山や川が多くて、千里一と走りといふやうな汽車を走らせるには不便なかはり、全國諸所方々の川の流れを上手に使つて、どこでも水力發電所が作られ、電氣が村々まで行き渡つてゐます。二三十年前まで幅を利かせてゐた石油ランプも、その後少し流行した瓦斯燈も、今ではみんな見えなくなつて、電燈全盛です。そのほかドイツ風の風車を使ふ發電所や潮の滿干を使ふ發電所等も日本に出來ない筈はありません。

▼…提　灯のお飾りも、中をのぞくと電球の入つてゐることが町のお祭りなどでよく見うけられるやうになり、停電の用心や暗闇での探しものにも、今では懷中電燈が多くなり、蠟燭はだん〳〵珍しくなつて來ました。これから先きやがてここにも電燈全盛時代が來るでせう。何しろ今でさへ一と頃にくらべて電球も懷中電燈もいゝものが安く手に入るやうになりました。廣告用の電燈としては二三年前までイルミネーションばかりだつたのが、今ではすつかりネオン・サインに代りました。そのうちネオン入り電球が安く手輕に使へるやうになると、切れ易い線を使つた電球は、だん〳〵なくなるでせう。ネオン球ならば中には線なしで、たゞネオンガスだけが封じ込めてあり、このガス全體が光るのですから球全體が輝きます。電氣がいらなくて眼によくて、しかも線の切れる心配がないのですから便利でせう。

▼…線　のあるのも日本の電球はとても安く出來ますからアメリカなどにも盛んに賣り込まれ外國の電燈屋さんが苦情をいつてゐる程です。しかし一たいこれほど讀のためにも得がいつて便利なネオン球が、一般の家庭に使はれないのは、少しをかしな話でせう。ところが電球を作る會社は、外國でも日本でも割合に新しいくせに隨分大がかりなもので、大した金をかけて大工場を作り、澤山な立派な機械を据ゑ付け大勢の職工を使ひ、線のある電球を途方もなく澤山づつ毎日作つてゐます。もし今ネオン球の方がいゝといふので直ぐそれを製造しはじめたら今までの工場や機械やそれにかけた莫大なお金が、みんな無駄になります。もつとも今迄にもう相當儲けたから良ささうなものですが、みすみすこれを全部損にして改めてネオン球だけを大金をかけてつくりはじめるのは、會社としては都合が惡いのですそのため當分まだ急にはネオン球は皆さんのお家の中までは入りますまいが、そのうち段々これに代つて行くものと思はれます。

①アナダ犬ガイーナ
アレレッ ズヰブン
??

②ニヒキヰタノカイ!!
ナーンダ

一　オヤオヤ　アンナセイノタカイヒト

二　アラマア　オドロイタ　フタリダワ

井上藤子

	（朝）	（晝）	（晩）
日	かぶらの味噌汁、黒豆ふくめ煮	松茸めし、豆腐と春菊の清汁	かきと三つ葉の玉子とぢ、まぐろ刺身里芋と莢えんどうのうま煮、小蕪甘酢
月	葱のみそ汁、金山寺	ゆばとこんにやくと蓮根の煮〆お新香	ビーフシチュー、百合ふくめ煮キヤベツ白ソース和へ
火	豆腐のみそ汁、燒海苔	燒いわし、卸し大根	ふわ〳〵卵とさらし葱の清汁、かきフライ柚子酢ほうれん草したし
水	大根の味噌汁、納豆	里芋のでんがく、小松菜したし	燒豚、おとし芋ともみ海苔の清汁、野菜サラダ
木	しじみの味噌汁、蕪の千枚漬	鯖の鹽燒、霜降漬	ふろふき大根、燒松茸、春菊おしたし
金	若布味噌汁、なすの辛子漬	さつま汁、大根なます	椎茸とほうれん草の清汁、まぐろ照燒、人參とこんにやくの白和へ
土	納豆汁、昆布巻	鯖ずし、とろゝ昆布吸物	鯛と松茸と豆腐のちり、くわゐふくめ煮、貝柱卸し和へ

家庭滿洲語 紙上講座

第卅二課

一（1）雞。（鷄。）　（2）小雞子　（3）公雞。　（4）母雞。　（5）雞蛋。　（6）下蛋。　（7）様子

二（1）打開雞。　（2）打幾個　（3）打一個　（4）壞了　（5）不要了　（7）扔了　（8）圓的

三（1）你聽聽　（2）聲音　（3）鳥兒　（4）叫喚　（5）好聽。　（6）不好聽。

【譯語】

一（1）にはとり　（2）鷄又は（ヒヨツコ）　（3）雄鷄（おんどり）　（4）雌鷄（めんどり）　（5）鷄卵　（6）玉子を生む　（7）狀態（形態、有様等）　（8）丸い

二（1）玉子を割る　（2）幾つ割るか　（3）一つ割る　（4）腐つた　（5）要らない　（6）棄てた

三（1）貴方お聽きなさい　（2）聲又は音　（3）とり　（4）鳴く　（5）聲或は音が良い　（6）聲又は音が惡い

【説明】

下蛋　の下は生むといふ動詞で禽獸蟲魚が子を生むといふ意味に使ふ、但し蛋は一般には鳥の卵のことで、蟲や魚の玉子は、子（ツー）といふ。

打開　は普通は門戸或は器物の蓋等を開く意味に使ふが、此處では打割ると譯す。確　コ（カ）卽ち打ちつけるといふ言葉を用ゆることも有る。

壞　は破壞とか破損又は損傷といふことの外に腐敗といふ意味も有る。

扔　は投擲卽ち物を投げることにも使ひ、放棄卽ち棄てることにも成る。

聲音　は略して聲兒とも云ふ

叫喚　は鳥や獸の鳴くこと吠えることの外に、人が呼び叫ぶことにも使ふ。

發音上の注意

圓　イ（ウ）エ（ア）ヌは口を充分にすぼめた儘でイを發し、次に口をアと明けながらエの音を續けて最後に輕く又音を發すればよい。

扔　）イエアンは口を輕く開き先づ舌端を内へ曲げて上顎に附けぬ樣にしながら）イ音を發する樣な心持ちで直にエとアの中間音からンに入るのである。

聲　）スンと記して有るが、矢張り扔と同じ要領で、舌端を内へ曲げて）スを發し、矢張りエとアの中間の音を鼻に通して言へばよい。

前週の答

（1）人的名字（人名兒）　（2）地方兒的名字（地名兒）　（3）這叫甚麽　（4）那個東西叫甚麽　（5）他叫甚麽名字　（6）樹上有葉子　（7）硯臺上沒有水　（8）花兒是紅的麽　（9）沒有白的麽　（10）這是那兒（這是甚麽地方兒）

【問題】次の言葉を支那語に譯せ

（1）どんなやう　（2）こんなやう　（3）あんなやう　（4）同じやう　（5）毀れたか　（6）毀れません　（7）棄てたか　（8）棄てません　（9）大聲　（10）音が小さい

一年前の回顧

佐野以下に判決（十月廿九日）

第一回の公判開廷以來足かけ二年百十一回の審理を重ねた日本共産黨被告佐野學以下百八十四名に對する判決は、午前九時から東京地方裁判所宮城裁判長から巨魁佐野、鍋山、三田村、市川の四名に對して無期、例の福本イズムの主唱者福本和夫には十年の言渡しがありました。

關東軍司令部移駐（同二十日）

關東軍司令部が旅順から奉天に移つて一ケ年と一ケ月滿洲國の創立とともにいよ〳〵新京に移駐することゝなり、武藤全權は熱狂の歡迎を受けながら部下を從へ堂々と新京入りをしました。

名優團十郎を偲ぶ（同三十一日）

名優市川團十郎の歿後早くも三十年、歌舞伎座では十一月追善興行を行ふことゝなりました、それに先だち午前十一時半より青山墓地でしめやかな墓前祭を執行しましたが、羽左衛門、梅幸、左團次、菊五郎、吉右衛門、幸四郎、大谷松竹社長等俳優關係者五百名の參列がありました。

蘇の武力行動（十一月一日）

ソウエート領マチエフスカヤで我軍と直接交渉を目前に控へた蘇炳文は態度を豹變にし東支鐵道西部全線叛軍の全勢力をチチハルへ向け移動させ我軍に對して積極的武力行動にでました

市會議員選擧終る（十一月二日）

大連市會議員選擧は十月十一日以來日を追うて激烈を極め、各候補者並びにその支持者は休む間もなく活躍を續けました。その結果いよ〳〵午前八時三十分市民監視の中で發表三十三名の人達が新しく議員としてあげられました

日滿航空店開き（十一月三日）

滿洲航空界發達の使命をもつて創立された日滿航空會社はいよ〳〵明治節をトして四ケ所同時にチチハル―東京、奉天―東京、奉天―東京、奉天―ハルビンの編成で午前七時三十分を期し一齊にスタートを切り晴の處女空征服の途に上りました

謝專使一行歸連（同四日）

滿洲國承認答禮の大任を果して午前八時入港のあめりか丸で歸連した謝專使一行は、滿鐵正副總裁、市長、稅關長その他多數の出迎へを受けましたが國賓としての待遇をうけ深く感激しました

OROSAN
オロサン

滿洲日報　十月二十八日發行

滿鐵改造問題に關し政府側は靜觀的態度

關東軍、滿鐵の協調期待

【東京特電二十八日發】滿鐵改造を中心とする在滿各機關の改革問題につき政府關係方面はこの頃に至つて漸く關心を深めたが、この際政府としての案を作る方針もなく、一に滿鐵及び關東軍の協調に委せる外ないといふが如き態度をとつてゐる、たゞ所謂關東軍の滿鐵改革案なるものが折角中央に齎されながら政府の關係方面と何等の交渉が行はれなかつたことを遺憾とし、且つこれを不思議に思つてゐる向きが多い、改革案そのものについては關東軍の理想とする趣旨は必ずしも不可ではないが、產業經濟の實際から見て斯くの如き分解を一擧に決すれば、對滿資本誘導の上に障礙を來し、さらでだに萎縮がちな內地資本を一層萎縮せしめ各產業別經營はあるものは隆盛となり、あるものは衰微して重要產業の併行的發展が期せられない、從つて各會社の業績は跛行的で投資の確保の上に危險がある、また日滿產業統制上却て障礙が起り、殊に滿洲重要工業の特徵たる原料と副生物の網狀連絡供給による利益を少くすることなどにより、その實績が期待と反するものあるを恐れてゐる、またこの際滿鐵成立の根本精神を再檢討してかゝる急激な改革をさらずとも、滿洲產業統制の途はあるべく、殊にこの改革は日本の產業統制と全く不可分の關係にあるから寧ろ內地の產業統制を先決とする意見もあり、これに關聯して日滿經濟產業統制機關の設置が先決であるといふ論も少からず來るべき議會を中心に一大論爭が惹き起されやう

平和の戰士三萬社員改造問題に意思表示

滿鐵社員會緊急委員會の結論　評議員會宣言文承認

二十七日夜深更まで緊急委員會にて熱烈な討議を行ひ朝刊所報のごとき決定を行つた滿鐵社員會第十回評議員會は二十八日は午前十時より開會、一般議事を行つた後、正午いよ／＼緊急委員會の結果を緊急議題として上程した、この時渡邊常任幹事議長席に着けば、この日の立役者たる伊藤幹事長は決意の程を眉間に見せて悠々壇上に立ち、別項のごとき報告演說をなし社員の團結と、決意を披瀝し、特別委員會の設置の必要を叫べば滿場一致、起立と拍手を以てこれを可決、階上を占領した一般社員傍聽者もこれに和して盛んなる意氣を示した、伊藤幹事長の演說左のごとし

伊藤幹事長演說

昨夜の緊急委員會は七時間半に亘り、終始熱烈なる討議を行ひましたが、その緊張した空氣は私たちの曾て經驗せぬところで將來に對しても大に意を強うすることが出來ました、緊急委員會の席上ではまづ客觀的情勢の認識より出發し滿鐵改造の必要性如何、現に傳へられる滿鐵改造案の內容、現組織の得失、缺陷ありとすれば如何なる點に存するや、改造案の比較研究を行つた末、次のごとき三つの結論に到達しました

一、國家百年の經濟大策を誤らざらしめるために、最少限度において平和の戰士たる三萬社員の團體的存在並にその團體的行動が必要とせられること

二、改造問題の喧傳せられる今日之に對し社員會の名において、何らかの意思表示をなすこと

三、改造問題を繞る會社非常時に對し對應策を樹てるために特別常設委員會を設立する事

これを分說致しますと第一は團結の必要があることであります三萬社員が團結して正々堂々として動けば前途に何らの不安もありません、現代には正を正とし非を非とする勇氣のない者が多々ありますが幸ひ滿鐵社員にはこの團結があり我らにはその勇氣があります（拍手）、我らは我ら自身の力を信ぜねばならぬ

この自信のあるところに力が湧いて來ます、前途益々多難なる時、切に團結の必要なる事を主張したいと思ひます（拍手）第二は改造問題に對する社員の決意を披瀝せねばなりません、東亞の危機迫る今日、滿洲開發の根本機構たる滿鐵を改造することの得失如何、時宜を得たるや否や、又改造の際に生ずる損失が經濟開發の前途を阻害することなきや否や、十分愼重に考慮する必要があります、我々社員會幹事は曾て揃つて小磯參謀長と會見した事があるが、その際、私は參謀長に日本人は外地經營においてあまりに統一主義で、且つ成功を急ぐ嫌ひありと述べたところ、參謀長は如何にも同感だが、日本人のやうな性急な國民にはあまりゆつくりやると熱が冷める虞れがあるから愚圖々々出來ぬ、要は緩急宜しきを得るにあるといはれたが、我々は更にしかし滿洲の經濟開發は愼重にやらねばならぬと力說した、滿鐵は明治大帝の宏謨でこれを守り立てるのは吾人の責務であります、それを徒に早急に今日傳へられるがごとき方法で改造を行ふは吾人の斷じて承服し得ざるところであります（拍手）かゝる國家的大問題はよろしく八千萬同胞の面前において堂々審議決定されねばなりません（ヒヤ／＼といふものあり拍手）吾人は絕對に一身上の身分問題などを眼中に置くものでありません（拍手）吾人はこの固き決意を披瀝するために一つの宣言文を內外に發表したいと存じます

さて滿場の起立を求めて左のごとき宣言文を朗讀した

宣言文

一、滿鐵は明治大帝の御遺產にして國民血肉の結晶なり、國策遂行の使命を帶びて茲に二十七年今や東亞の危機に際しその責務愈重大を加へ、國民の期待更にこゝに繫る、我等挺身事に當らざるべからず

二、滿洲の建設は大業なり、滿鐵は滿洲開發の根幹なり、之が改廢は宜しく白日の下、國民と共に之を議すべし、濫に斧鉞を弄し大事を誤るごとき我等斷じて之を採らず

右滿鐵三萬社員の名に於いて宣言す

これに對し滿場拍手を以て承認すれば、伊藤幹事長は續いて左のごとく述べた

第三に特別委員會の設置を提議致します、今や內外の客觀的情勢は我々の理的な活動を要求してゐます、昨夜の緊急委員會では問題があまりに大きいので大綱すら決定し得ませんでしたからこの決定を特別委員會を設置してそれに一任することに致しました、この特別委員會は新情勢に順應して社員會綱領第二項にふさはしき對策の決定權を任して欲しいと思ひます、又その人的構成はエキスパートを集むる必要上幹事に一任を願ひます、終りに臨み滿鐵及び社員會の前途いよ／＼多難なる際、滿鐵社員が私を捨て義勇公に奉ずる精神を以て一致團結、正々堂々事に當られんことを切望致します

これに對し渡邊議長より滿場の承認を求め一同熱狂してこれを迎へ直に承認、一般議事に移つた

別項二十八日の評議員會にて可決された宣言文は直に齋藤首相以下各省大臣、內田、山本前總裁、松岡前副總裁、大藏前理事を始め東京、大阪の商工會議所、內地八大新聞その他各方面に打電して滿鐵社員の意志を中央に傳達した

四川の共產軍萬縣に進出

【上海特電二十八日發】漢口來電によれば四川の共產軍は萬縣に進出し重慶と湖北間の水路を遮斷した

日、米、蘇三國間の新條約締結を提議か

渡米する蘇聯外相リ氏

【東京特電二十八日發】ニューヨーク二十七日來電によれば、渡米するソウエート外相リトヴィノフ氏はアメリカの對蘇承認に關聯して、日本を加へた米、蘇三國間の新條約締結の提議をなす用意ありと見られ、アメリカ外交界の注目を惹いてゐる、なほリトヴィノフ氏との交渉には大統領自らこれに當ると

滿鐵改組問題（二）

軍部案の再吟味　綜合制の理論的解消

日笠芳太郎

滿鐵の有する廣汎なる傳統的經濟力は、多年の歷史的發達によるもので、その利害の關係は內外に亘りて、重且つ大であるが、綜合的經營による機構を三十年續けたゝめに、一朝にして之を變革すると、各所に經濟的衝動を起すこといふ迄もない。勿論綜合經營の基調は、多分に軍部の意圖に出發するもので、創立當時、桂公、兒玉伯、寺內伯等陸軍の巨星を中堅として計畫され、交ゆるに故後藤伯の經濟國策を以てしたことは、纖縷に其間の消息を語つてゐる、蓋し日露戰後の軍部の視點は、故山縣元帥が興安嶺第一線の國防上の聲明を重心として、平和主義——貿易主義の南方政策（海軍は任務上共同したが）と異にし、所謂生命線としての特殊の意識が、北方政策として多分に盛られてゐた。翻つて滿鐵も亦經濟機關ではあるが、綜合的强力を擁すると共に國家的使命を有して、國策に當ることゝなつたので、以後軍部の方針は、傳統的に終始一貫して今日に至つた。

◇

然るに柳條溝一發の銃聲に端を發して、滿洲の時局は急旋回し、凡ゆる集結的權力を獨占せし張閥は忽ち解消し、日滿合流の劃期的變革を見るに至つた。卽ち今日に當りて、最早滿鐵の綜合的强權を要せず、寧ろ既往の對立的機構を清算して、日滿結合の利便に應ずるを可とする段階に進んだのである。故にこの新情勢に順應すべき滿鐵の解體——改組は、理論的には實に明瞭であるが、しかし實際的には幾多の難問題が横はつてゐるので、結論的にはその實行方法奈何が重心となる。端的に既往の對滿關係だけを視野に置くならば當然解體を急ぐべきであるが、事態は現在及び將來に幾多の交渉を有し、その關するところ甚だ複雜で、さう簡單に行かぬ實狀である殊に多年に亘る强權的存在が、經濟機關として有力に培はれ、傳統的に植ゑつけられ結びつけられてゐるから、その多面的な職關は經濟的視角においても、右の理論的是認を直に實際に肯定し難い事情がある。

◇

勿論滿鐵の綜合的存在は、その組成上歷史的に、又多角的に擴大されて、過去における國家的使命と併行して、當然の强化と發達とを遂げたものである。故に之を舊情勢に對する機構として、今日の變革に遭遇し、基幹的に解消し清算して、新情勢に對應する組織を整へるといふ理論は正しい。しかし既往の對立意識による國家的使命が終結したからといつて、全部の國家的使命が終つたものでないことは、今日經濟的に特殊工作に邁進してゐる事實に徵するも明かで、少くとも經濟的に國家的使命を有することに疑ひないから、そこに經濟的强力を欲する意義が殘る。換言すれば對立的意識による强力は解消されても、合流的若くは發展的の强力は、新情勢に應ずる要求となつて現れてゐる。固より政治的若くは軍事的の意識に應ずる對立的强力が悉く無用となつて、殆ど全部が經濟的要求に依るものとなつたことが、滿鐵の構成要素に異狀を與ふる事變の所產である、けれども綜合的の從來の强力機構を維持して、今後の經濟的使命に行進するといふ主張に對しては、對立的のものが合流的に變化した今後において無用であるといふだけでは打ち消すことは出來ぬ。經濟的强力は綜合機構でなくても維持されるといふ主張を以てして、これを否認し得るので、それには現實に滿鐵の實體に關し檢討を加へる必要があらう。

◇

綜合的機構でなくても經濟的强力であり得る方法は結論的には金さへあればといふことになるが、金融資本でない——事業資本の滿鐵は、當然その資金を金融資本に仰がねばならぬので、社債は勿論拂込株金の大部分もさうである。これが滿鐵のホールディング・カムパニーとして、甚だ貧弱であり又成立し得ぬ素性でもあるので、幾ら增資や社債が出來ても、經營事業に損をせぬやうに利益を得るやうにせねば立ち行かぬのである而して綜合經營の妙味は撫順の石炭で埋め合すし、地方部の行政費が入つて損をしても、鐵道收入で補つて行く所に長所がある。無論幾ら綜合經營だからといつて、各種の事業に手を出すことは愚の極だが、一方に損をするものがあつても、一方に儲かるものがあつて埋め合はして行くから、育ち難い事業も見込あるものは助成し得るので、それは滿鐵のやうな大世帶で初めて出來ることである。滿洲の今後の事態が、斯かる方法を絕對に必要としないならば兎に角、然らざる限り、滿鐵をバラ／＼にして了つては、第一金の點に困りはしないか。ツイ他人の疝氣を頭痛に病むやうな氣にもなる。

愼重を望む

餘り騷ぐと互に不利　けさ來連の沼田參謀語る

さきに關東軍特務部案を提げ上京中央部との折衝を重ねた關東軍參謀沼田多稼藏中佐は二十八日午前七時四十分着列車にて來連直に遼東ホテルに向ひ四階三三二號室に入つたが中佐は

折角だが前以てお斷りして置くが、今度の問題に就ては餘りに社會への反響が大きいのでこの際騷がれることは折角出來上りつゝある物をも壞してしまう虞れがある、萬一そんなことがあつた場合はお互ひの損失だから新聞などでも餘り書き立てられることは困る、八田滿鐵副總裁ともこの點についてお約束してあるから

と堅く口を緘して語らず、同十時滿鐵側各關係者と會談すべく滿鐵差廻しの自動車大十二號に乘り記者の問ひを避けるが如く何れへか向つた【寫眞は沼田參謀】

國策會議の結果は豫算には關聯せぬ

齋藤首相の時局談

【金澤二十八日發國通】齋藤首相は北陸地方における陸軍特別大演習陪觀を了つたので歸京の途、金澤、新潟兩市を視察のため二十七日午後福井發金澤に赴き永井拓相と同車、七尾港視察の三土鐵相等と同日午後五時七分金澤着、直に二十八日は市內並びに工業試驗所等を巡覽の上午前十一時三分同地發、新潟へ向ひ二十九日夜或は三十日朝歸京する豫定であるが、金澤の宿舍に落着いた首相は「今度は幸ひ持病のリウマチスも出なかつた」と至極元氣で次の如く時局談を試みた

東京に歸ると間もなく豫算閣議が開かれる筈だが、大藏省の方で豫算の印刷が手間取るさうだから少し遲れるだらう、今日新聞を見たばかりだが來年度豫算の大藏省查定は二十億五千萬圓になつたとの事であるが、大體その程度であらうと自分も豫想して居た

五相會議 はあれで終つた譯であるが、この會議以前に各省の豫算は決つて居たのだから別に來年度豫算にこの結果が直接關聯するやうな事はないものと思ふ、五相會議は先般藏相が葉山の靜養から歸られてその際の希望により開かれたもので豫算編成後では議會準備があるので忙しいから裁定前にしようと何の話で開かれたものだ、世間ではか大した事でもやつて居る樣に騷いだやうだがそれ程の事ではない、內政問題については主として主務省の意見を聞くため關係閣僚と會つて話をする積りであるが、これとても別に來年度豫算に直接影響もあるまい、只議會前までには是非とも話を纏めて一段落として置きたいつもりだ、これも如何なる方法で如何なる順序でといふ風に多角的に準備して居る譯ではない、只自分はぶつかつて行くつもりだ

農村問題 內務省關係の問題等がまた議せられる事と思ふがこれは矢張り大藏大臣に立會つて貰はねばなるまい、人心の安定策についても人々によつて心配の度も違ふからよく話し合つて決めねばならぬ、獨斷で決めてはならない、內政問題は自分としては豫算とは關係なく議會開會前まで續けて行きたいと思つて居り、議會に臨んでも閣問に話が頓珍漢にならぬやうにしたいと思つてゐる、國防については現下の國際情勢上相當な事はせねばならぬが、それをやるにしても如何なる財源で如何なる順序でやるかは藏相の財政計畫の基礎からおして割出されねばならぬ

借金のみ 殖やして行つても國民は安心して居られないであらう、增稅は藏相としては九年度からはやつても効果がないといつて居る以上これを覆へす理由がなければそれに從ふ外ない

山海關特務機關長近く赴任

【錦州特電二十八日發】關東軍では平田第〇〇團の錦州移駐後山海關に特務機關を設置すべく人選中であつたが、今回承德特務機關松室騎兵大佐に決定、氏は十一月中旬承德を引揚げ任地に赴くことになつた

松室大佐はかつてわが北支作戰の時飛行機にてある重要任務に從事中不幸匪賊の射擊を受け不時着陸と同時に匪賊のため拉致され、一時は生死の程も氣遣はれた程であつたが豪膽よく敵匪を說きこれを滿洲國に歸順せしめたといふ記錄を有する複雜極まりなき關東地區を控へて氏の山海關駐在は適材適所といふべくその就任に多大の期待をかけられてゐる

豫算閣議終了後政民總裁と會見

首相諒解を求めん

【金澤二十八日發國通】齋藤首相は廿七日記者團との會見において東京に歸つてから豫算閣議でも終了すれば民、政黨兩總裁を訪問して政黨聯合に關する種々の問題について意見の交換を行つてみたい、若し自分が訪問出來ねば兩黨出身閣僚を通じてもよく懇合してみたいと思つてゐると言明してゐる事實に徵しても、齋藤首相は豫算閣議で大體の豫算の綱要だけでも決定すれば鈴木政友會總裁、若槻民政黨總裁と會見し政府の來議會に臨む決意と、提案すべき豫算の大綱とを說明諒解を求めると同時に、政黨聯合問題についても詳細說明を受け重要懇談を遂げることゝならう

蛇角

圓盤投げのレコードホルダーが殺人高飛びのレコードホルダーとなつた。

◇

死體隱匿廿日間、未發見の記錄沙河口署に續き奉天署も保持。

◇

國際都市の飛んだ犯罪競爭。

◇

指名犯人は滿鐵社員、犯罪の陰にダンサーあり、女給あり。

◇

滿鐵社員ならお嫁にやろかが、お嫁にやれぬ、になりさう。

◇

昨日は腹切り男、今日は咽喉切り男、々世は澆季。

◇

秋の灯や翼破れし蛾のもがき。

人事

▲高橋勇氏（新聞聯合大連支局長）廿八日入港しあさる丸にて歸連
▲清水仁三郎氏（帝都防空協會理事）同上來連
▲電々會社視察團一行一五一名二十八日午前六時二十分着列車にて來連
▲三浦貞三氏（大石橋警察署長）同上
▲寺田良之助氏（營口警察署長）同日午前七時着列車にて來連
▲竹中政一氏（滿鐵理事）同日午前七時四十分着列車にて來連
▲沼田多稼藏中佐（關東軍參謀）同上
▲清水本之助氏（關東廳土木課長）同上
▲蜂谷輝雄氏（奉天總領事）同上
▲山口十助氏（滿鐵鐵道部營業課長）同午前九時發はとにて北行
▲古川達四郎氏（北鮮鐵道管理局次長）同上

あめりか丸 二十九日午前七時廿分大連港外着豫定

うらる丸の船客

【門司特電二十八日發】三十日大連入港のうらる丸船客主なる諸氏
九大教授井上克己、關東廳檢察官池內眞清、騎兵大佐坂本健吉、獸醫中佐小笠原長淳、砲兵少佐園田晟之助、臺灣總督府殖產局野村幸助、滿鐵社員柴田直光、神戶ビルウインクレル商會綱所好文、牧良治、合田四郎、土肥顯、間四郎、古山一之助、後藤久夫、高橋正勇、北川好

大使館警務課年內に實現

【新京電話】滿洲における警備機構の充實監督の單一化を圖るため從來諸種の方法が研究されてゐたが、今回新に大使館に警務課を新設し北滿警備機關の單一化を圖ることになり、今年中に實現する運びになつた、滿洲の警備地域を南北二區に分ち、南滿は關東廳、北滿は領事館警察署をもつて治安の確保に當り、領事館警察署は悉くこれを大使館警務課の手に統一指揮監督を受けることになる譯で、その成果は期待されてゐる

長官歡迎會

菱刈關東長官は二十七日午前十時關東廳に登廳、各課よりの報告を熱心に見た後、午後二時歸館したが當日は別にこれと云ふ訪問者もなかつた、なほ安藤、枝原兩司令官、伴民政署長、米岡市長、潘公議會長發起人となり、三十日午後五時から昭和園において菱刈長官歡迎宴會を開催する事となつた、會費一圓五十錢申込は市庶務へ二十九日正午迄

在旅部隊檢閱

滯旅中の菱刈軍司令官は二十八日午前九時より草場第一課長以下を從へて旅順要塞司令部旅順重砲兵大隊の檢閱を行ひ十時半警察官招魂祭に列席し次で旅順衛戍病院の檢閱を行つた

東天紅（235）

田中純　林一三畫

轉向（二）

かうした凡ての光景を、相良はじつと眺めてゐた。

それは、相良にしても、決して初めて見る光景ではなかつた。それは、その頃の日本では、全國津々浦々に、毎日のやうに繰り返されて居る平凡な、しかしまた涙ぐましい軍國風景の一つに違ひなかつた。

しかし、その勇ましい、しかしまた悲壯な光景を見て居るうちに、何故ともなく、相良の目に、涙が浮んで來た。相良は、自分ながらこれは可笑しいぞと思つた。[illegible]間の外國漂泊に、祖國の[illegible]き忘れて來た彼に取つて、[illegible]ことは、かつてないことだ[illegible]らである。

突然、ピイと汽笛が鳴[illegible]再びプラットフォームの方[illegible]歲の聲が起つた。

「バンザーイ、バンザーイ[illegible]

それは、列車の轣轆の音を壓倒して、幾度か繰返されて、彼の耳を打つた。

その瞬間に、相良は急に、ぶる／＼ッと身ぶるひした。同時に、彼は「さうだ、祖國だ！」と呟いた。

「祖國を措いて、何處に本當の愛があるのだ。祖國の愛がないところに、何處に本當の幸福と自由とがあるのだ！」

呟くと共に、彼は、亢然と頭を上げて、停車場の外に歩き出した。何處へ行くのか？——彼自身にも解らなかつた。ただ、彼は、もう一度新らしく、何かの職業を搜し出さなければならないことだけを、はつきりと意識してゐた。

しかし、相良の足が、かうしてぶら／＼と、停車場の外へ二三歩踏み出した時だつた。折から、すさまじい地響きを立てゝプラットフォームに着いた下り列車の中から飛び出して、あわたゞしい足取りで、階段を驅け降り、改札口をすり拔けて、つか／＼と自動車の客待ち場に歩いて行く女があつた。

女はよつぽど急いで居ると見えて、運轉手が扉をあけるのも待たないで、自分で扉をあけて乘り込み、早口に

「神田さんへ行つてお呉れ」と、命じた。

「材木座の神田さんでございますか」

運轉手が訊き返した。

「さう。大急ぎで行つてお呉れ」

[illegible]すぐに動き出した。そして[illegible]に、神田家の玄關に着いた[illegible]吸はれるやうに、神田家の[illegible]て行つた。と、丁度、玄關[illegible]、海岸へ散步に行かうとして來た文子と、玄關の扉の[illegible]はつたりと會つた。

「鮎子さん！どうなすつた[illegible]そんなにせか／＼と呼吸を切らせて」

女を見ると、文子が先づ、驚いたやうに聲をかけた。

が、鮎子には、その挨拶は、耳にも入らないらしかつた。

「それよりも、相良さんが、こちらに來て居るのぢやない？」

「相良さん？いいえ、あれつ切りこちらにはゐらつしやいませんよ。私たちも、隨分骨折つて、搜して居るのだけれど……」

「それは本當？」と、鮎子が訊いた。

「まア、どうして私たちが噓をいふ必要があるでせう」

「しかし、本當だとすると變だわねえ。わたし、確に、相良さんの姿を鎌倉で見たと言ふ人があつたので、急いでやつて來たのだけれど……」

「まア鎌倉に？」

文子もさう言つて、不審さうに鮎子の顏を見た。

奉天のラヂオ商殺し
廿三日出帆天津丸で天津へ犯人高飛
奉天署から丸茂追跡

去る七日以來謎の失踪を續けてゐた奉天浪速通七ラヂオ商門永洋行主門永三藏(四五)氏の行方は懸賞金一千圓の鳴物入りで捜査中俄然二十七日午後二時半ごろ淀町一番地奉天鐵路總局電信方丸茂保之(二七)方の天井裏から無殘な死體となつて現はれ、秋の犯罪戰線に一大センセイションを捲き起した、奉天署では丸茂保之を指名犯人とし彼の足取りを洗つた結果去る二十三日朝大連へ高飛びしてゐる事實が判明、奉天署司法係松尾伍郎警部補、手島政重刑事は二十八日朝特急で來連大連署に捜査本部を置き種々捜査に關する打合せを行ひ同署司法係員應援の下に大捜査網を張つた

これより先二十七日夕刻奉天署より手配を受けた大連署では俄然緊張し國武司法主任以下徹宵で全市に亘り犯人丸茂に就き捜査したが遂に空しく發見するに至らず

市内潜伏説は疑問視されてゐた矢先、二十八日午前十時に至り犯人は二十三日出帆の天津丸で天津へ高飛びしてゐる事實が突き止められ捜査本部は色めき立ち直に天津日本領事館警察宛に逮捕方を打電奉天署の松尾警部補、手島刑事兩氏は今明日中に天津へ急行することゝなり獵奇の舞臺は國際都市天津へ展開された【寫眞は大連署の捜査本部で協議する奉天署員】

"吉野道夫"と僞名 一等客で乘船
天津丸の調査で確定

指名犯人丸茂は何處に行つたか市内各署全能力をあげての捜査も空しく杳として手懸りなく焦躁のうちに刑事隊は目星しい友人宅、立寄先、ダンスホール等々血眼になつて捜し廻つてゐるが廿八日水上署刑事の頭に同人が曾て天津に居つたと云ふヒントを得たので俄然行先は天津と直に捜査圏内を狹めて早朝より大連汽船船客係、ジャパンツーリストビウロー、永和公司等を調べた揚句去る廿三日午後三時出帆天津航路天津丸にて吉野道夫(二五)と僞名一等船客として乘船した事が確認されたので雀躍した同署員は直に乘船切符を賣渡した伊勢町のツーリストビウローにつき調査したところ大體丸茂の外貌と酷似してゐるので、圖星とばかり同署谷本刑事は奉天手島刑事大連署庄司部長、吉岡刑事等と共に折柄二十七日入港第廿番バースに繫留中の天津丸に急行、同船につき種々調査の結果いよ〱丸茂であると見極めがついたので一應捜査本部に當てた大連署に引揚げたが、直にその旨天津總領事館警察に手配するところあつた

金が無いと安い宿を教はる
偶然、岡選手と同船

天津丸で天津に向つたと確證を握つた刑事隊は同船につき石橋事務長、松島司厨長當時係ボーイとして天津上陸後のホテルを敎へたと云はれる栗原給仕等につき手配寫眞を引合せ種々取調べを行つたところ、二十三日大連出帆の同船に一等船客として二號室に一人旅を行つた吉野といふ青年が手配寫眞に酷似してゐる事を肯定したのでいよ〱犯人は天津と確定したものだが同船では偶然か百メートルのランニング選手岡健次君も三等船客として同船してゐる事を發見した、係りボーイの栗原君に當日の模樣を尋ねると

たしかにあの人です、背の高いスマートなところがありましたよたつた一人旅でどちらかと云ふと默々としてゐました、灰色の長いロングコートを着て小さいスーツケースと手廻品を入れたハンドバッグの僅かな荷物で廿三日出帆まで豫約の無かつた二號室にフラリと入つたものでその時の記憶ではたしか洋服はプレサーコートとか云ふオリンピックの選手がアメリカへ着て行つた樣な縁取りの上衣を穿てゐました、一度ケビンに尋ねると、所持金が少いので天津へ向つたら極く經濟的にやらうと思ふが何處か好い安直な旅館は無いかと云ふ事でしたので、自分は日本租界の旭街と宮島街の角の天津飯店が安いでせうと紙に書いて敎へてあげました、しかし塘沽に着いた時はたしか芙蓉館のボーターがあの人の荷物を持つて行くのをチラリと見掛けました、尙たしか一度丈サロンでお茶を注文してどなたか船客の人と色々話をして居られましたがたしかそのお客は三等の人だつたと記憶します

尙その時一緒に茶をのんだのは岡健次君ではないかと見られる、偶然船中で同船してゐる事が解つたらしく岡君はこの問題とは全然無關係と見られる

債券の賣買から被害者と口論
一說では所持金を狙つた 解けぬ兇行の原因

【奉天電話】門永三藏氏を絞殺した指名犯人丸茂保之に關しては奉天署で全滿鮮支各地に手配し捜査中であるが門永氏と丸茂の關係その他につき門永氏夫人せい子さんは語る

丸茂と主人とは別に深くお交際したことはありません、七日總局に丸茂を訪れた時は多分二回目か三回目かと思ふが七日主人は丸茂に對して勸業債券を二枚か三枚か買つて呉れぬかと言つてお金まで支拂ひそこでその印しの判をとることを迫つたやうです、併し丸茂は一向これを聽き入れなかつたやうです

と周圍の情報を綜合すると丸茂と門永氏はこの兇をさらうと七日總局の退けた後丸茂の宿舍たる淀町一番地皎寮の一階十三號室を訪れ捺印を迫つたが丸茂は頑として應ぜず口論となり遂にかうした結果となつたのではないかと言はれてゐる、また一說には丸茂は當時門永氏が所持してゐた鞄にはなほ多額の金が在中したるものと見て右兇行を演じたものではないかとも見られてゐる、なほせい子さんは

未だこれからの方針については考へてゐませんいろ〱後を片付けて何とか考へようと思つてゐます、と語つてゐる

ピストルを所持して
手には繃帶

犯人丸茂は鐵路總局の用務を帶びて屢々奧地に出張してゐた關係で常に護身用拳銃を携帶してをり、今回逃走に際しても拳銃を所持してゐることが判明したので、捜査當局ではピストル自殺を遂げる恐れありと憂慮してゐる、なほ犯人は兇行の際被害者と格鬪しその時右手を負傷し繃帶を卷いてゐるので唯一の目印として天津へ手配してゐる

死體を解剖

【奉天電話】二十七日淀町にて發見された門永三藏氏は二十八日朝醫大において奉天署員立會の下に死體解剖に附したなほ同氏の葬儀は二十九日午後三時執行の筈

指紋により眞犯人と斷定
鞄と丸茂の所持品で

丸茂保之を眞犯人とするまでには奉天署の血の滲むが如き苦心が拂はれた、即ち被害者門永氏の死體は丸茂方天井裏から發見されたといへ、兇行當日の行動を調べたところ、門永氏と丸茂は同日午後二時ごろ丸茂方で同人と會見し債券賣買の書類に門永氏が丸茂より捺印を受けたといふ重大ヒントを二十七日午後奉天署刑事が突き止めその場で丸茂が門永氏を絞殺したものに違ひないといふ推定の下に俄然活動が開始された

然るに別の情報として兇行當日午後三時ごろ門永氏友人が會つてゐるといふ事實とそれから三十分後に門永氏が浪速通りを城内に向ふ人力車で疾走してゐたといふ事實が門永氏の友人奉天小學校敎師某氏の證言によつて明かとなつた、これによつて午後二時ごろ兩名が會見した際殺したといふ推定は根本的に覆されたので、別個の證據によつて犯人を突き止めるべく第二段の捜査に入つた結果

加茂川町明星ダンスホールのダンサー金子滿枝の許に二十六日發信と丸茂の自筆で認めた手紙が舞込んでゐた事實、この手紙の消印は大連局消印で二十二日となつてなり、二日間の日數を誤魔化さんとするトリックが潛んでゐるのを奉天署で觀破し、丸茂に對する疑惑はます〱深められてゐた矢先兇行現場に監禁られてあつた被害者の新らしい鞄に殘されてゐた指紋と丸茂の所持品から點出した指紋とがピッタリと一致するに至り科學の力は遂に丸茂を眞犯人とする斷定を下したものである

最初から丸茂を怪しいと睨んだ
奉天署松尾警部補談

二十八日早朝大連署に詰めかけ國武大連署司法主任らと捜査上の重要打合せを遂げた奉天署松尾警部補は語る

犯人丸茂を奉天署が一度拘引し嫌疑薄で放還したといふ誤報が傳へられてゐるが全く事實無根で奉天署としては迷惑千萬である、事件が事件だけに社會的反響も大きいことであるから奉天署としては正式手續きを取つて記事取消を申込む考へである、今回の事件は被害者門永が行方不明となつた當日の七日午後二時ごろ丸茂保之と會見した事實があるといふので當署では擬れてから丸茂が秘密の鍵を握つてゐると見當をつけ、被害者の家族に就いて調べたところ、被害者側では「丸茂さんに限つてそんな人ではありません、それは大丈夫です」といふことであつたので、無暗に拘引することも出來ず、依然謎の事件としてゐたところ、二十七日に至り丸茂の家の天井裏から門永の慘死體が現はれ、矢張り犯人は丸茂であつたと殘念に思つた事實があるが、死體發見前まで門永が殺されてゐるといふことは全然判らず、從つて丸茂を殺人嫌疑者として拘引しやうがないではないか、犯人は非常に不品行な男で、ダンサー、女給など數名の情婦があり、犯人の足取りを調査するには非常に苦心したが、二十二日夜奉天を單身出發してゐることは確實である、天津方面へ逃げたといふことも事實らしいので天津へ急行すか否かに就いて、目下旅順に來てゐる奉天署長の指示を仰いでゐるところだ

二邦人の釋放
孫が約束

【ハルビン二十七日發國通】匪首孫朝陽逮捕の報に去る八月十一日賓縣に於て孫朝陽匪に拉致された市原茂一氏(三七)及び牧野正氏(四五)の夫人市原エイさんと牧野ハル子さんの二人は夫の身の上を案じ杉浦賓縣參事官に伴はれて賓縣より來哈二十七日午後一時傅家甸日本憲兵隊に出頭して怨恨深き孫朝陽に面會を求めた、孫朝陽は今は前非を悔い

何とも申譯がありません、直に私から部下へ御主人達を釋放するやう、手紙を書きませう

と兩夫人の面前で市原、牧野兩氏の釋放を約した

犯人丸茂を語る
金に詰つて持物もなかつた
勤め先電信科で語る

【奉天電話】丸茂保之が勤務してゐた鐵路總局電信科佐田主任は語る

丸茂君は大阪市南區八幡町出身で昭和二年滿鐵に入社し埠頭入船驛電信係に勤務し三年八月總局に轉勤して來たのですがつい最近電信係より無電の方に替り古い方です、現在は監督といふやうな形で私の方にも毎朝聯絡に來てなりましたが、二十二日までは何等變つたやうなこともなく平氣で電信科の方に聯絡に來てゐました、門永氏は電信科にも二三回來られたことはありますが當所とは何等取引上には關係なくどうして丸茂君と知り合になつたかは知りません、二十二日以來缺勤となつてなり不審に思つてゐる矢先、こんなことができて總局でも驚いてゐる次第です、仕事の方も相當できる方で一人で仕事を委して置けば責任をもつてやるが連れがあるとどうもサボつてゐたやうで事變當時は無電係として活躍したものです、最近はダンスに凝つてゐたやうで二十五日ダンサーから來た手紙で今度の事件が分つたといふことを初めて聽きましたが相當金には困つてゐたやうで持物等は殆どなくなつてゐたやうです

なほ鐵路總局では右事件發覺と同時に二十八日附で丸茂に對し懲戒免職とした

毎夜更けて歸る
宿舍生活から見た彼

【奉天電話】丸茂の宿舍皎寮の賄係本田仙次郎氏は語る

丸茂は僅か本年の八月鐵路總局に轉勤となつてから來たやうで體格が良くて運動家を想はせましたが皎寮に來てから間もなく總局が濟むとすつと歸つて來て夕方まで寢轉び夜食を濟ませて一人で出て行きました、さうして夜半の一時二時頃歸つて來るのが毎夜のことでボーイも玄關を閉めるのに持て餘してゐたやうで十六日までは日常と變りなく總局へ勤めてゐたやうで何夜大連に行つて來るといつて出ました、それから四日後に歸つて來て二十二日となつて丸茂の手紙が來ましたから渡さうと思つて持つて行くともうその姿は見えませんでした、室はすつかり空いて無斷で行つて了つたのです、斯樣に晝は勤務で家に居らず夜は深更まで外に出てゐたので丸茂と話をするやうなことはありませんでした

金など借り放し
埠頭事務所庶務主任語る

犯人丸茂保之が永らく勤務してゐた埠頭事務所に同人の經歷その他素性を尋ねると、藤津庶務主任は經歷カードを見ながら語る

丸茂君は原籍愛媛縣新居郡西條町でたしか昭和二年十一月大連鐵道事務所から埠頭に轉じたもので電信方面の仕事をしてゐた大正十二年に大阪遞信講習所を出て電信方面では非常に明るい男で昭和七年十月入船驛勤務となつてこの八月十五日附で鐵路總局に轉出したものである、この間兵隊に行つて工兵上等兵だと思ふ、その當時電信隊附として天津に駐屯したとか云ふ話で天津の方は明るいと思ふ、そんなわけで、事變後は出張又出張で大連に居つた期間は殆どなかつたと思ふ、同人の性質については面識が無いので判然とはしないが人の話では頗る器用な男であるが一面ルーズなところもあり、埠頭方面でも金など借りばなしにして總局に移つたと云ふ樣な事を聞いてゐる

犯人丸茂保之の船中乘船簿

Form No. 480

S.S." 天津 MARU."

Name, in Full	姓名	吉野道夫
Age	年齡	
Nationality	國籍	
Occupation	職業	
Where now Resides	現住所	
Final Destination after landing	上陸後ノ行先地	

Please fill up each item of above and return to the Purser

上記御記入ノ上事務長ヘ御返附被下度候

選手は團結自省
滿洲陸聯關係で協議

丸茂保之選手の犯罪事件は俄然滿洲の陸上競技界にセンセーションをまき起したが滿洲陸聯關係者は何れもいま神宮で滿洲を代表して働いてゐる選手達のことを思ふと氣の毒だと遠征選手が浴びるであらう非難を氣遣つてゐる、かくて二十八日の滿鐵地方部體育係の部屋には各方面から問合せの電話がかゝつて來るが陸聯關係者は何れもこの際登錄選手の團結をはかり共に自省してかくのごとき不祥事を絕すことのないやう相戒め健全なスポーツマンの向上を期する

ここに意見の一致を見、一兩日中に取敢ず大連アスレチッククラブの幹部は一堂に會し具體的方法を講ずることゝなつた

踊子の見た犯人
ダンスは上手で優しい人

【奉天電話】丸茂が毎夜の如く訪れジャズと共に亂舞してゐた加茂町明星ダンスホールを訪ふと同僚のダンサーは吃驚した面持ちで語る

あの丸茂さんが?あの方は本年二月頃から毎晩のやうにやつて來て踊つてゐました、丈は高く色黑く痩形でスラリとして無口のおとなしい一見朝鮮人みたいな人です、よく滿枝さんとも踊つてゐましたが私どもとも度々踊つたことがありよく知つてゐます、ダンスが好きなだけ餘程上手でした、私が冷かしてやつてもはにかむやうなやさしい方でありましたが、あの方がこんな大罪を犯すとは全く意外です二十四日丸茂さんから長い手紙が來て滿枝さんもこれを讀んで何か憂ひ顏をしてゐましたがその手紙には丸茂さんは最近何か非常な衝動を受けたものか急に世の中がいやになり死にたいといふやうな意味で滿枝さんもそれ以來陰鬱になつてゐたやうであります

なほ金子滿枝は二十七日午後二時頃奉天署に召喚され取調べを受け一旦歸宅したが同四時頃再び召喚されてゐる

また血まみれ男
自殺未遂の船員保護

二十八日午前九時二十分頃眞金町警官派出所前を血潰のついた帽子を冠つた男が悄然と歩いて來るので係官が不審がつて呼び止めて見ると何も喋らず咽喉を指すので見ると全身血にまみれてなり驚いて本署に通報、中澤司法主任現場に出張し取敢ず赤十字病院に入院加療したが、氣管を剃刀でたち切つてゐるので口答が出來ず鉛筆を與へた所

原籍鹿兒島縣鹿兒島市西田町四十五番地山下武彥(三三)大阪商船うすりい丸機關部油差しと判明したが原因に就いては鉛筆にて「酒を飲み、頭が興奮、金のため、借金」と書き、遺書等も全然ないが二十七日發うすりい丸に乘りおくれ飲酒して自殺せんとしたものでないかと見られてゐる

海軍側判決
來月九日言渡し

【東京二十八日發國通】五・一五事件海軍公判、判決言渡は十一月九日午前九時開廷と決し本日軍法會議より發表された

印刷業組合表彰式

大連印刷業組合では來る十一月三日(明治節)午前十一時より商工會議所講堂に於て第九回組合員從業者五年以上勤續者の表彰式を行ふと

伏水會追悼會

南滿洲工業專門學校同窓會の伏水會では、三十日午後四時半より市内天神町常安寺に於て、物故會員の追悼會を執行するが、在連會員及び遺族の參列を希望すると

產金調査隊の第二三班歸る

【ハルビン特電二十七日發】北滿產金調査隊の第二班安部班、第三班岡本班は何れも多大の收穫を得て二十六日ハルビンに歸還した、先に歸還した第一班の調査と合せて北滿の產金狀態が判明するにいたつたが來年春から一部の採金事業が開始される模樣である

天氣予報

(二十九日) 北西の風(晴)一時曇

滿潮(午前六時四五分 午後七時三〇分)

干潮(午前零時〇五分 午後一時〇〇分)

(廿八日午前十一時)

大連 一〇 奉天 六 旅順 一一 新京 四 營口 八 新義州 一二

けふの小洋相場(十一時半) 金百圓に付 一二五圓一錢

善鬼惡鬼（242）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

惡鬼自滅（二）

「おはまどの、これはどうした事ぢや」

五郎兵衞は おはまにつめ寄つた。

生きてゐる間は、艶の末かと思ふほど、俤の艶かつた樂齋だが、今、むごたらしい死にざまを、目のあたりに見せられては、還兄弟の血である。

「まアお待ちなさい。私が手傳つて殺させた樂齋です。現在女房の手で、良人を殺させるには、殺させるわけがある」

おはまは涙一滴こぼさない。

「どんなわけがあるか知られえが………」

そばに來合せた長吉も、青くなつておはまに詰め寄つた。

おはまは少しも驚かない。

「まアお聞きなさいふに、今私が話してやる、わけさいふのをお聞きだつたら、お前たちは手を合せて私を拜むかも知れない」

樂齋をはなれたおはまは、おこのをそばへ連れて行つて、どつしりと坐つた。

「もし五郎さん、お前、この子の親さいふのを知つておいででせうれ」

「日本駄の八五郎だ」

「八五郎の親父の名を御存じですか」

「四方八右衞門さかいふ惡者ださうな」

「惡者でも何でも、つまりこの子のぢぢいに當る人でございますれ」

「拙者ども兄弟の父、樂齋に殺された男ださいふ事、今更、あらひ立てせずさ判つてゐる」

「あらひ立てするわけではない。おこのが樂齋どのを殺したのが、ぢぢの讐討だと思はれるさいけないから、わざ〳〵それを確めておいたのです」

「ぢゝの讐討でなくて何だと仰しやるのです」

「お前たち夫婦を、安心させる爲に、おこのは樂齋を殺しました。そして私はそれを助けたのです」

「ヘン、お爲めごかしも大概にしなさいまし。そんな出放題は……の長吉が通しませんよだ」

長吉はムカッ腹を立てゝつゝかかつた。

「おい長吉、お前などの知つた事ではない。すつこんでおいで。——もし五郎さん。私の云つてる事がお判りかえ」

「長吉、おはまどのの云ひ分、聞くだけ聞かう」

五郎兵衞はむづかしい顏をしてゐた。

「ほほほ、讐討だとばかり、思ひ込んでゐるお前さんたちから見たら、私のいふ事が、出たら目にも聞こえるだらうが、讐討ではさら〳〵ありません、その證據には、樂齋どのを覗ふくらゐなら、同じ兄弟のお前も一緒にねらふ筈だ。ねえおぎんさん、お前などは胸におぼえがある筈。御自分で手引をして、五郎兵衞どのをおこのゝ手にかけさしてやるさ、お言ひなすつたことがあるさうだ。それはこの子のおもひちがひであつたか知ら」

おはまのいひ廻しは随分皮肉だつた。

おぎんは苦しさうにうなだれて默つてばかりゐる。

「もし、おはまさん、それほど立派に仰しやるなら、こちらの御夫婦の爲めに、樂齋さんを殺さした〳〵仰しやる、そのいはれをはつきりお云ひなせえ」

長吉が、つめよつた。

「云ひますさも、聞いてびつくりしないが好いよ」

「へん、だれが、そんな屁理窟におどかされるものか」

「もし、おぎんさん」

「はい」

「お前さんの事だから、いづれ五郎兵衞さんには隱しておいでだらうが、この壁の切穴のいはれ、それをお前は知つておいでだらうれえ」

おぎんは怖ろしいものを見るやうに、壁の方をちらりと見た。

「これは樂齋どのが、お前さんのところへ通つて來る爲めに、自分で切つた戀のぬけ路だつたれ。さ

與太者と海水浴　—中央映書館—

蒲田名物の與太者映畫、野村浩將監督與太者トリオ磯野、三井、阿部のコムビによる海水浴場を背景とした若者の感激を描いた佳作品

磯野が果物屋、三井が寫眞屋、阿部が魚店で三人が共同で海水浴場に賣店を開く、そこに登場して來るのが別莊のお嬢さん澄子（井上雪子）三太夫の黒川（小林十九二）不良青年紳士村田（日守新一）それに磯野の妹君江（光川京子）

先づ何よりも與太者トリオ三人の持味をそれ〴〵生かした演出が面白い、場面では海底が思ひつきでよく笑はしてゐる、俳優さしては小林十九二の三太夫が上手い、その他久し振りで井上雪子が活躍してゐる

全篇が如何にも與太者映畫らしく且つ若者の感激も巧みに扱はれてゐるし、與太者映畫のうちでも面白い作品である

パテー廿米コンテスト募集

全滿パテー材料店主催滿洲パテー聯盟滿洲寫壇後援で左の規定で第一回パテーベビー二十米コンテストを懸賞募集中で入賞發表は十一月末である

一、課題　自由
一、長サ　二十米（但し新作品の事）
一、タイトル　無し
一、締切　昭和八年十一月十日

うわさ話

大檢の大連舞踏場常任理事として澤の井の宇都宮氏が就任▲今後舞踏場の營業方面を專任擔當して大いに飛躍するさ▲大連でお馴染の櫛木龜二郎氏が十五年振りで歸朝さ稱し華々しく東京の舞踊界に乘出し去る二十六日夜青山會館で第一回公演▲正ちやんが久志濱沙子さ改名して歌手の平井美奈子、羽衣歌子、黒田謙氏らの贊助出演で紹介されてゐる▲新興キネマに入社した月形龍之介は溝口監督の「神風連」に出演、入江たか子さ顏を合せる▲また白井撮影所長はトーキー監督として曾我廼家五郎に白羽の矢を立て近く交渉を

滿洲日報 (日刊) 朝夕刊共十二頁
明治卅八年十二月五日 第三種郵便物認可
昭和八年十月二十九日 (日曜日) 滿洲日報 第九千八百九十二號 (一)
定價 一ヶ月 [illegible]
發行人 鈴木[illegible] 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武監
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

政府内部不統一から林主席も辭職說

國府内部動搖益々擴大

【上海特電二十八日發】宋子文氏の辭職は愈々確定的となつたが、一方國民政府主席林森氏の辭職說あり、動搖は益々擴大しつゝある、即ち墓參のため歸鄕せる林主席は十九路軍の横暴のため福建商民から詰問請願攻めに遭ひ、政府内部不統一の結果、到底國内整理統一は不可能と見て辭意を固め、南京に歸任の上辭表を提出するものと見られてゐる

宋子文氏辭表提出

今後適當の時期に復活

【上海特電二十八日發】財政部長宋子文氏は二十七日辭表を提出したので政府及び財界方面より極力慰留につとめてゐる、右宋氏の辭職は共產軍討伐費たる鹽稅庫券一億二千萬元を浙江財閥に無理押しに引受けさせんとする魂膽によるものらしく、一時孔祥熙氏が財政部長に就任し、今後適當の機會をみて再び宋氏が復職するものとみられてゐる(寫眞は宋氏)

辭職原因

【上海特電二十七日發】宋財政部長の辭職は確定的となつた、辭職の理由は對日政策といふも主として財政難で蔣介石氏よりの軍費追究と浙江財閥が最近の不況から金を出し惜むために板挾みとなり殊に北支那財政援助諒解に基く月額二百萬元も實行不能に陷りためにその立場に窮したものとみられる、政府及び財界は極力慰留し蔣介石氏夫人は蔣宋兩氏の間に調停に奔走してゐる

滿鐵改造問題

外部案を檢討の後獨自の案を作成

滿鐵社員會特別委員の任務

第十回評議員會の決議により社員會の滿鐵改造問題に關する活動は一切特別委員會に一任されたので自然内外の注目は右委員會に注がれるに至つた、しかして同委員會の人的構成も幹事一任となつたので常任幹事を中心として委員の選定に着手することになつたが、取敢ず本部役員をもつてこれに充てその他は臨時役員外の適任者を選んで依賴する方針である、又委員會の最大の任務は社員會獨自案の作成であるが、改造問題の眞相がなほ明瞭でないので、當分情報の蒐集につとめ、外部で作成される改造案が適當なりや否やの實質的檢討を行ひ、又適時滿鐵重役團や外部に對し意思表示をなす等活潑な活動をなす筈である

社員會評議員會

提出議案審議の成績

第十回滿鐵社員會評議員會第二日目は二十八日午前十時から協和會館で開かれたが、提出議題のうち議了されたもの、結果は左の如くである

一、社員の人材登用に關し會社へ請願の件(可決)
一、職名變更方會社へ請願の件(撤回)
一、事務員、技術員なる資格を職員に還元方へ促進を會社へ要望の件(口頭を以て會社當局へ幹事から請願する事となり撤回)
一、在新京婦人社員の優遇方考慮せらるゝ樣會社へ要望の件(一時議場混亂となつたが撤回)
一、修繕方、煖房方にして制服貸與せられざる者に對し貸與方會社に請願の件(否決)
一、大連の中等學校在學中の沿線社員子弟の爲寄宿舍設置方會社に要望の件(目下請願中につき撤回)
一、中間驛居住者生活施設改善方會社へ請願の件(可決)
一、社線外居住社員家族が病氣にて他地方へ治療に赴く場合社外線「バス」を發行するか又は共濟會にて汽車賃を支給せらるゝやう會社へ要望の件(本部一任)
一、家庭淨化運動の實現に關する件(沿線側は贊成であつたが撤回)

鞍山製鐵所員に訣別の辭

滿鐵社員會評議員會第二日二十八日午後は、午前中の改造問題の緊張の後を受けて和かな空氣の中に午後一時四十分再開議事に入り

一、新京消費組合支部擴張されたき件(新京聯合會)—本部一任
一、五龍背に社員簡易宿泊所を設置方考慮されたき件(安東聯合會)—本部一任
一、殉職社員以外の一般死亡社員に對する追悼法要執行の件(鞍山聯合會)—否決
一、整骨師の診療を受けたる場合共濟會の醫療給附に關する件(撫順聯合會)—可決

と波瀾なく全議題を議了した、ついで伊藤幹事長は別項のごとき鞍山製鐵所員に對する訣別の辭を朗讀すれば滿場拍手をもつて可決、滿鐵會社および社員會の萬歲を三唱して午後二時五十分社員會創始以來の緊張ぶりを見せた第十回評議員會の幕を閉ぢた

訣別辭

我等はさきに、昭和製鋼所の設立により、滿鐵社員會鞍山聯合會中、九百七十五の僚友と訣別しました

さきの評議員會に席を並べた同志を今日この席に見出し得ないことはまことに愛惜の情に堪へませぬ

されど向後の滿洲經濟界の趨勢を思ひ、製鋼所洋々の前途を望み、偏へに諸兄姉の御健勝を祈りつゝ吾等は敢て友愛の情を忍ばねばなりませぬ

願くば製鋼所におかれても一日も早く友愛團體を結成されて我社員會と舊交に復するの機會を持たれん事を、其の曉には舊來兄弟姉妹の情宜により、一層の親交提携を希望するものであります

茲に滿鐵社員會第十回評議員會の決議により無辭以つて訣別の辭と致します

滿鐵社員會

滿鐵社員會代表軍司令官と會見

滿鐵改造問題に關し

滿鐵改造問題に關する滿鐵社員會の動向は各方面から注目されてゐるが、菱刈關東軍司令官もその成行を憂慮し、この際社員會幹部から本問題につき隔意無い意見を聽くこととなり二十七日夜、鶴見秘書官より電話を以て長官は一日の午後三時から幹部の方と本問題につきお會ひしたいとのことだが

いとのことだが この話があつたので、社員會では快よくこの申出を承諾し同日社員會代表として伊藤幹事長、曾田、阿部、櫻井、落合、渡邊五常任幹事が旅順官邸を訪問することになつた、その會見の結果には社員會は相當大きな期待をかけてをり各方面から注目されてゐる

產業統制策協議

滿鐵改造問題には觸れず 八田副總裁談

沼田參謀と會見後

二十八日午前來連した關東軍參謀沼田中佐は着連直に星ケ浦の副總裁邸に八田副總裁を訪問、中央において討議された日滿產業統制問題、滿鐵改造問題について東京における討議の内容を報告し、重要協議を行つたが、副總裁は同九時より開催される殉職警官慰靈祭に出席する時間が迫つてゐたので會見を三十分にて切上げ赴旅したが午後滿鐵本社において副總裁は沼田中佐と會見を行ひ、午前に引續いて重要協議を行つた、副總裁は午後零時三十分旅順より歸連星ケ浦の邸宅において午前の會見の内容に就いて語る

時間がなかつたので詳しい話を聽くひまはなかつた、沼田中佐と二人切りで會つたのだが、東京において協議された日滿產業統制問題についてその協議の内容を聽いたのだ、滿鐵改造問題なんかには觸れない、強ていふ如く滿鐵改造問題はこの產業統制の根本問題が決した上で考へらるべき問題で、新聞紙上に傳へられるが如き具體的話は全然ない、またこの大問題がさう簡單に決まる筈なく、輕率な事をやらうものなら財界に及ぼす影響は大きいから注意すべきだ、滿鐵社員が評議員會において騒いでゐることは社員會の考へでやつてゐることと放任もしておくだけのことで沼田中佐よりもそれに就ては何の批評もきかない

忠靈塔等に宣言文奉告

二十八日評議員會を終つた滿鐵社員會評議員のうち滿鐵改組案審議の緊急委員會委員一同は引きつゞき座談會を開催、席上

今や滿鐵が重大な危機に遭遇してゐるに際し、この事實を我等同僚殉職の士を祀る殉職社員納骨堂に參拜報告し更に忠靈塔に詣でて奉告祈願しやうではないか

と意見が現はれ、滿場異議なく贊成して、先づ午後四時五十分協和會館裏の納骨堂に參拜した、一行三十三名が靈前に整列するのを待つて伊藤幹事長は力強い口調で二十八日決議の宣言文を朗讀、參拜を終り、次いで一同は靜々と夕闇漸く迫る町を徒歩で中央公園忠靈塔へ向つた、社員會旗を先頭に「滿鐵の歌」を合唱して五時十五分忠靈塔に到着したが、一行の顏は悲壯な決心に極度の緊張を見せてゐた、一同整列、敬禮、宣言文朗讀、總てがさきと同じ順序で嚴肅に執り行はれたが最後に大日本帝國萬歲を三唱して散會した

忠靈塔に宣言文奉告
滿鐵社員會緊急委員會代表は二十八日忠靈塔に參拜宣言文を奉告した

軍事費のみを承認し他の新規要求は削除

大藏當局の査定方針

【東京特電二十八日發】九年度豫算閣議は來月七日頃から開かれるが、大藏當局の査定は各省の要求中軍事費、滿洲事件費の如きものを容認し、文化的經濟的新規要求は一切削除され十四億の新規要求中六億四千萬圓だけ容認する方針を樹てたが、閣僚多數は軍部の主張と同樣、この際は區々たる財政の事務的見地にとらはれることなく非常時施設に要する一切の要求を實現すべしとの主張を有してゐるので、復活要求は猛烈なるものあるべく、結局例の内政の改革問題に關聯して政治的解決に委ねられ財政當局の査定は根本的に蹂躙さるべく、この點において來るべき豫算閣議は前例なき紛糾をみるであらう

時難打開以外に何等考へぬ

鈴木政友總裁語る

【東京二十八日發國通】鈴木政友會總裁は二十九日福島における東北、北海道大會臨席のため二十八日午前九時二十五分上野驛を出發したが車中時局問題について左の如く語つた

我黨の態度は既に決してゐる、僕は齋藤首相に國策を提出した際にもいつてゐる通り苟くも志を同じくするものと共にこの時難打開に努力しやうといつてゐるから、今後もその心持で行きたいと思ふより外何等の考へも持つて居らぬ、大演習後の政局如何のことは自分としては何もいへぬ、ファッショとか色々いふが帝國憲法の下において容れられない政治形式が實現するが如き事は夢想だにもせざるところであり、又誰もがさう考へるところであると思ふから、それについて大旆を立てゝ押進む相手もないぢやないか

佛新首相は親日

對日親善政策强調か

【東京特電二十八日發】パリ二十七日發電によれば、アルベール・サロー氏の新内閣は前閣僚多數を占めその政策は大體從來のものを踏襲するものとみられるが、殊に首相は極東通であつて對日親善政策が强められ、對滿投資問題の如きも一層力を入れるものとみられてゐる

政策踏襲

新内閣聲明

【パリ二十七日發國通】サロー内閣は二十六日深更急進社會黨議員會議に於て外交政策を左の如く聲明した

新内閣は軍縮その他外交政策については前内閣の政策を踏襲し聯盟の機構に基礎を置いた和協政策を執る、隨つてドイツと直接折衝を行はず四國協力條約をも引用しない、但し英國との友好的協商政策を旨とす、財政政策については新に果敢な政策を執り減稅を行はん

軍縮會議

佐藤大使幹部會で陳述

【ジュネーヴ二十六日發國通】本日の軍縮幹部會で幹部會も十一月九日迄休會する案を可決した席上佐藤大使は日本の立場を說明し日本は最近の討議に參加しなかつたがこれは歐洲問題が主であつた爲めだ、然るにドイツの脫退により情勢大に變化したが中心問題は依然歐洲問題だ、歐洲問題を中心とする限り日本は今後とも積極的役割を演じない積りだと述べた

シャムの反亂鎭壓

反軍總帥遁走

【盤谷二十七日發國通】シャムの反亂は二十七日に至り政府軍が反軍の根據地コラト地方を占領した結果、大勢既に決し反軍は夥しい死傷者を殘して北東國境方面に算を亂して潰走中で、さしもの反亂も事實上鎭壓されるに至り、商工業も完全に常態に復した尚反軍總帥ボヴァラジ殿下は飛行機で何れかに遁走した

ドイツ聯盟と完全に緣切り

【ジュネーヴ二十六日發國通】ドイツは國際勞働事務局よりも脫退に決定二十六日正式脫退通告をなした、これでドイツは聯盟の一切の機關と手を切ることゝなつた

我生命線南洋に外人、スパイ暗躍

警察力の充實が緊急必要 林南洋長官語る

【東京特電二十八日發】二十八日歸京せる林南洋長官は語る

わが海の生命線たる南洋諸島を各國のスパイが暗躍してゐる、英、米、獨人等が觀光又は商用と稱し多數入り込み、寫眞を撮つたり各施設を探つてゐる、同島は條約上軍事施設が出來ず、これを取締る南洋廳の警察力も微弱であり、思想問題で日本人も多數逃げ込んでゐる模樣である、目下警察力充實が緊急必要事と思ふ

ドイツ

總選擧近づく

【ケルン二十六日發國通】十一月十二日の總選擧を控へて選擧運動に大童の活動を續けつゝあるヒットラー首相は廿六日ケルンの選擧演說會に臨み一場の演說を行つたが今をときめくヒットラー首相の人氣は素晴らしいもので觀衆は數時間前から地方の住民は相次いで列車で繰込み市内の往來は押すな押すなの雜沓を呈したヒットラー首相は耳も聾せんばかりの歡呼をうけて雄辯を揮ひ

世界はドイツを以て侵略的なりとしてゐるが余は世界に對してその實證を示さん事を要求するものである

と絕叫した

本日夕刊共十六頁

『有資格者』の當り年 登格は二人に一人

正滿鐵マン增す事一千人

それは本當と人事係太鼓判

滿鐵では今回鐵道省その他から多數の社員を採用するに際し各部社員全般的に臨時登格を行ふことに決定し目下各部で立案中であるがそのうち最多數の登格を豫定される鐵道部の査定は大體終了し三十日歸連の土肥總務部人事課長の出社を待ち來月匆々發表を見る豫定である、而して鐵道部では石原庶務課長が本登格に關し極力積極主義を支持し全力を盡して人事課に鐵道部案の通過に努めることになつてゐるが鐵道部が要求する人員は現在の有資格者二千名の半數一千名(車務員、技術員および雇員登格全部を含む)に達する筈で今春の登格數の新記錄(滿鐵創業以來)三百五十名を遙かに突破し約三倍の驚異的記錄を作るもので鐵道部では必ずや本要求は人事課の承認を得るものと非常な意氣込である、右につき沖田鐵道部人事係主任は語る

數は申し上げかねるが相當數に達するだらう、唯有資格者數に疑點が出來たので目下電報で各事務所に問合せ中で一兩日中に纏まらう、人事課が要求通りを聞いてくれるかどうか私には想像し兼ねる

骨拔きとなつた「日英會商聲明」

日本側にとつて成功

【デリー二十七日發國通】日英民間會商に關する共同聲明書でランカシア側と電報で打合せを行つた結果、愈々廿七日午後七時デリーとボンベイの兩地で日英兩紡績業者代表側より一齊に發表された、內容は民間會商の單なる議事に過ぎず、ランカシヤ側に好意を有しないデリーの印度紡業者側は實質的內容なき事を認めて滿足の意を表してゐる、これで英印會商は完了し、期待された日英印の三國會商も遂に行はれず、今後は最早日印民間會商も無いものと見られる、因に右聲明書は全く骨拔の內容だが日本側にとつては成功だといはれてゐる

日英會商の收穫

會商報告書の內容

【デリー二十七日發國通】日英當業者會商の全貌を明らかにする日英民間當業者シムラ、デリー會商報告書は二十七日午後七時イギリス側はボンベイで、日本側はデリーで發表した

一、日英會商はクレアリース氏の陳述書朗讀で開催し英綿業と人絹工業は日本との競爭以上、且つ前例なき事態とし、善處すべき措置必要と認むる旨說明し、イギリスは日本の能率發揮に敬意を表するが、日英多年の親善關係持續に貢獻するやう希望した

一、日本の見解は倉田氏說明し、討議範圍を綿布取引問題に限定すべき旨指定されたる双方の合意により解決點に到達せん事を希望する旨を强調し、日本の輸出の推移を說明し日本の輸出進展は當業者の努力により生じた結果で、イギリス提議の、即ち生活程度、勞働條件、通貨の標準に關して說明し、日本勞働者の生活程度や勞働條件は漸次改善し日本製品の勞銀產出費以外に關すべき費目增大しつゝあると指摘した

一、次いで日本側は印度當業者との討議顛末を說明し、關稅引下を前提として讓步的精神を以て輸出數量討議の意思ありと述べ數量制限は價格を調節せしめ得ると確信すると附言す

一、英代表は問題を全般的に考慮したいと希望すと告げ、基本原則を案出せんとする目的を以て意見を述べたが、シムラにおける日本の權限は印度における綿布取引に限定さるゝことを諒承した

一、更にシムラ會商で到達した點を要約した左の決議を採擇するに一致す

日英代表者會議は兩者各自の權限內で合意の下に競爭問題を調整せんとするものなるに意見一致した、本會商に參加せる代表者は利害關係を有する各國に最も良好な關係を持續せしむる事に貢獻せんと熱望する、若し現下の世界的不況好轉の場合は、健全且つ穩當な競爭の中に各自の發展を期する事を希望す

畏し、聖上陛下

產業教育御視察

福井市と敦賀に行幸

【福井二十八日發國通】福井御駐蹕の天皇陛下には天機麗しく二十八、二十九兩日は產業教育御視察のため福井市内及び敦賀に行幸遊ばされることゝなつた、第一日の二十八日は福井縣知事及び福井市長より縣及び市の行政情勢を御聽取遊ばされて後、午前十時通常禮裝を召され、自動車鹵簿にて福井縣廳御出門、南朝の忠臣を祀る藤島神社に行幸、それより正午福井輸出絹織物檢査所及び福井師範、福井商工會議所を御巡幸遊ばされ午後三時半還幸遊ばされた

社説　改造機運は内外に漲る　日本主義精神により善處

昨今の新聞を見て最も心を惹かれるのは改造問題の多いことだ。フランスに内閣更迭があつたが、これはドイツの國際聯盟脱退が動機となつたもの、ドイツの脱退は日本の脱退にも關聯はあるが、延いては國際問題のすべての機構に一大變革を來すべきものである。米國に農村罷業の宣言あり、次で産金買上政策あるも效果薄く、更に貨幣の平價切下げまで行かねばならぬといふ。どこまでになるかは分らぬが、兎も角も米國内部に大變革が必要になつてゐるを示す。其外、國際問題にも諸外國の國内問題にも大變革の既成未成の事實數多きも、それはそれとして日本國内にも亦改造革正の聲は頗る高い。

◇

滿洲地元で最大問題となつてゐるのが滿鐵改造問題であるが滿鐵が新時代に應ず可く一變革を經なければならぬことは誰でも早くから承認してゐる所、問題が大きいから表面には出なかつただけで、一度表面に出れば種々の問題が出るは當然だ。内閣方面では、先達て來、根本國策樹立が問題となりて愼重に討議されてゐるが、或は首相に重大な權限を賦與する必要ありとか議院法に重大な變革を加へる必要ありとか、租税法、教育制度農村政策等に重大な變革を加へる必要ありとかの議がある。政黨間にも變革の氣動きつゝあるは爭ふべからず、資本家方面にも社會の變遷に適應せんと苦心されてゐることも見逃がし得ない現象である。

◇

思想方面を見れば、左より右に轉向するもの多く、右の各派が又社會變遷に適應して動きつゝあることも看過し得ない。廣田外相が、内田外相時代から動きつゝあつた機運を受けて、世界の新情勢に應ずべく、政策と人事とに大變改を加へんとして考慮しつゝあるは明日に看取さる。文部省でもなまなかな改革では追つ着かずとして、小中學系統、師範教育の大變更はいふまでもなく、法文經の大三學を官學より排除せんとの意見などもありといふなど、如何に變革の機運が動きつゝあるかを見るに足る。軍部に至つては、世界の情勢に伴ひ、ロンドン條約消滅時期に備ふる爲め、實にも量にも一大變更を期しつゝあるはいふまでもない。

◇

これを要するに、日本内部の各方面各機構に渉り、且つ物質的にも精神的にも一大變革の氣分が横溢しつゝあるは爭ふべからざる事實で、しかも表面的の糊塗彌縫では間に合はず、必ずや根本的に變更が加へられねばならぬと誰しも感じてゐる。蓋し世界全體が一大變革の必要を感じて各國がそれに應じて動きつゝあるのであるから、日本も是非ともこれに應じて變革されねばならぬ必要が焦眉の急に迫つてゐるからである。滿洲には幸にして、世界の變革的動揺が未だ甚だしく露呈せざる時に、既に大變革が行はれたので、目下はその善後策を必要となすのみ。隨つて根本的變革の必要はない。

◇

支那も世界の大勢に制せられて一大變更の必要に迫られ、歐米依賴政策を捨てゝ、日支提携に向ひつゝある。これは支那としては一大變革に相違ない。而して日本から見るも、日支關係の大變革には相違ないが、これは反正的變更である。他の變革には破壞と建設とが同時に行はれなければならぬ爲めに多少の混亂を豫想さるゝのであるが日支關係は破壞既に終り、これからの變革は建設方面ばかりだから、滿洲國の建設と同樣、心配のない方である。

◇

兎も角も世界各國に沸り、又國内各方面に沸り、物心共に大變革の機運が動いてゐるのであるから、その交錯觀合によりて議論の沸騰や人心の動揺は多少これあるは免るべからざる數である。此際日本の如きは幸にして近時新時代に應ずべき日本精神の發揚ありて、國民自覺も相應に進んでゐるから、甚しき憂慮はない。併しながら尚一層國民的意識を明澄にして、世界的變局に處して誤まる所なきやうに、更に一段の緊張を加へ、考慮を密にし、各方面の改造變更を善成すべき覺悟を固むるを必要とする。

昭和製鋼所愈よ内地進出企圖　阪神に工場用地設定

【大阪特電二十八日發】阪神築港(資本金一千萬圓、四分の一拂込出資は山下汽船六、滿鐵四の割)は阪神鳴尾埋立事業に愈々着手することになつて、約六十二萬坪の大工場地帶が遠からず出現するわけだが、埋立地は運河で縱横に區分し一萬噸級船舶を自由に航行繫留し得る設備の外、臨港鐵道で海陸の連絡を計り理想的な臨時工業地となるが、これに對し滿鐵では新工場用地として二十萬坪を豫定し、昭和製鋼所の内地進出を企圖してゐる、卽ち專ら滿洲で最も安く生産した粗鋼を精製加工し内地鐵工業界に乘出すと共に更に海外輸出の策源地とする計畫、それがため保税倉庫も新設されることになつてゐる、またこの外各種の製鐵機械、鑄物工業、船舶建造乃至修繕、ドックなども目論で居り、八幡製鐵所に相拮抗すべき大工業區を形成せしめんとするものである

滿洲國釐金税を沿線各驛で徵收　滿洲國、滿鐵に依賴

滿洲國政府では各省内の釐金税のうち鐵道沿線に送り出される貨物に對するものはこれを各鐵道の驛に徵收せしめることが最も效果的であるためこの方針を立てたが、鐵路總局管下の各驛にこれを施行するには必然的に滿鐵線にも同樣の徵收事務を依賴し、滿鐵の代辨を必要があり、この點に關しては本年一月同國外交部から直接滿鐵に交渉があつた、而してその後本交渉も一段落の形であつたが、最近特産出廻期に入ると共に財政部では本問題の解決を急ぎ二十七日午後財政部國税科長田村敏雄氏を滿鐵に派遣、同日午後鐵道部山口營業課長室に山口課長、小林貨物係主任と會見種々意見を交換した、然し今回の會見は滿洲國政府では近く奉天で徵税實際事務の關係者會議を開いたうへ具體案を練り、關東廳の諒解を求め滿鐵と再度の交渉を開き本年中には本制度を施行の意向である、右につき滿鐵關係者は語る

これは滿洲國政府の申出によるが滿鐵は關東廳の諒解がないと困る、要するにこれまで滿鐵線へ出る貨物の釐金税は附屬地境界線で徵收してゐたがそれでは脱税が多いから滿鐵に代辨を依賴して來たもので、滿鐵がやれば當然滿洲國有鐵道である總局は命令一つでやることにならうが關東廳の諒解を得てゐないため根本的に方針を決定するまでには至らないが、双方の隔意ない交渉によつて問題は技術的に近く圓滿解決の見込であり、滿洲國財政部

新京市公署で市場店舗計畫

【新京二十八日發國通】市公署では魚菜小賣市場の暴利防止、衛生上の見地より露店の取締をなすため市内主要地五、六ケ所に市場店舗を作り希望者に賃貸し小賣營業をなさしむべき計畫を有し近く具體案作成に着手の筈

滿蘇國境水路會議の目的　滿洲國交通部當局談

【新京電話】滿ソ國境をなすアムール河、ウスリー河における水路改修、河川設備等に關する滿ソ水路會議は近く開催されるが、右に關し滿洲國交通部當局では語る

滿ソ國境河川たるアムール、ムルクナー各河の水路改修、河港の設備及び航行船舶の設備の取締などは兩國共通の利害關係あり、舊政權時代においても民國十二年以後黑河道尹を交渉委員としてアムール水道局長などソ聯委員との間に屢々地方的會議を開き必要なる協定をなし、これに基いて組織せられたる共同技術委員會をして水路維持に必要なる諸設備を實施せしめ、その費用に充當するため江捐を徵收し來れるものである、わが國としてもこれら河川に進出すべき自國船舶の利便をはかるため從前同樣ある種の協定を締結すべき必要あり、從來在ブラゴウエスチエンスク市當國領事をしてソ聯側と折衝せしめたるにソ聯側において本問題の商議開始に對し異議なく、これがためにブ市に委員派遣に同意なることを明らかとなれるため今回在ブ市實當國領事を委員長とし吉津副領事及び堀内交通部事務官を委員とし別に軍政部より顧問一名を參加せしめ準備完了次第ブ市に赴きソ聯側委員アムール水道局長代理以下と商議せしめることになつた譯である

警察官補充

關東廳警務局では滿洲國及び鐵路總局に轉出した人員の補充に惱んでゐたが、今度左記日割によつて内地より警察官を募集する事になつた

▲十一月五日鹿兒島巡査教習所▲同月六日福島警察練習所▲同八日熊本警察練習所▲同九日仙臺巡査教習所▲同十一日門司警察署▲同七日旅順警察官練習所

右試驗官は近日中に内地に向ふが、今回は内地において約三百名を募集する豫定で、教習も僅か二ケ月の短期間において行ふ筈

直通列車試乘記(五)　新京←→清津　羅津の土地思惑買の悲鳴

特派員　南里順生

▼…靜かな羅津の海は透徹した鏡のやうに綺麗で、恐ろしい大きな島が横はつて自然の防波堤を作つてゐる、日露戰役當時上村艦隊が島を利用して灣内に姿を隱し浦鹽艦隊及びバルチック艦隊を奇襲撃滅の作戰に出たことによつて新に記憶を呼び起させる、灣内は廣く且つ飽まで深い、今後滿洲國がどれだけ發展しても輸出入貨物は優に一手に引受けられるだけの築港は大丈夫だ、また港灣の發展による都市計畫も羅津連山に挾まれ曠漠たる盆地は充分にその力を持つてゐる、山岳重疊として、全山に燃ゆる紅葉の美、綠に彩はれた半島に抱かれた海、北鮮の一漁村として捨られ、一顧だにされなかつたこれが輝かしい友邦滿洲國の獨立建國に惠まれて、近く勇ましい舟歌を聽かれることにならうといふから、運といふものは解らないものではある。

▼…羅津盆地は大部分が葭の茂る濕地で、假りに人馬の交通を必要とするならば、山裾傳ひの大迂廻する外なかつたらう、それ程の大濕地である、從つて港灣施設に對する都市計畫は、先づこの盆地に二米五〇の埋立が必要だといふとすれば築港工事の大袈裟なると共に、埋立工事も恐ろしい大事業で、こゝもと失業者も大部救はれるといふものである

▼…大連から朝鮮半島を迂廻して回航された問題のクレーン二隻は着々と築港工事に活躍を開始してゐる、バラック建の建設事務所前にも赤煉瓦の建築が進められてゐる、だが都市計畫は未だ發表されてゐないので、思惑買ひの連中も金利に追はれたり、或は資金が持ちこたへられなかつたりして、破綻つてゐる一攫千金の夢成金者も少くなく、一時一坪三十圓なんて呼んでゐたベラ棒な高値も、今日では漸次凋落の色を見せて來た、斯うなると土地成金が解消して、資金を融通した所謂金貸し成金に變化しさうな形勢である、國家的事業の遂行に支障を來さんと押しかける利權屋の運命と結果とはどうせ斯うなるものではあるが

▼…清津から出た吾々一行の自動車は建設事務所の前から一直線に濕地を埋めた新設假道路のバラスの上を漸くにして通過し、雄基街道の山路にかゝるが、この山麓には極めてお粗末なバラックがギッシリと軒を並べてゐる、築港景氣を目指して一番乘りを爭つた連中ではあらうが、別に想像してゐた程の景氣の色も見えないのみか、この新興氣分であるべきバラック町に空家が多數見出せるには聊ろ期待を裏切られた形である、オレは羅津の草分けだ、と將來顔役になるまで殘り得るものが果してどれだけか

▼…長さにおいて鮮滿鐵一と稱せられる羅津の隧道は目下工事中であるが、これが完成は昭和十年八月の豫定だといふ【寫眞は雄羅トンネル工事】

伊藤公遭難記念標識除幕式(廿六日執行)

相談　投書歡迎　五十行以内

學童と辨當

一保護者

◇各小學校には兒童用品の販賣部を設けられ學用品の安價購入が出來、家庭經濟上と便宜上非常にいゝ計畫と存じ保護者として感謝する次第です。

◇然し此所に教育上甚だ害のあると思ふのは食料品の販賣です、或る學校では辨當用としてパン(ジャムパン、アンパン、クリームパン、サンドウキッチ等)饅、カステーラ、罐入辨當(米飯)等販賣してあるのは適當でないと存じます。

◇これ等は兒童をして贅澤心を起し且つ自由否勝手に選定し「買喰ひ」の惡習を養成するものと認められます。

◇元來辨當は各家庭から持參すべきものであつて偶々家庭の都合上出來ないとか忘れた場合のためには只一種の榮養的パン(餡のあるものは不可)のみを準備しておけばいゝと存じます、何も種々雜多の菓子類似のパンや辨當をおく必要はないと思はれる。

◇而して兒童の購買慾をそゝる必要はない、又職員用の特別辨當の如きも販賣部にならべてあるが之等も兒童に見せる必要はない、小使室か職員室の一隅に格納せしめておくべきである。

◇兒童はかはつたもの、珍しいもの、人の食べるものを見ればつい〳〵欲しくなる、大人も同樣である、だから販賣しない方がいゝのである、兒童一人について辨當を忘れ、若くは家庭の都合で辨當が出來なかつたと云ふ樣な事は年中多くて四、五回のものであらうから、其準備として僅か一種のパンがあれば十分である、それで滿足させるべきである。

◇修養週間等には梅干入り又は鹽付握り飯のみにするのも一方法である、以上特に一考され度いものです。

◇また序に記しておきたい事は學校で賣つてゐる牛乳は多數購入の爲め安價に飲用できますが、噂によれば學校に對する牛乳は安價なると兒童に良否判別の知識なき爲め水分多きもの、豆乳の混入したものであると云ふ、學校で牛乳を飲ましてゐるから安心してゐても却て高いものとなるから警察で牛乳檢査をやつてゐる樣に月何回か臨時に試驗して完全牛乳たる事を期せられん事を希望し且御願ひする。

思惑賣買を調査　米國價格變動防止策

【ワシントン廿七日發國通】ル大統領は株式及び穀物取引所の思惑賣買狀態を調査中だが、右は明かに大市の價格變動防止を目的としたものと見らる、但しホワイト・ハウス側では目下のところ大統領が如何なる方策を採るかは言明出來ぬといつてゐる

大統領と正面衝突

【ワシントン二十七日發國通】フォード氏の挑戰的聲明に對しル大統領は産業復興法典に參加せざる會社によつて作られた製産品を政府が買上げる事を禁止するものと見做す裁定を下した、卽ちアメリカ政府關係の各官廳では爾今一切フォード自動車を買入れないこととなるもので、こゝに愈々ル大統領とフォード自動車會社と仇討ちが始まつた譯だ

佳木斯移民の成績　今後益々發展すべく期待さる　小河拓務省書記官談

【新京電話】拓務省出張所小河書記官は二十八日午前十一時より新京記者團に對し佳木斯移民團の近狀に關し大要左の如く語つた

移民團の現在數は第一次三百八十六人、第二次三百九十九人で第二次移民團は本年七月目的地に到着してからは本年度の耕作も出來ず來年度に對する諸準備宿舍建築などに餘念がないが、この第一次移民も二月十一日先發隊が入り準備の完了を俟つて四月一日より鍬下ろしを終へ本年度は四百五十町歩を

植付面積　として開始したがこれも五月一杯に完了し好成績を示してゐる、植付段別をみるに大豆百四十三町歩、粟百十三町歩、玉蜀黍五十六町歩、小麥五十一町歩、大麥十七町歩、小豆十四町歩、馬鈴薯十一町歩、その他等で作柄としては六月以降の馬賊討伐のために留守したなどが惡影響を齎らし草とりなどが充分に行かなかつた爲め千五百石程度の收穫しか得られなかつた狀態である、移民團は將來は農産加工班を設け農産物をそのまゝ賣却することなく例へば豆粕、豆油、チーズ、腸詰といつた加工品として賣り捌く豫定でそのために今から

特殊技能　の養成に一生懸命になつてゐる、世間からは兎や角いはれてゐる移民團も内部的には案外結束を堅くし將來移民地を墳墓の地として土着民との間に共助協力に努力してゐるやうで、吾々も全く賴もしく思つてゐる、不幸にして意思の薄弱なため脱退又は除名處分に附せられた者は第一次、二次を合せて百七十四名、病死、戰死十四名といつた數字を示してゐるが移民團全體としては何等内部的の動揺を來すところなく益々將來に對する輝かしい希望を繋いでゐるやうだ、この十五日には第一次移民地に設けられた

彌榮神社　の秋祭りも行はれたさうだし、これに先立ち山口縣移民の家族も入つたことだし實質に剛健に移民團も今後益々發展して行くことだらう、かうした地から生まれる日滿親善の效果はたゞ單に口頭禪的に叫ぶより、餘程有効なもので吾々はこの方面に對しても非常な期待をかけてゐる次第である

滿鐵經調會の委員會

滿鐵經濟調査會では二十八日午前十時より社員俱樂部樓上において小委員會を開催、十河理事以下各委員鐵道、商事部關係者等出席し滿洲特産振興策について協議した卽ちドイツ大豆製品關税引上による市場封鎖、大豆値下りの對應策について協議したが今後滿洲特産の重要性に鑑み大豆工業の勃興大豆製品の商品化、販路開拓に就いて今後具體的研究を進めることゝし午後五時散會した

大觀

滿鐵改造問題も、沼田參謀が投げた一彈によつて、各方面から一應の意見が出た▲何れは改造を要し、しかも重大問題であるから、各方面の意向をお互に一應承知するも必要、世間が知つてゐるも必要▲それから各方面の人達が更に深く考量することになる▲岡村參謀副長黑龍江省縣參事官會議から歸つて各參事官の眞劍な努力振りに感激す▲直接に民衆政治に接觸する參事官の働き如何は滿洲國政道の實際的價値を決定するものである▲眞劍な縣參事官の多くを見るは意を強くするに足る▲御統監を終らせられた、聖上陛下には、二十八日南朝の忠臣新田公を祀つた藤島神社に行幸あらせられた▲本年は義貞公義兵を擧げてより正に六百年、十一月三日から三日間六百年祭がある▲神社はもと福井市外牧の島村燈明寺畷にあつたのを、市内に移されたもの▲公は泥田の中で優勢の賊軍に遭遇し自ら刎れて首を抱いて戰死したと太平記にある▲德川時代になつてその兜が泥田中から農夫によつて發見され、此處に戰死の所として記念碑がある▲遺骸は足利高經が坂井郡長崎村の稱念寺といふ寺に葬り、此處に墓があり遺物もあつて、今は立派な石碑が立つてゐる▲傳說には首のない義貞公が馬に乘つて此處まで二里半驅けて來たのださうである▲日野川に架したあさうづ橋といふのは勾當内侍が思慕に堪へずして京より越前に赴いたが、丁度公の臣下が遺物を持つて内侍の所に行くのに出逢つたといふ所▲その時鷄の六つ時であつたので鷄六つ橋といふのだとの傳說がある

地方法院異動

先般の發令によつて大連地方法院刑事部々長長島判官は旅順覆審部へ轉ずることゝなつたが、これに伴ひ法院近來の稀な大異動を見た卽ち刑事部々長の後任には川畑豫審判官、豫審判官後任には小田民事部判官が轉務することゝなり、缺員補充のため東京地方裁判所より平井孝雄氏が來任することゝなつた、平井氏は三十日入港あめりか丸で來連の豫定である、尚平井氏は高井檢察官と同期生であると

羽田鐵道部長

上京中の滿鐵羽田鐵道部長は廿九日大阪發一日入港のはるびん丸で歸連の筈

人事

▲沼田多稼藏氏(關東軍參謀)廿八日午後三時半發列車にて北行▲張燕卿氏(滿洲國實業部總長)同日午後四時二十分發列車にて北行

市況(廿八日)

特産　邦商の賣りに大豆低落

後場の定期は大豆は買氣薄く邦商の賣りに低落を辿り豆粕、豆油も相伴つて軟調を呈し高粱は邦商及奧地筋賣りに軟調を辿つた

◇定期後場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	四一三〇	四一三〇	四一一〇	四一一〇
十一月末	四〇九〇	四〇九〇	四〇八〇	四〇六〇
十二月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇五〇	四〇六〇
一月末	四一〇〇	四一〇〇	四〇九〇	四〇八〇
二月末	四一三〇	四一三〇	四〇九〇	四一〇〇
出來高	百十八車			

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一三六〇	一三六〇	一三六〇	一三六〇
十二月限	一三五五	一三五五	一三五〇	一三五〇
一月限	一三五五	一三五五	一三五〇	一三五〇
二月限	一三六〇	一三六〇	一三五〇	一三五〇
出來高	三萬枚			

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一一一〇	一一一〇	一一一〇	一一一〇
出來高	五百箱			

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	三三三〇	三三三〇	三三三〇	三三三〇
十二月末	三二四〇	三二四〇	三二四〇	三二四〇
一月末	三二六〇	三二六〇	三二五〇	三二六〇
二月末	三三三〇	三三三〇	三三三〇	三三三〇
出來高	三十五車			

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

品目	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四一三〇	四一二〇
同(裸物)	―	―
出來高	三十車	
普通大豆(袋込)	四〇五〇	四〇五〇
同(裸物)	―	―
出來高	一車	
豆粕	一二九〇	一二八〇
出來高	二千枚	
豆油	一一二〇	一一三〇
出來高	一千五百箱	
高粱(出來不申)		
包米(出來不申)		

市場電報

神戸特産

品目	値
大豆現物	五九〇
大豆先物	四七〇
豆粕現物	一五六
豆粕先物	三三五
滿洲小麥	五八五
豆油現物	不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	二五〇〇	二五〇四
十一月	二四二八	二四三三
十二月	二四三三	二四三〇

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十月	二四二六	二四〇五
十一月	二四一七	二四〇三
十二月	二四二三	二四一二

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	二四四九	二四四八
十一月	二四一九	二四一七
十二月	二四二六	不申

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十月	二三六五〇	二三七一〇
十一月	二三一〇〇	二三三〇〇
十二月	二二一〇〇	二二三〇〇
一月	二一五〇〇	[illegible]
二月	二一〇八〇	[illegible]
三月	二〇九五〇	[illegible]
四月	二〇八一〇	[illegible]

奧地市況

品目	限月		
▲奉票對金票	現物	五、七五〇	
▲奉天國幣對金票	現物	一〇四二五	一〇四三〇
	先限	九五七〇	九五五五
	出來高	二萬	
▲開原國幣對金票	現物	一〇四二〇	一〇四二〇
▲哈爾濱國幣對金票	現物	一〇四三〇	一〇四五〇
▲新京國幣對金票	現物	一〇四三〇	一〇四三〇
▲安東鎭平銀	當限	一四六二	―
	先限	一四六四	―
▲哈爾濱大豆	十一月	六一七五	六一七五
	十二月	―	―
	一月	六〇五〇	六〇五〇
▲同小麥	十一月	―	―
	十二月	一一二五〇	一一二五〇
	一月	一一三二五	一一三二五